— 9 —

アタゴオル玉手箱

ますむら ひろし

Designed by
HIROSI MASUMURA

KAISEI-SHA FANTASY COMICS

ファンタジー
コミックス

アタゴオル玉手箱

9

ますむら ひろし

900
偕成社

ISBN4-03-014520-5 C0079 ¥900E

定価［本体価格900円＋税］

KAISEI-SHA

9
アタゴオル玉手箱
ますむら ひろし
ファンタジーコミックス
アタゴオル玉手箱
9
ますむら ひろし
ISBN4-03-014520-5 C0079 ¥900E
9784030145207
1920079009003
定価［本体価格900円＋税］
至福のファンタジー王国「アタゴオル玉手箱」—全9巻発売中—
第26回
日本漫画家協会賞
大賞
受賞
偕成社ファンタジーコミックス
日本漫画家協会賞大賞
900
偕成社
大賞受賞理由 独自の世界を大切に描き続けている、強烈な個性のますむらワールド。
日本漫画家協会賞 '72年より設けられた。過去25年間の受賞者は——手塚治虫、長谷川町子、宮崎駿、園山俊二、大島弓子等、日本の漫画の歴史を作ってきたそうそうたるメンバー。

すべりゲタ

踊る縫合線

スミレ研究室

ATAGOUL

Hiroshi Masumura

9

玉手箱メニュウ

白のささやき

ゴーッ

ずいぶん吹ぶいてきたなあ

この吹雪の音聞いていると
奥深い世界を感じるよなあ

ああ耳をすますと胸がシンシンと
しっ

バギョーッ
ゲロロッ

腹がへったら
パンツの家でぇ
むっしゃら
むっしゃら

お待ちかねーっ
バッ
待ってないよ

んめっ
パンツんちの餅はんめなあ

ああっ手づかみで納豆餅食うから…

いかにも〃
毛に餅と納豆の糸がくっついてニチャついてくる

それをこうして動かすと
ニチョニチョしてくる

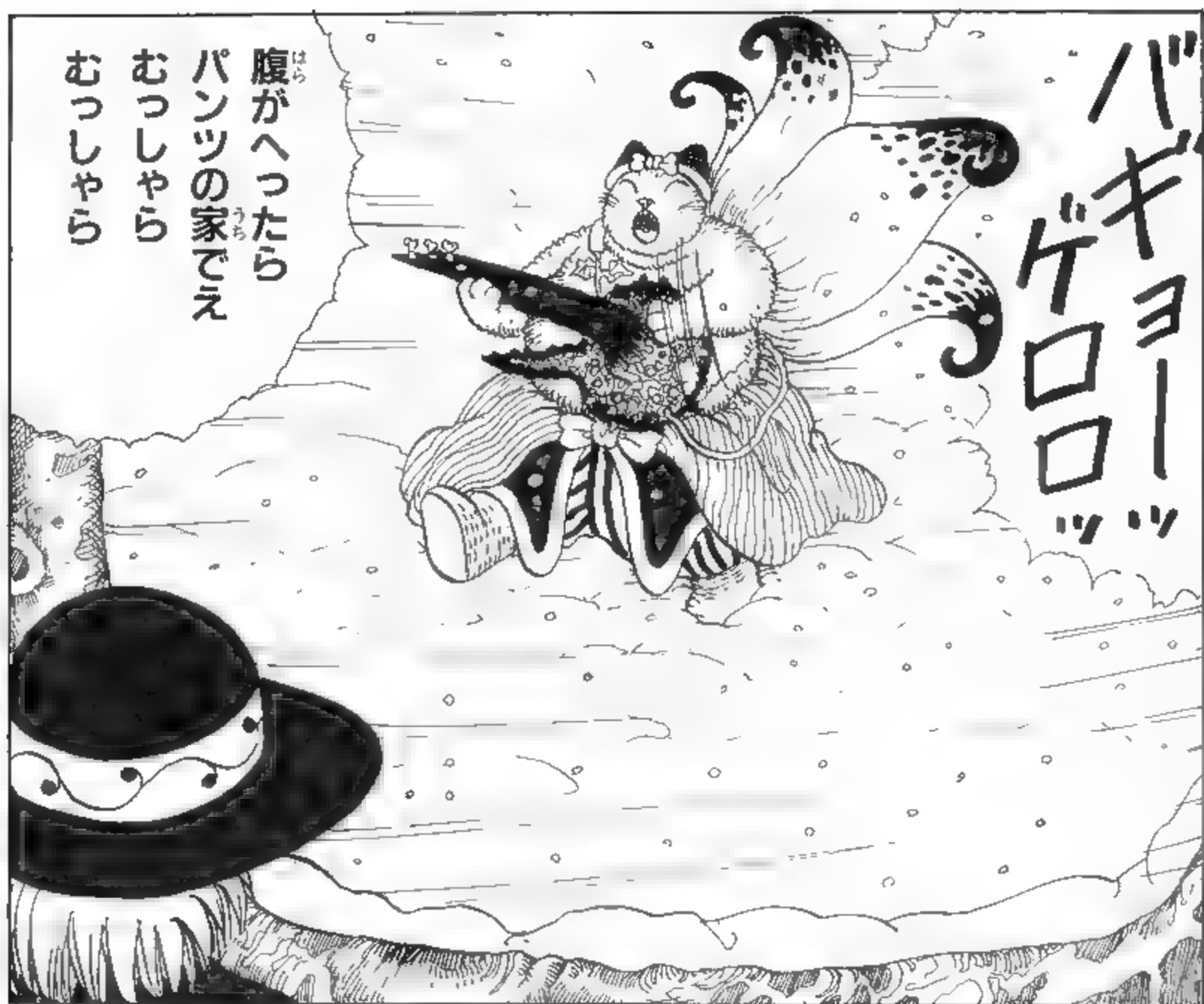
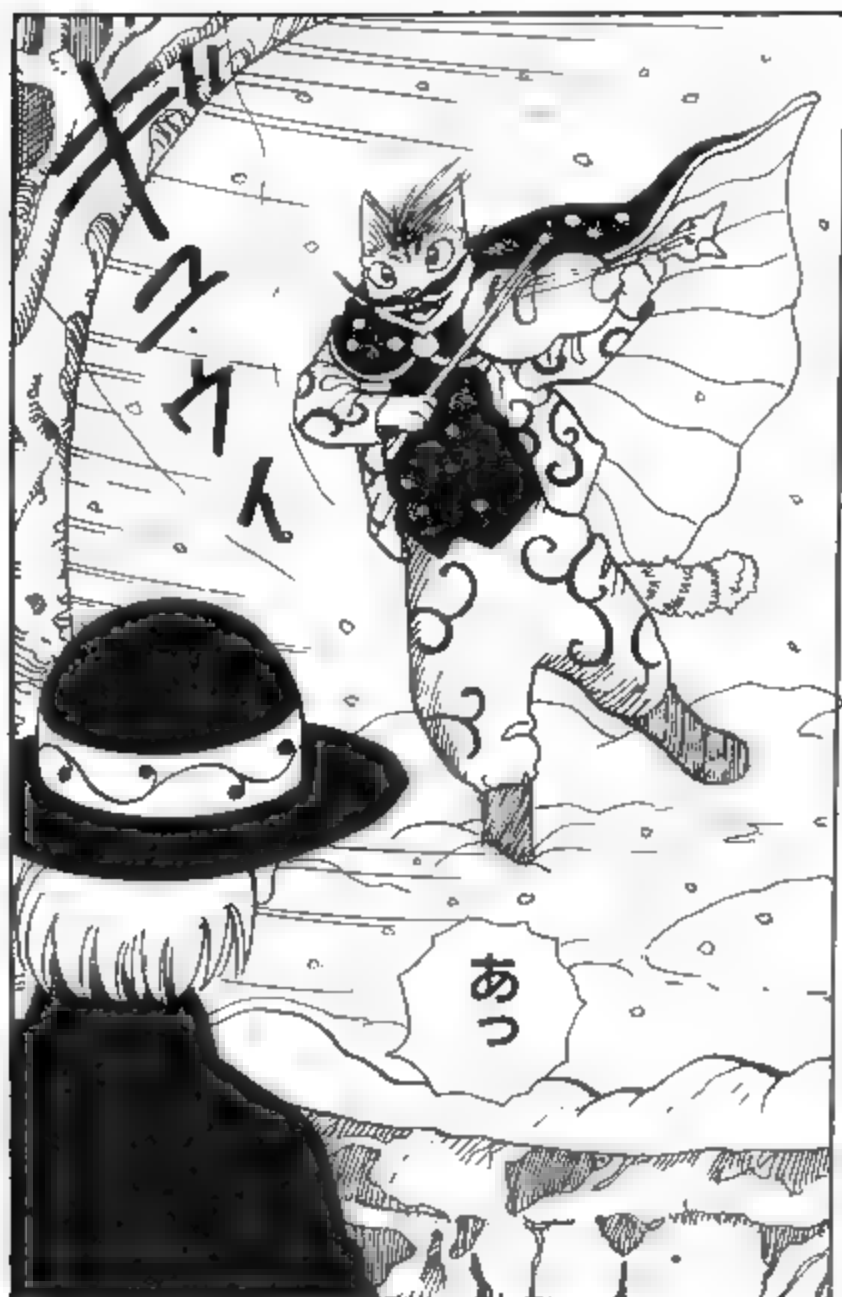
これをなめると……
えも言われぬ味があ

パンツ、ほら左手なめていいぞ
モアー…
いらないよ

あっ

唐あげ丸さんがっ
んっ

バッカでねーか
吹雪の中でバイオリンなんか弾いてよォ
勝手な奴

こんな吹雪のことだった!!

ヒデヨシくんが
酒屋から酒ビンを
盗み大酔っぱらいを
したことがあった

さっぱり
覚えてねーぞ
3年前の……
目吹酒屋
猫正宗ドロボウ
のことだろう

ああっ
みんなで
吹雪の中
酔っぱらったヒデヨシを
追っかけた
ことがあったな

そうです
あの時、私たちは
どこへ行ったの
でしょうか!!
どこだった
かなあ、
雪の中をずいぶん
さまよったから…

唐あげ丸さん、
その場所がどうか
したんですか?

こんな吹雪の音を
聞くたびに…
私の脳が
うずくのです…

私たちは
吹雪の中で
とても不思議な旋律を
聞いたような…

それをもう一度
聞いてみたいんです
何んとしても
その場所をっ

フラフラ
歩きまわったのは
ヒデヨシだから
なあ

よーし
オレに
まかせろ

コラ、酒ドロボウ
帰れ帰れ
はずかしく
ないのか

お客さんに向かって
失礼ですよ

お前が客だと

おやじさん、彼に猫正宗の巨壜一本

んっんっ

相変らずすごい飲みっぷりたなあ
ヒュー

ウ～イ酔っぱらって来たなあ
ヨロ
ヨロ

そうですあの時もそうやってヨロヨロ歩いたのですっ

飲んでしまえば
こんな所にいる奴はいない
あとは…
逃げるのだ
あっ
飲み逃げ
甘いっ
うぐっ
パ
シュ
これなら安心だね
くっそー
こらパンツ
お前オレを全然信用してねーな
何んだか
飲み逃げするような
気がしたんだよ

ぺっ
こんな針金ヅルでしばったって
オレは家に帰って‥やるぜえ

ヒュ――ッ
んっ
あれっ

ここは団子沢じゃないのか?

オレは蛇腹沼に向かってるのだ
も～っ方向音痴の酔っぱらいめ

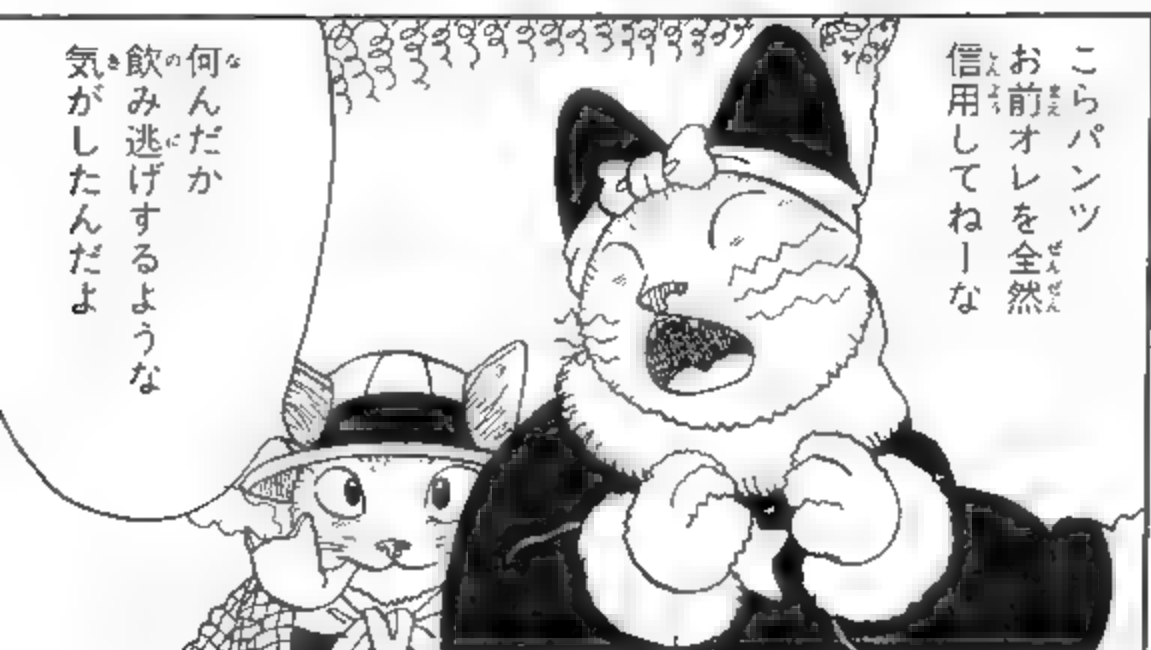
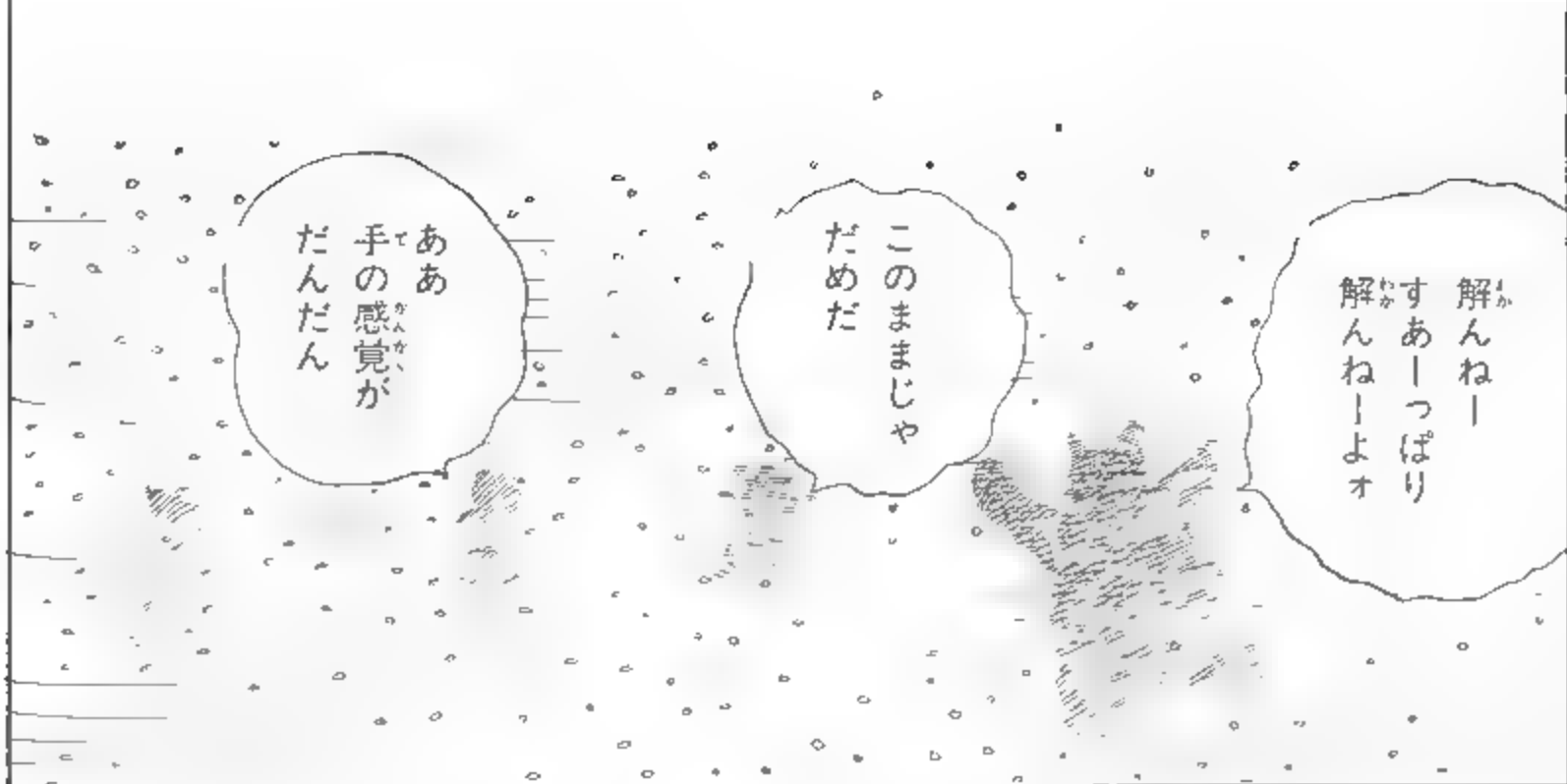
ゴ――ッ
うう

解んねー
すあーっぱり
解んねーよォ
このままじゃ
だめだ
ああ
手の感覚が
だんだん

ゴーッ

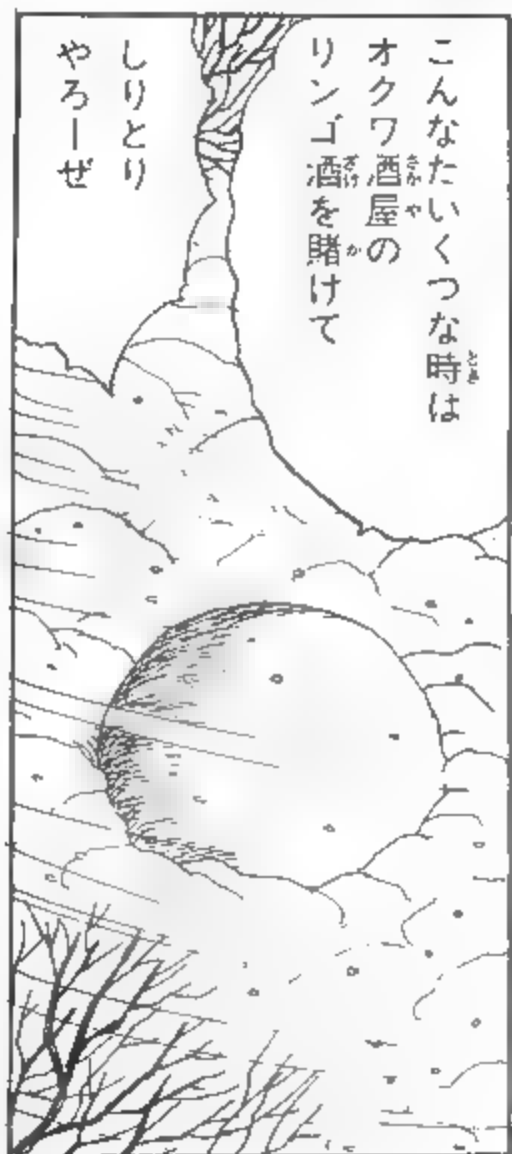
まいった
なーっ
吹雪が
おさまん
なきゃ
どうしようも
ないな

ここは
どのあたり
なんでしょう
解らない
見当も
つかないなあ

…何んだか……
前にヒデヨシを
追いかけた時も
オレたちかまくらを作って
吹雪をさけたような
気がするぜ…

ああ…オレもかすかにそんな気が…

でも変だなあ
どうして忘れてしまったんだろう

もっパンツ記憶力ねーんじゃねーのォ
お前に言われたくないよ
なで
なで

こんなたいくつな時はオクワ酒屋のリンゴ酒を賭けて
しりとりやろーぜ

やめなよどーせ負けるだけなんだから

ムフフッヒデ丸ときたえてるからね
しりとり名猫ヒデヨシ君から行くわよーっ

リンゴ水

石切り虫
塩
尾っぽ

ぽっ
ぽお～っ
ポーッ

にーっ
にイーッ
大声出したってだめだよ

ぐ～っ
ぐ～っ
3…2…1
時間でーす

ハイソこれで21敗目
くそっ
くそっ

やめたっ
しりとり
なんかあ
ボゴブ
出ました
かまくらこわし

らっ

ゴーーッ
何んだ
これはっ

あっ
すごい…
こっ・これは

シジホウサ⁉

シジホウサ？
ああ
吹雪のうずの中に現われ
出会った者は
凍死するという…

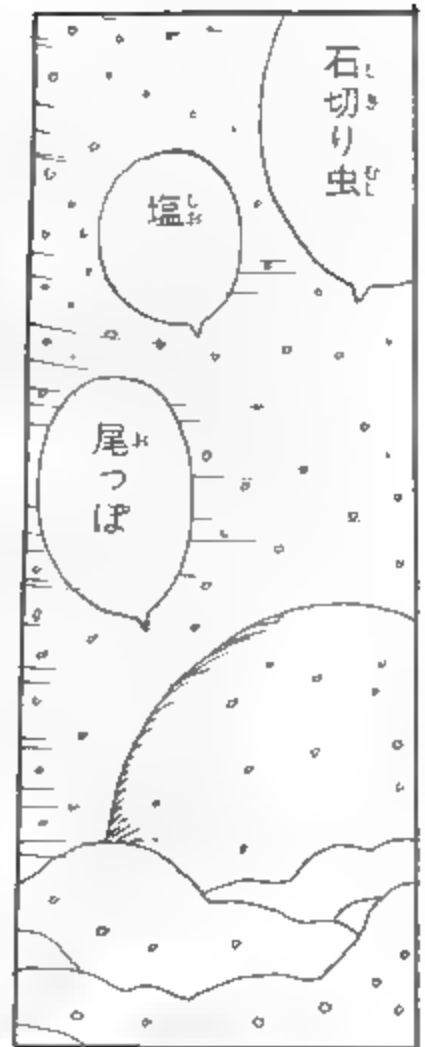
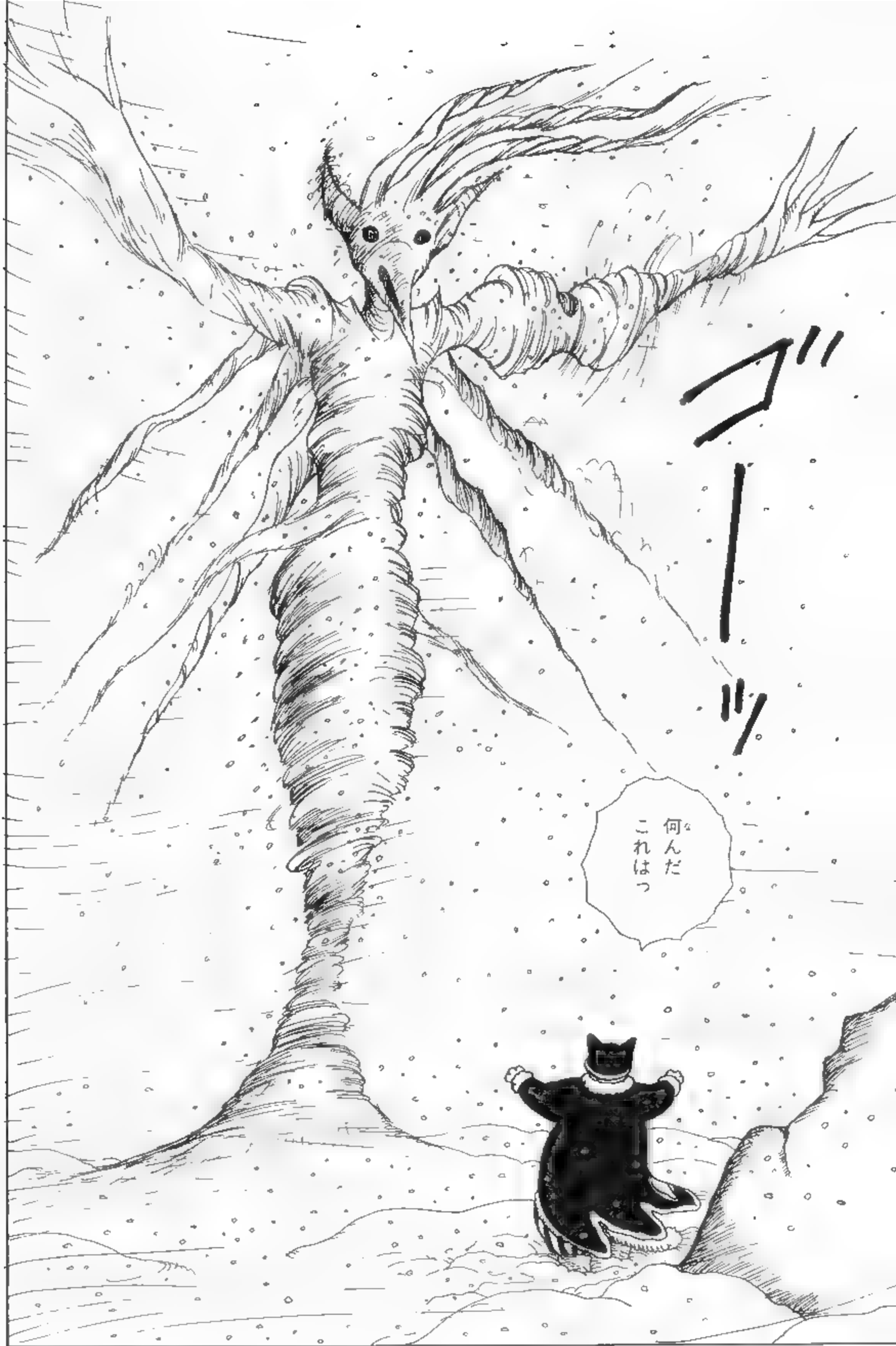
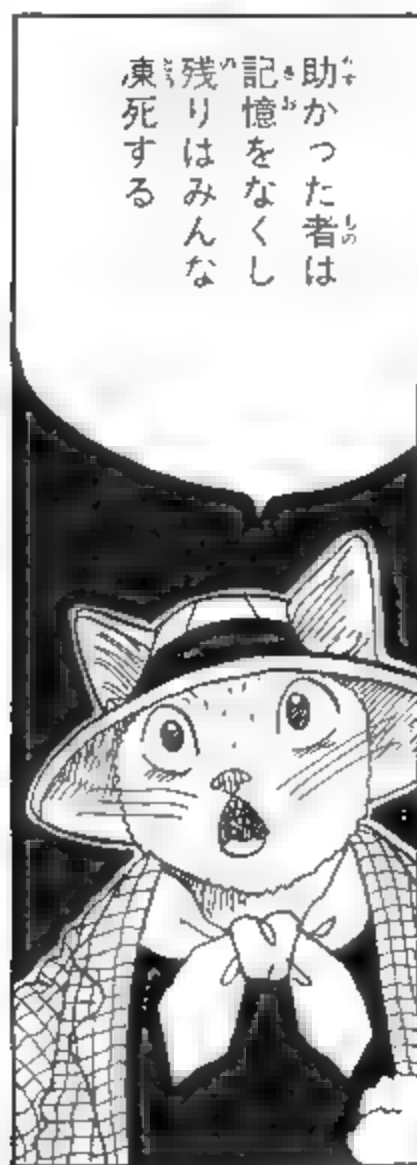
古代伝説の
シジホウサ〃

助かった者は
記憶をなくし
残りはみんな
凍死する

うっ

コノ旋律ハ…最期ノ
眠リノ旋律
サア・眠リナ…

静カニ…
ユックリト
眠レ…

眠らせたかったら

飯食わせろ
オオッ
何ゼダ
心アルモノナラ
必ラズ眠ル
コノ旋律ヲ聞イテ…
そういう
じみくさい音楽
聞いてるとね
腹鼓み打ちたくなるわ
ボン
ボボン
オ前ニハ
心トイウモノガ
ナイノカ
うっ

グアッ
グアッ
何ンテ熱イ……
命ヘノ執着
オ前ノ心ヲ
…ニギリツブシテ
…ヤル
んぐぐぐぐ
ザボッ
あら
あれっ
んっ
ヒデコシ
何やってんだ
そんなとこで

何言ってんの
今ホラ
おかしな奴がさ
おかしな奴？

おかしな奴は
お前だろう

こんの～ォ

あっ……
氷の……
バイオリン

いったい
だれが
こんなものを
おかしな
野郎だぞ

頭の中に… あの…
旋律が流れている

…確かこんな…
うっ
何んて
寒々しい旋律
ああ
体が凍って
いくようだ
あっ
！
氷の羽根
すげーっ
どんどん
白くなるぞ
なあ…テンプラ
この先にあるのは…

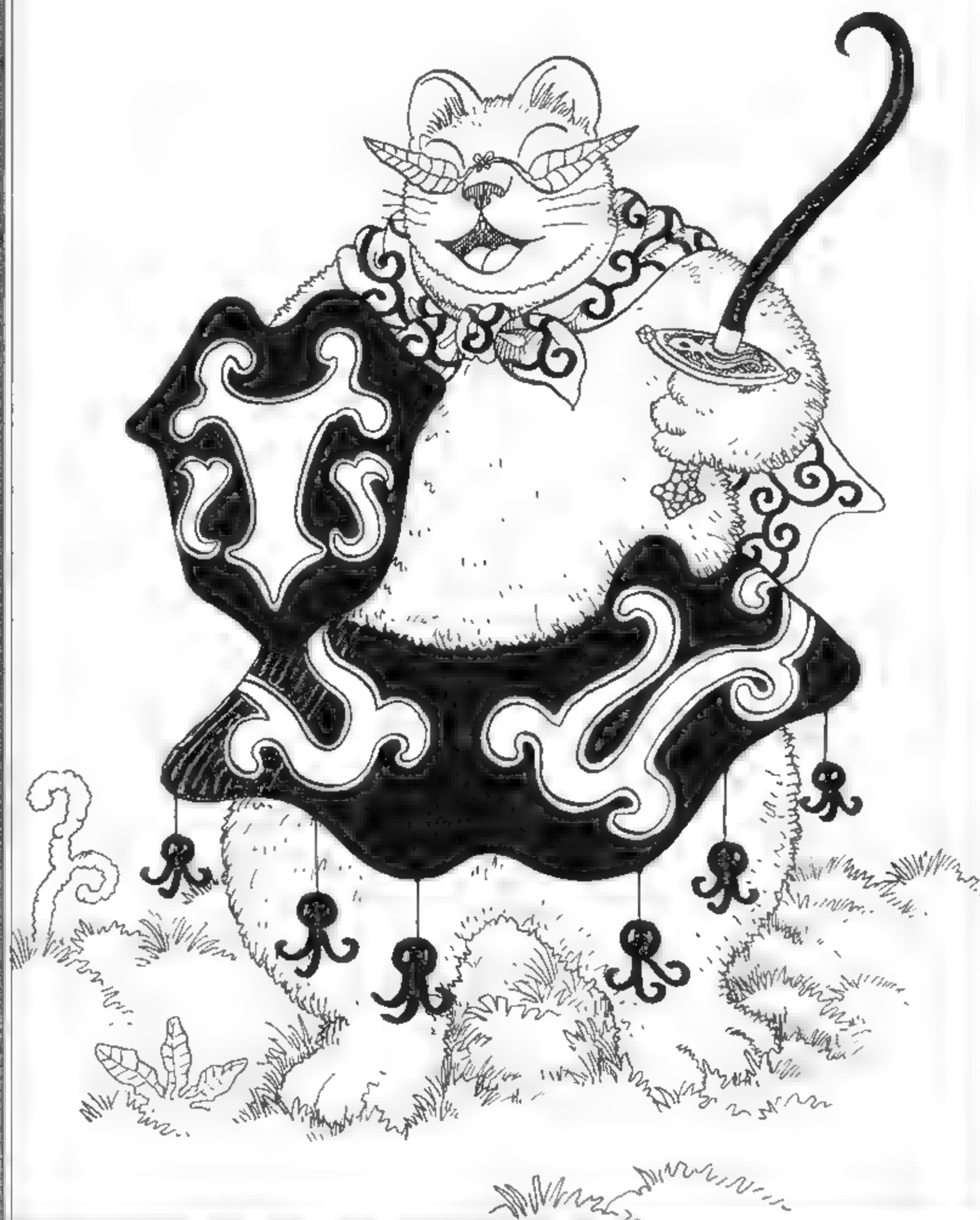
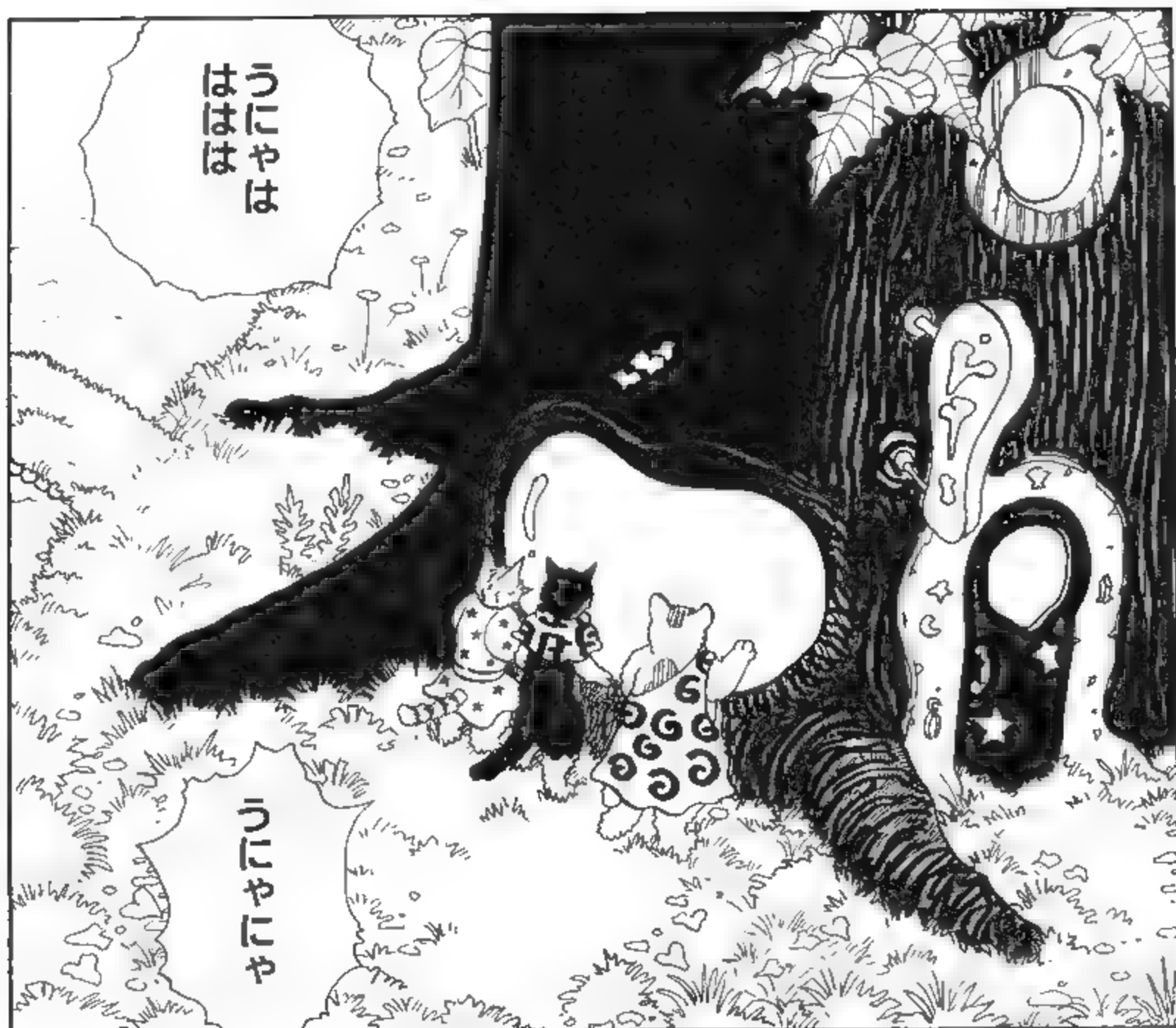
たぶん「死」の世界だ。

聞こえます…
何か聞こえます

生キテルウチハ
遊ビ続ケロ…

KAORI

うにゃはははは

うにゃにゃ

ゴッ
テンプラじゃねえか

ゲズス石だとオ
この石80銀貨もするぜ
親分オレたちも探しましょう

無理だよその石近づくともっと笑いがこみ上げてさわれなくなるんだよ

さわれない!?
それじゃどうやって持って来たのだ?

その石見つけた奴は、石を見てもさっぱり笑わなかったらしいよ

この石見て笑わない奴!?
お願いしますゲズス石をっ

君ーっこんなタコを持ってこられてもねえ

お願いします
今度はお代を
2倍はらいます

笑い石って…

博士 また綴れ織り谷に行く気ですか!?

当た棒カニ棒 酢ダコ棒じゃ

ヒデ丸 ワシはたあだお銭がほしいのではないゾーッ

この銭を元にカタツムリ社から自費出版するのじゃ

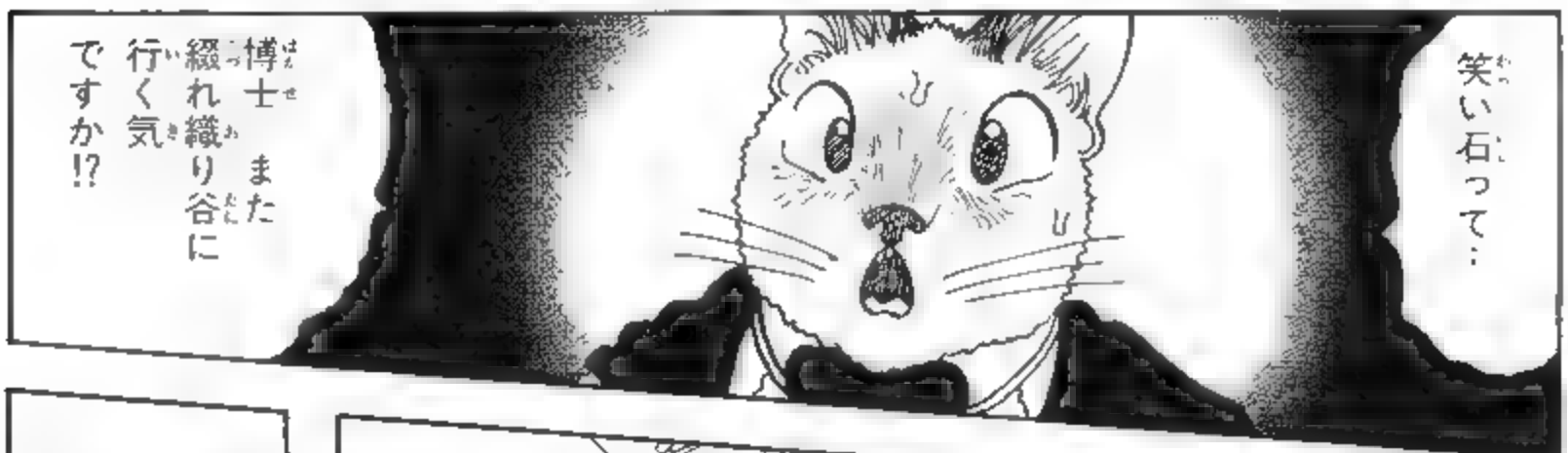
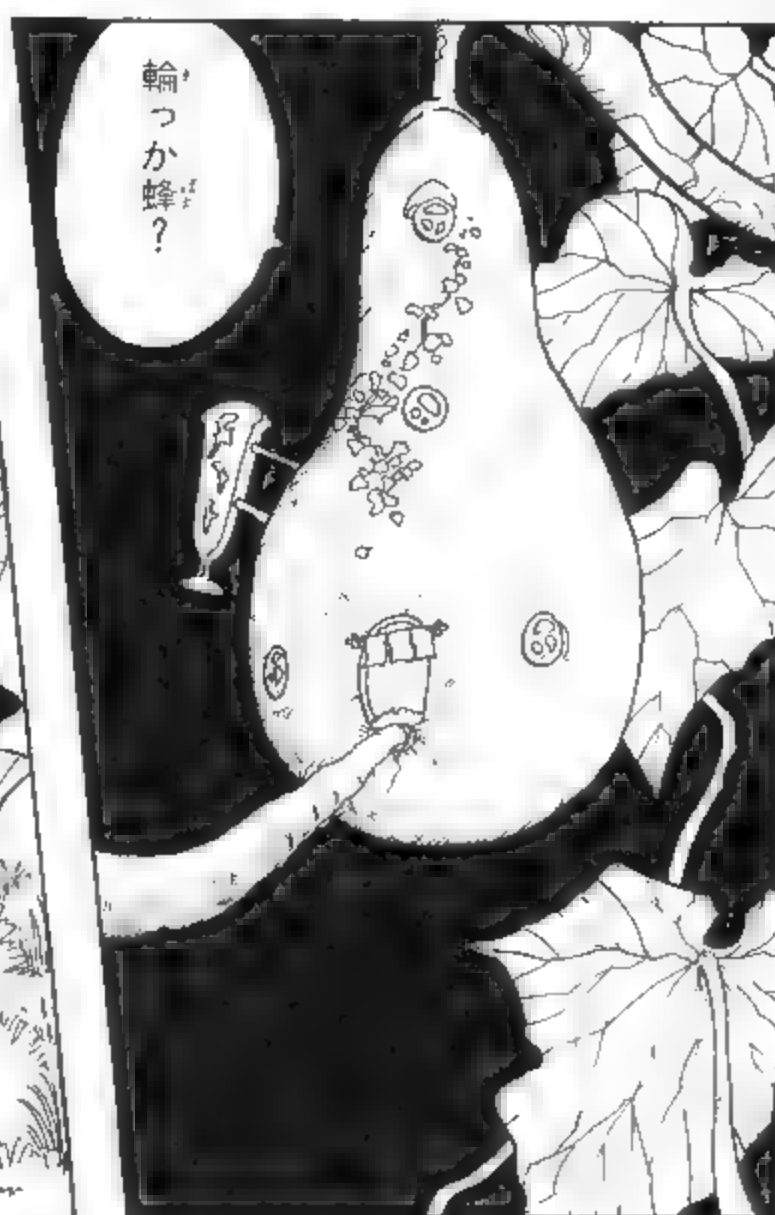
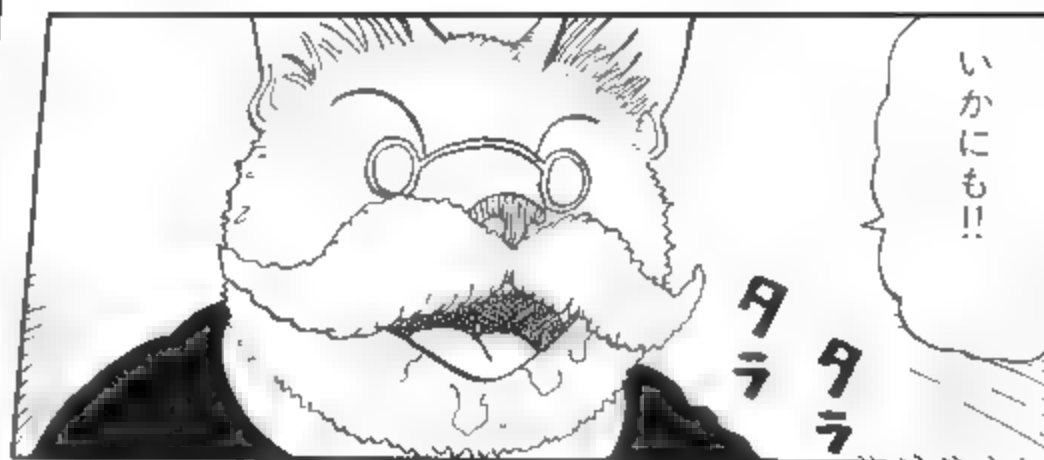
新説「タコの先祖は銀鯨の兄き」ですね

いかにも!!
タラ
タラ

輪っか蜂の蜜を吸うのじあっ

博士 そのヨダレはまさか!?
ホホホ そうじゃ
一石二鳥

輪っか蜂?

そうよっ でっかくて青い輪っかがあるやつ
そんな蜂 見たことないぞ

お前の言ってるの
…地雷蜂じゃ
ないのか?

地雷蜂?
ああ猛毒蜂でね
刺れた者は
痙攣してそのあと
体が破裂して死ぬらしいぞ

ヴェッヘッヘッ
オレが死ぬわけ
ないべよ

なんだお前
その谷に行った時
蜜なんかなめて
蜂に刺されなかった
のか?
オレには強大な武器
あるのすあーっ

コレだよ
コレ

ぼんえ〜っ
ぼんえ〜〜っ

あれっ
それは！

ひっ
ひっ
ぼえ〜〜〜っ
キエーーッ
やめてっ
ヒデヨシ
君っ

…とまあ
この美音で蜂が
にげるわけネ

何が美音だよ
唐あげ丸さん気絶したぞ

2日後
うーーっ いえいえーーっ

この世にあってはならないような音だもんな

地雷蜂だって巣を守らずにげ出すかもねえ

いやあ、パンツ君とテンプラ君がついて来てくれてホッとしましたよ
伝説の地雷蜂をこの目で見てみたいからな

蜂蜜をなめる前にはダンゴが一番よう

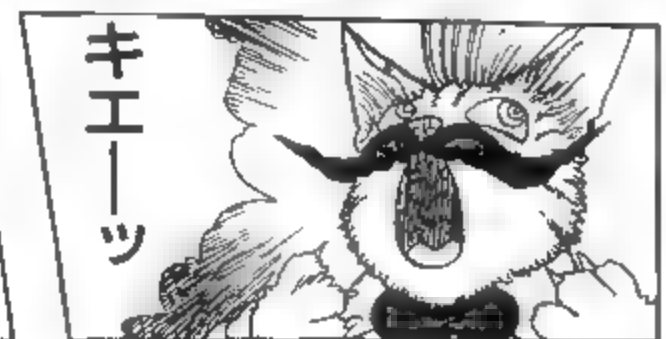
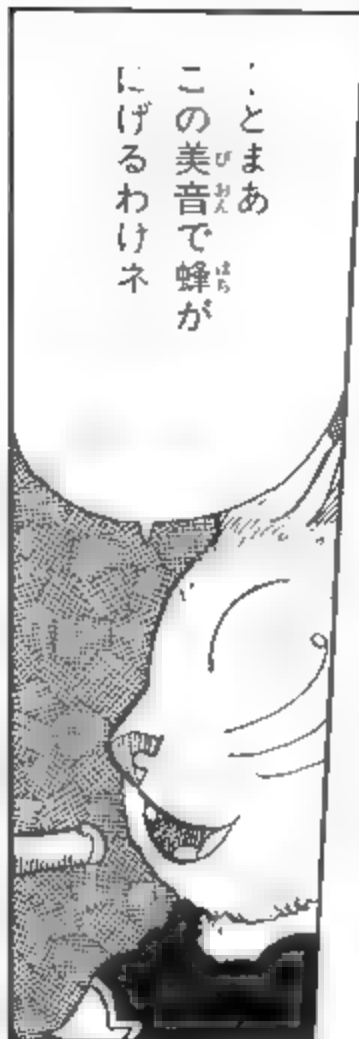
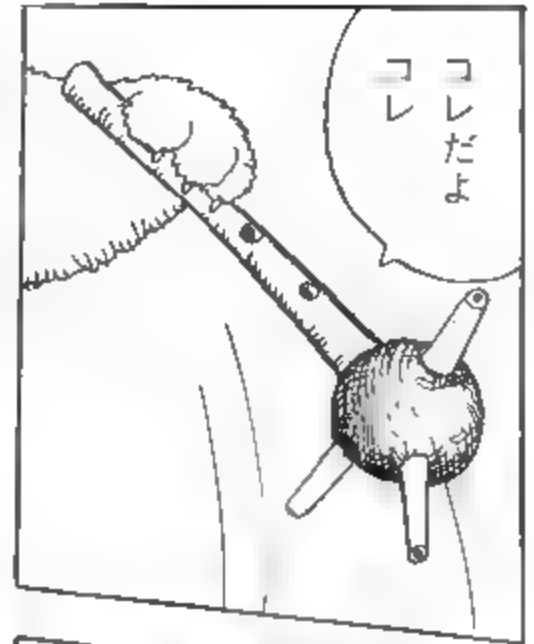
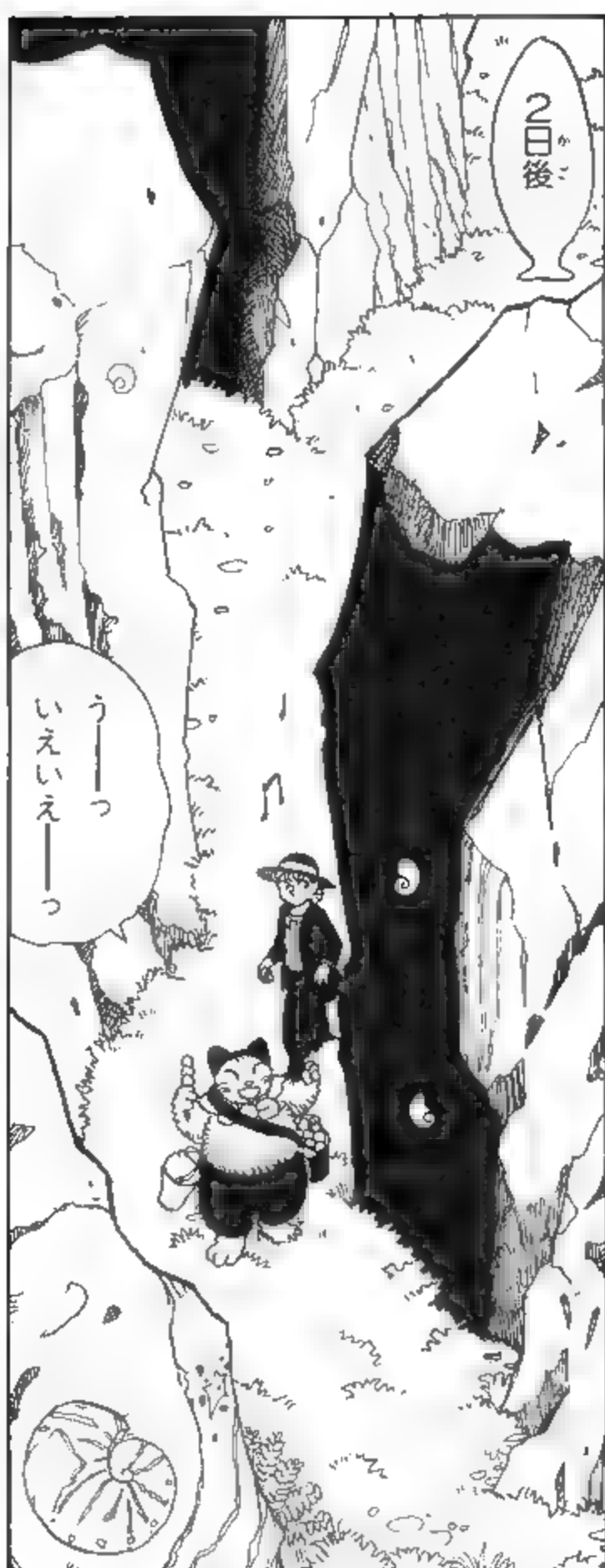
ダンゴをあんなに買い込んで
鉱物屋から前金もらったんです

うっ…蜜だ蜜の匂いがする

この近くに蜂の巣があるのか!?

うっ

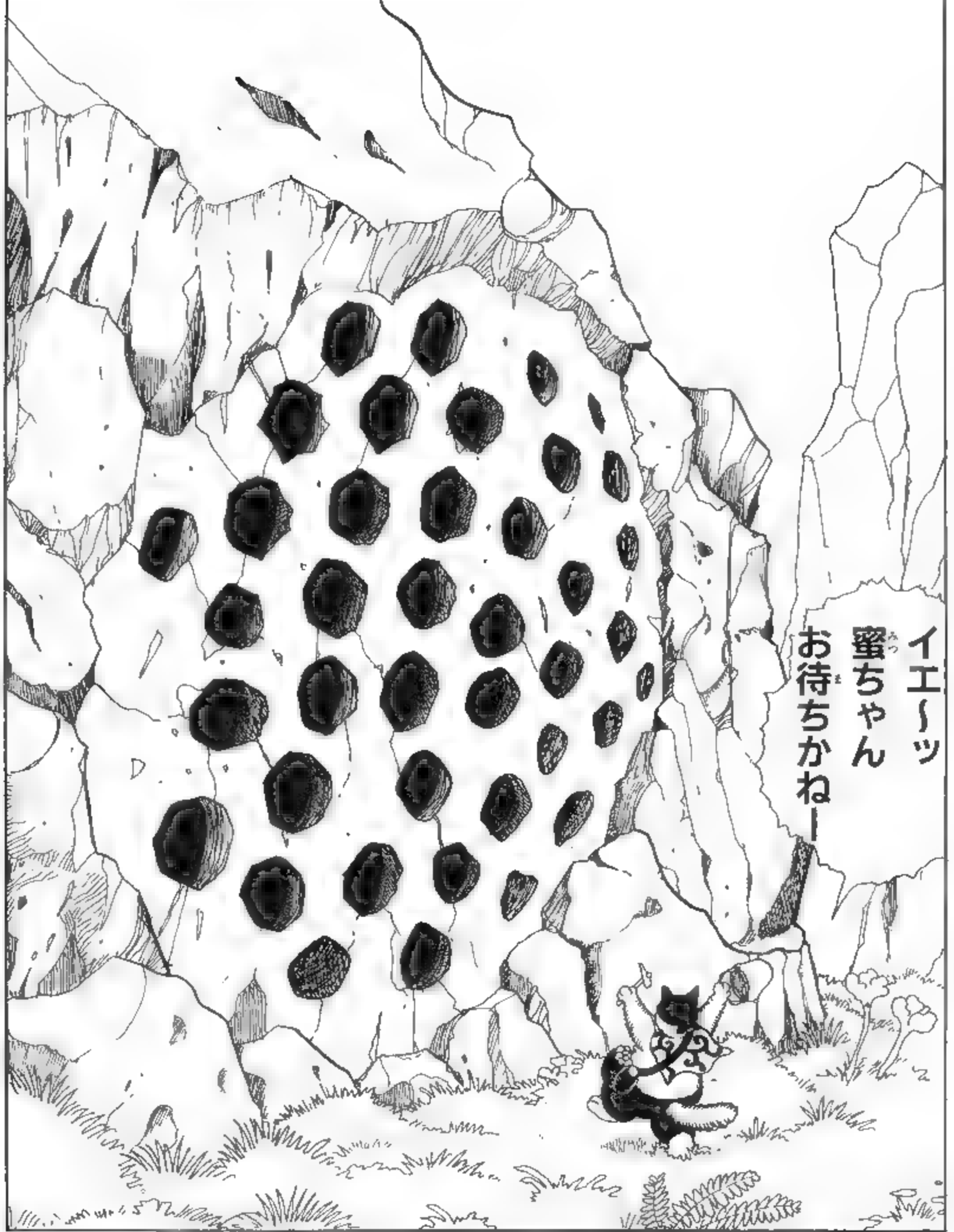
うはははは
あっ

いや〜っ
楽だねえ
笑い男が
いるとさ
うはははっ
うっうっ
どうして
ヒデコシ君は
笑わないんで
しょうねえ
ガガッ
ガガッ

食欲の神経が
太すぎて
笑いの神経が
切れてるのさ

そーゆーこと
言ってると
ホーレホレ
うにゃははっ
やめろ早く
袋にしまえっ

あ〜っ
苦しかった
腹痛え
蜜の匂いが
だんだん強く
なっていくぞ

ニャーン

イエ〜ッ
蜜ちゃん
お待ちかねー

中で気配はするが……
眠ってるようだぞ

オリャ
ガッ
ガッ
あいつ、あーっ
ぶちこわしてるぞ

しゃららん
ゴン
ゴン

蜜よ～っ
蜜なのよ～

では さっそく
こうして
ダンゴに蜜を
とうあ～っぷり
とつけて：

コラ
そんな所に
座ってないで
早く行こうぜ

んめ～っ

るあっ
ヒデヨシッ
ブーーン
ムフフッリンゴ笛の出番だぜい

んっ!?
スーッ
あっ
スーー

ダンゴだっ
ダンゴが笛につまってる!!

キャーーーッ
助けて蜂さーーん

オレはテンプラに頼まれたんだ
刺すならテンプラを刺せーっ
相変らず見苦しいなあ

痛で

ズッ

あっ
やられたっ

ドド…

もう猫だか何だか
解んないよ

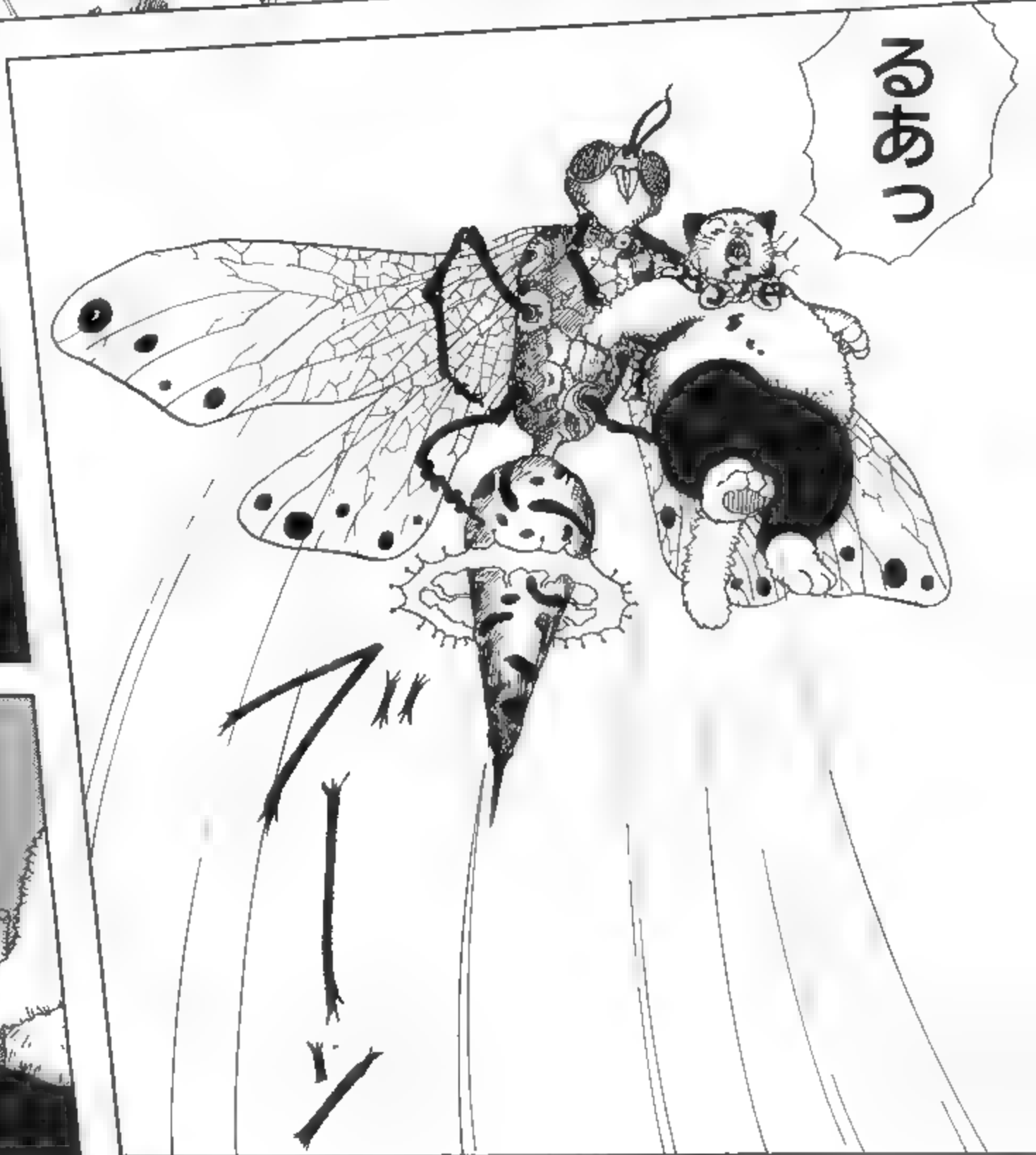
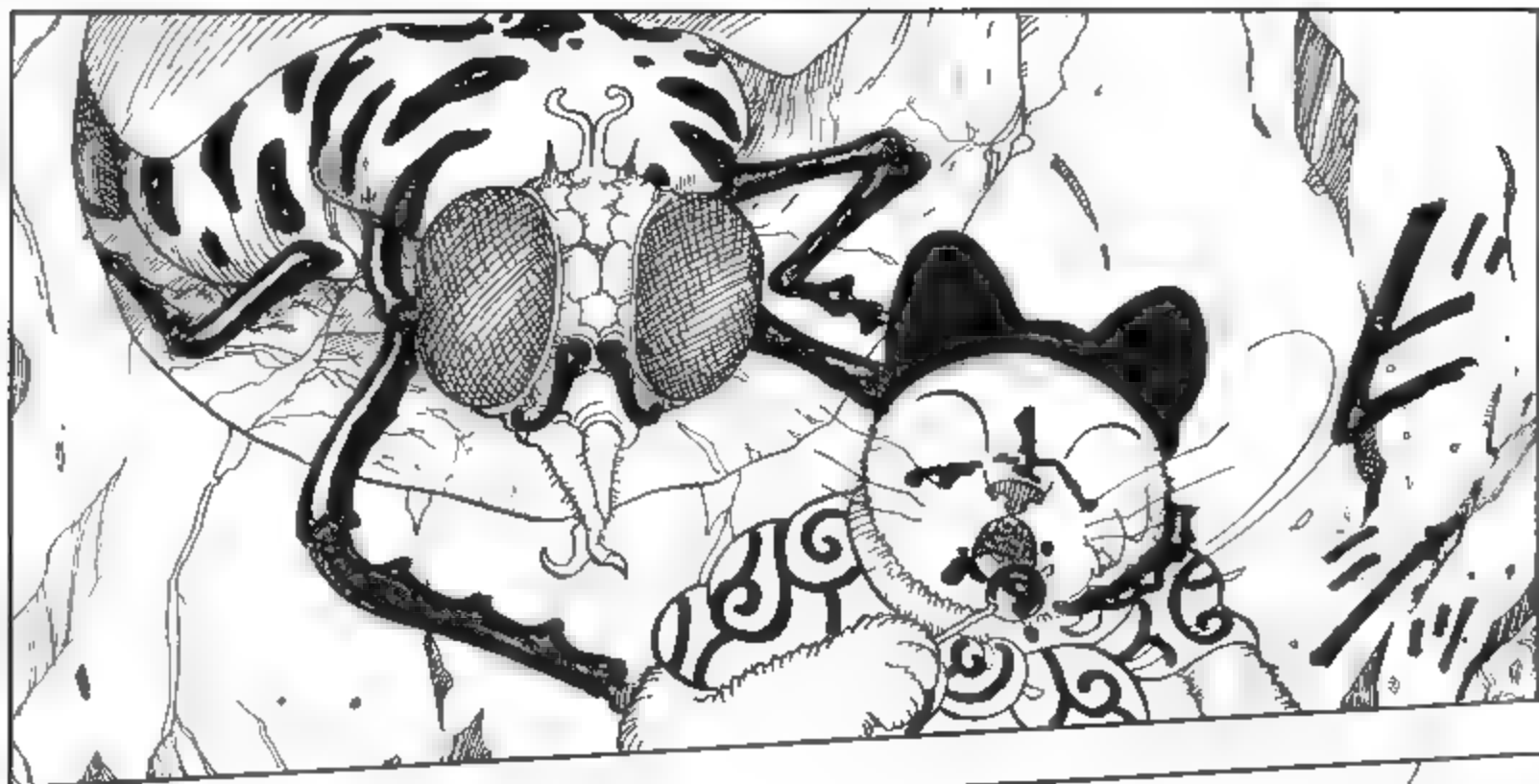
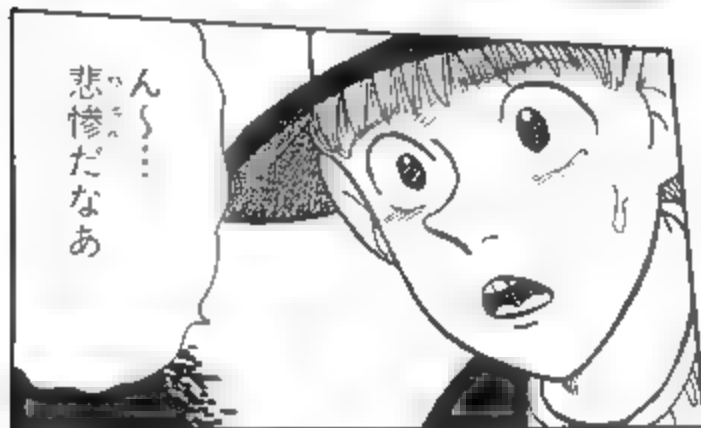
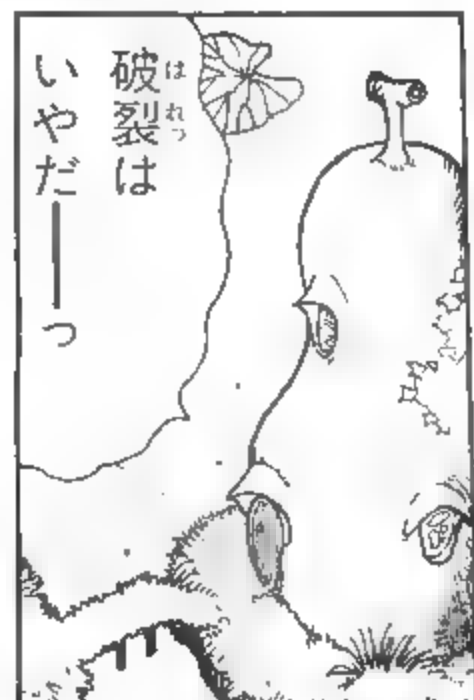
ううっ

おっ気がついたぞ

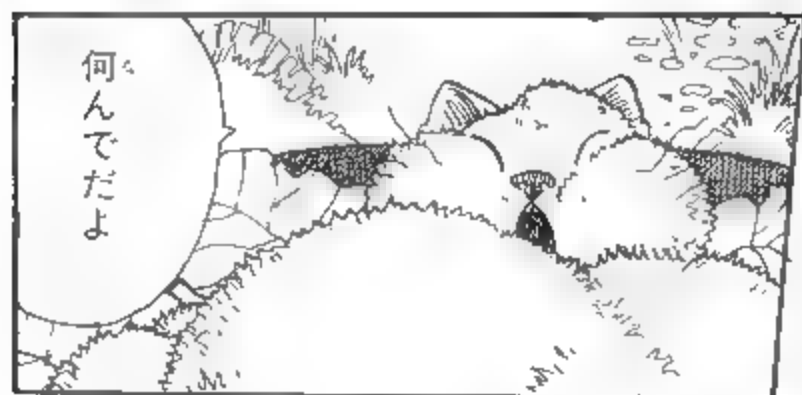
痛でっ
痛ででっ
体が
痙攣
してる
ピク
ピク

破裂
するぞっ

いやだっ
破裂は
いやだっ

破裂は
いやだ──っ

でも
痛みも
たんたん
なくなって
来たわよう
も〜っ
うるさいなあ
破裂しないよ

あきれかえった
奴だ
ヒデヨシ　お前
生物学の歴史に
残るぞ

何んでだよ

「有史以来
地雷蜂に刺されて
助かった者は
アタゴオルのヒデヨシ
のみである」

歴史なんか
どーでも
いいから
あの蜜
なめてえよー

喉元すぎれば
卑しさ復活

15日後

バケ猫バケ猫
でーぶでぶ

蜂蜜なめてプックラコ
コノヤロぶっ飛ばすぞーっ
らっ

おーーいテンプラ何やってんだあ
パンツが変なもの見つけたんだよ
くっついてて離れっ…

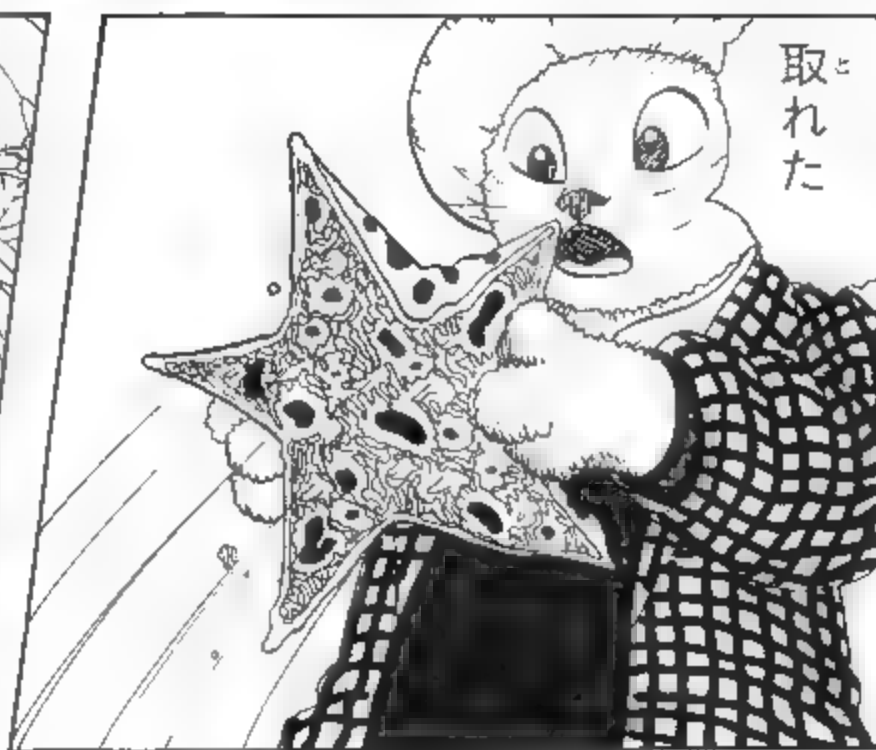
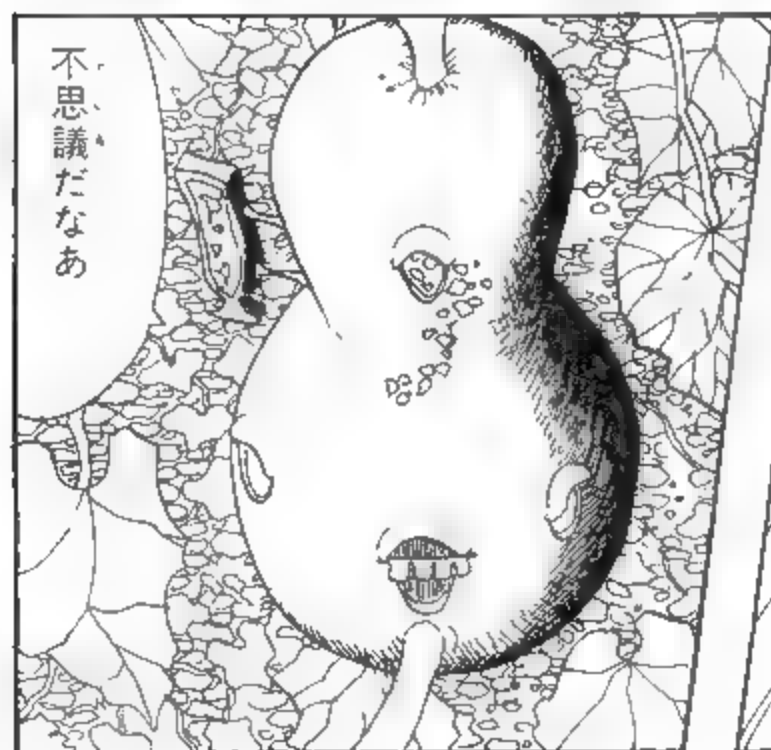
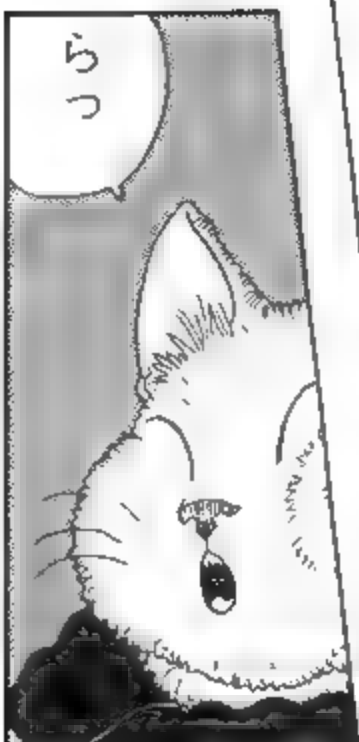
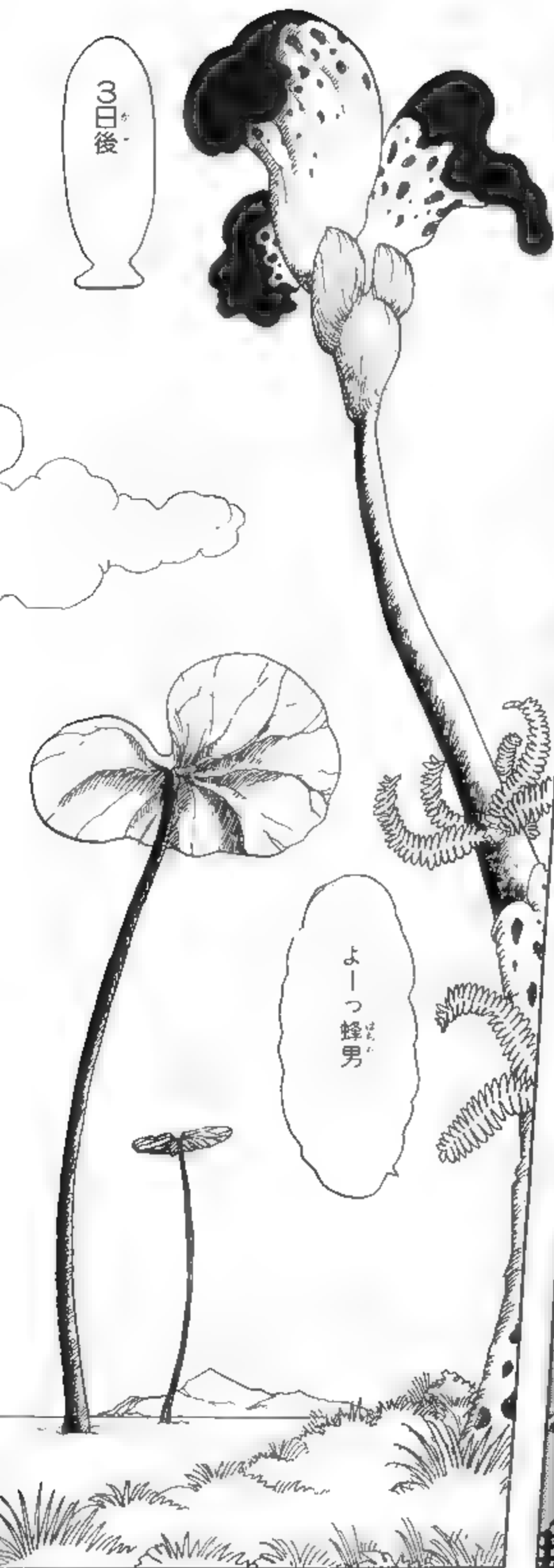
取れた
不思議だなあ

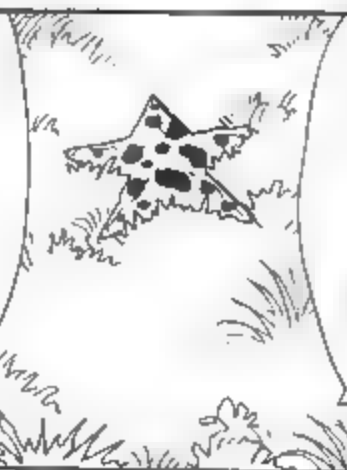
石みたいに堅いけど
時々ホラ
ぼんやりした光を
吹き出す…
こんな鉱物
見たことないぞ

昨夜、風鈴森に
隕石が落ちたらしいから
それと関係あるのかも
知れないな

のうパンツ君
その説
コーヒー一杯で
ワシに売って
くれんかね
タダで
やるよ!!
あっ

ここにも
ありますよ

えっ!?
何ぬ〜っ

どういう事だ?
さっきの光で…分裂したのかも知れないな

甘いな諸君

スミレ博士は見ぬいたぞっ
なぜ粉雪亭にこのヒトデ石が落ちていたかっ

それは隕石がコーヒーを飲みに来たのじゃーっ

こらパンツ耳をふさぐなっ

3日後

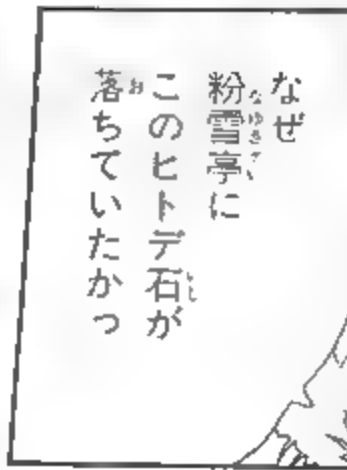
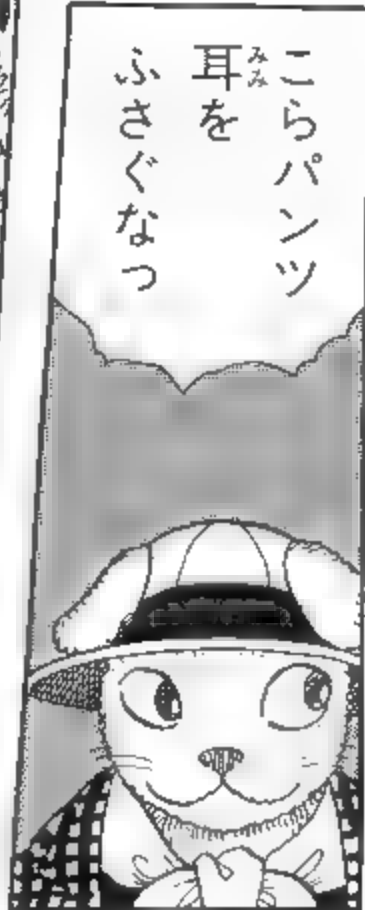
よーっ蜂男

あれっ だれだっけ アンタ!?
ホラ 天文台の 所長さん だよ

しかしずいぶん 大きくなって来た なあ
輝きも活発に なって来てるし

家に持ちかえって 観察してるんだが
月光を浴びると 成長していくようだよ

フーム…月光か…
天文台としては 風鈴森に落ちた 隕石との関係を調べて いるんじゃが……

これを見たまえ
現在まで発見された ヒトデ型物体の 分布図じゃ

あれっ
んっ!!

霧踏み森の中や
風鈴森のイバラ沢

どうしたんじゃ!?

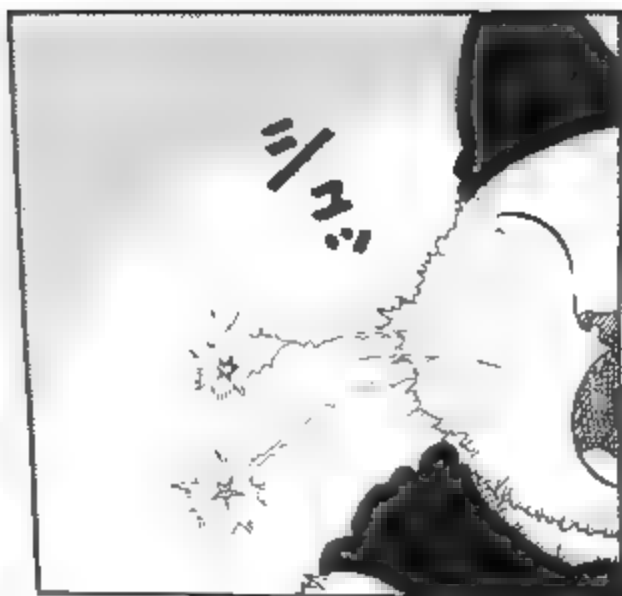
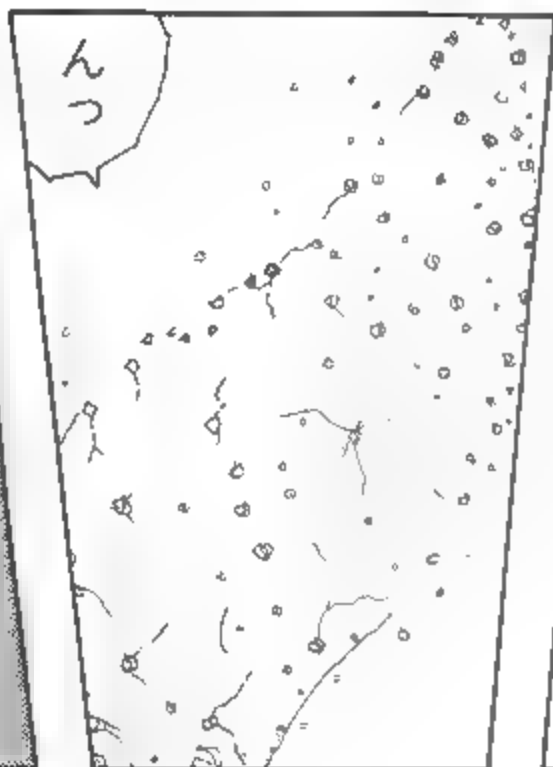
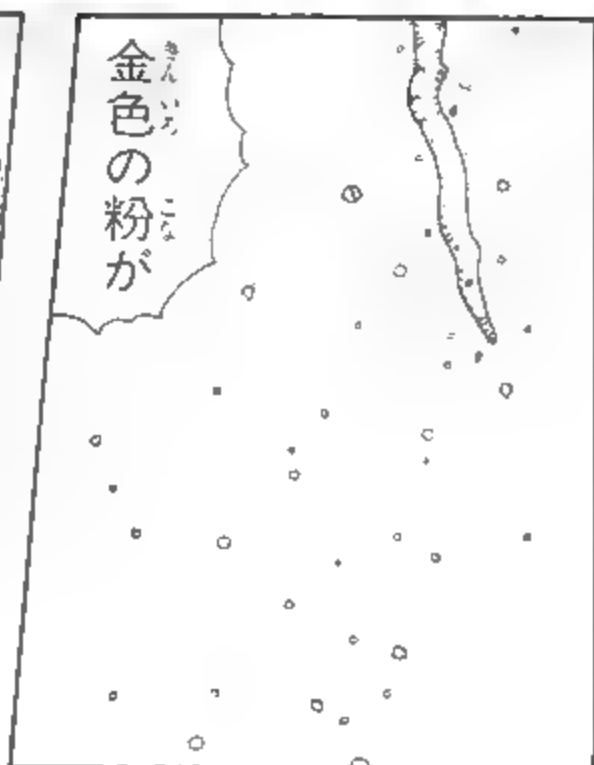
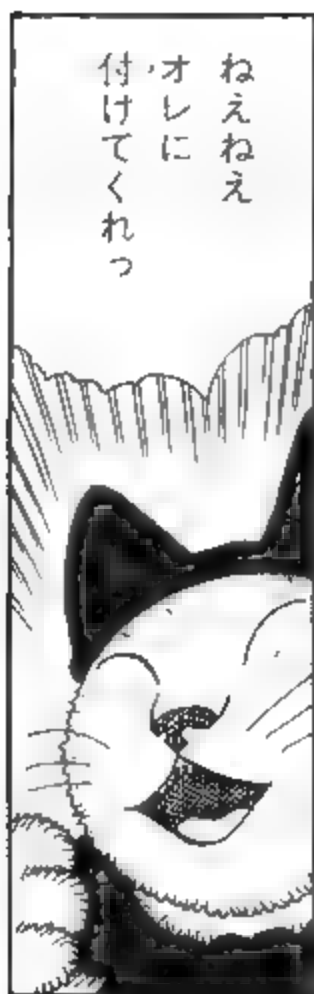
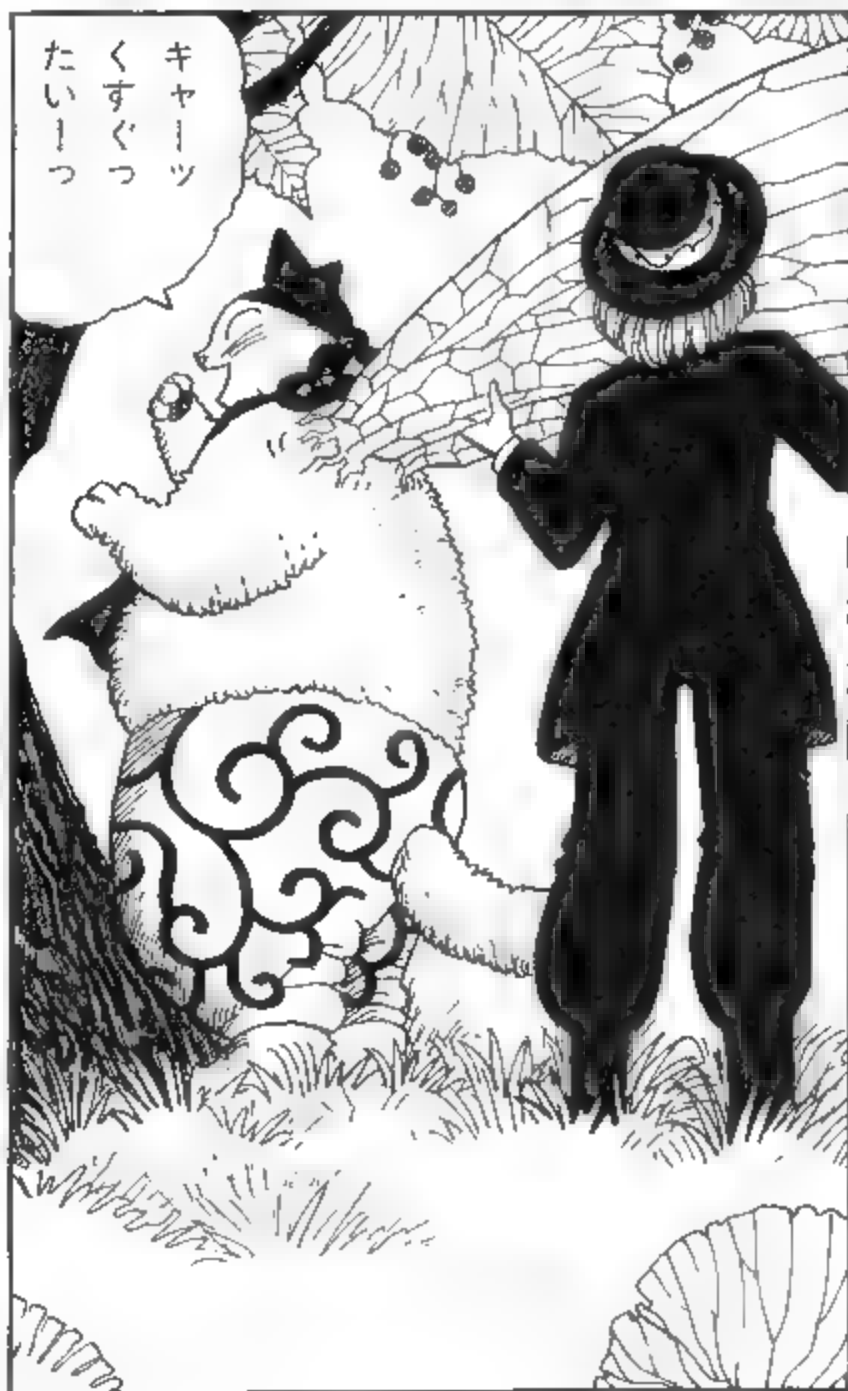
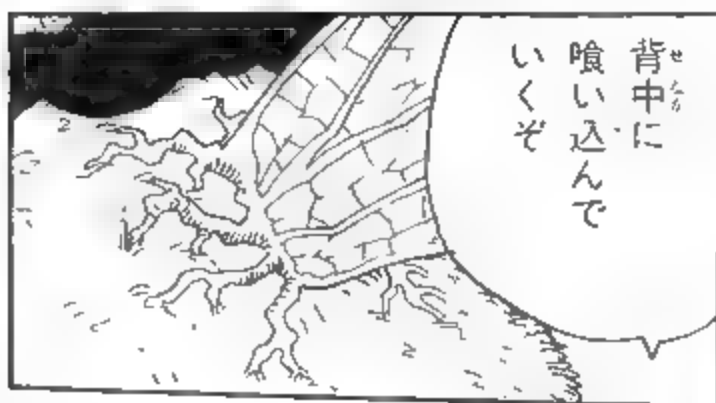
この発見場所はみんな
ヒデヨシの通り道ですよ

何?!
うっ

痛――っ

う〜っ
痛でかった
この光の粒
ヒトデ型物体と
同じ輝きだ
シュッ
いったい
どういう事
なんだ!!
体の腫れた部分から
吹き出したという事は…
…たぶん
地雷蜂の
毒素が
原因だな
あの蜂め〜っ
何んて悪い奴
なんだ〜っ
悪いのはお前だろ

スッ
浮かび出した
何んだあの足みたいな所から
金色の粉が
んっ
ああ…

羽根…

あの模様
地雷蜂の
羽根だぞ
おのれ
地雷蜂
羽根の先が
クニクニ
動いてるな
パサッ
ねえねえ
オレに
付けてくれっ
キャーッ
くすぐっ
たいーっ
背中に
喰い込んで
いくぞ
あらら
ブーン

体が重くて浮くだけだな

おーい ヒデ丸ーっ

イエーッ
ブブブブブ
わっ すごい羽根!!

蜂よっ蜂なのよ〜〜っ

ガチャーン
うわっ
また ぶつかってる

勢いだけで飛ぼうとするからだよ
あれえ変だなあ さっきから目が

そう言えばオレもチクチク

痛っ
ズキッ

この野郎オレの家を壊す気か
痛でで…目が

うわっ
目が痛いのよ～っ

こっ……これは!!
オオッ

森中が天然色で
呼吸している

流れてる…
流れているのが
解るぞっ

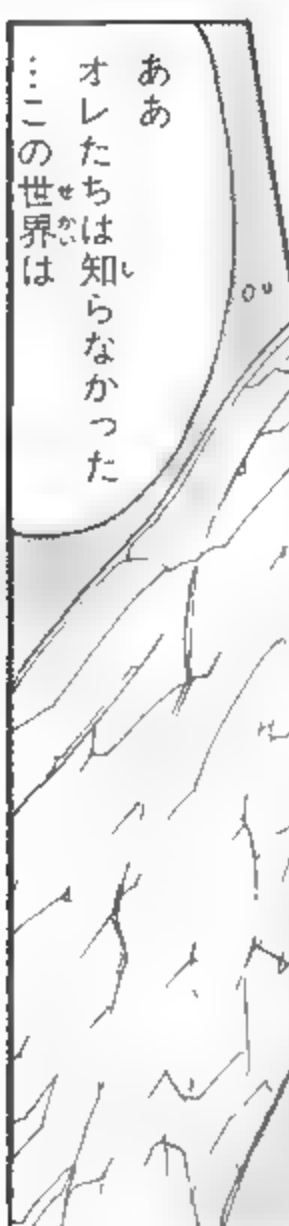
世界は
たった一つの型に
見えるんじゃ
ないんだ

いろんな種が
いろんな風に
感じているんだなあ

ああ
オレたちは知らなかった
…この世界は

匂いの滝でいっぱいだ…

勝利の砂漠

コリ コリ
コン コリ
お弁当箱発見!!

顔無し王の痕跡探しさ

蠍歯王、別名
顔無し王、ナスカ前期、
コネザアド大陸を
統一した男よのう
ザコザコ

お前どうして
そんな事
知ってんだ？

ワンも
大いに興味を
持っておる
ところで
テンプラ、お主の
弁当が見当らんが!?

イヤあな
予感が
したんで
かくして
おいたんだ
意地きたない
男よのォ

まあ よい…
ワシもまもなく
金貨10枚
入るでのォ

あれっ
金貨10枚って!?

顔無しの
似顔絵大会に
応募したのじゃ
伝言林の伝言板を
読んだんです

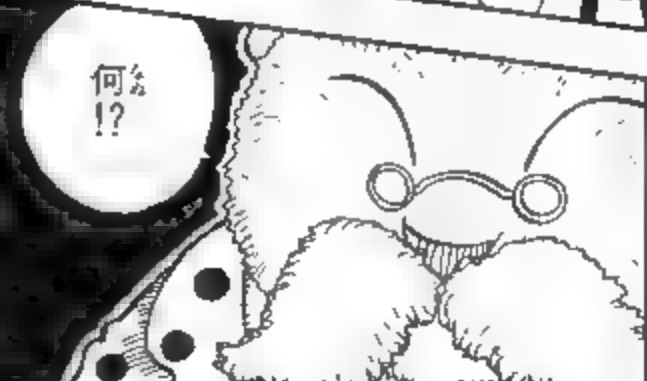
あれっ
ヒデ丸
そうか、ヒデ丸が
教えたのか

ワシが1等じゃ
金貨10枚
ワシのもの〜っ

オレも
似顔絵
出したよ

何〜っ
パンツーッ
お主 銭に
目がくらんだぬああ
お前と
一緒に
するなよ

ワシの場合、研究のために必要なのじゃ
タコと月の因果関係を調べるためにタコを食わねばならんのじゃ

オレも、研究のためさ
アタゴオルにも顔無し王の痕跡が残っているんだ
何!?

その大葉草の上にある青いカケラを持ってごらん
なんだこりゃ
だまってじっと見ててみな

おっ

これはいったい!!
なっ…不思議な石だろう

鉱物屋で調べてもらったんだけどそれ自然石じゃないんだ

自然の石じゃない!!

ああっ蠍歯王は不思議な発明をいくつも残したと言われているが
そうした物の中に「青尾眼石」という名が記されている

その石がどんな役割を持ったのか解らないんだが
オレはそのカケラこそ青尾眼石だと推測しているんだ

売ってくれ!!
その説オレに売ってくれタコ一匹で!!

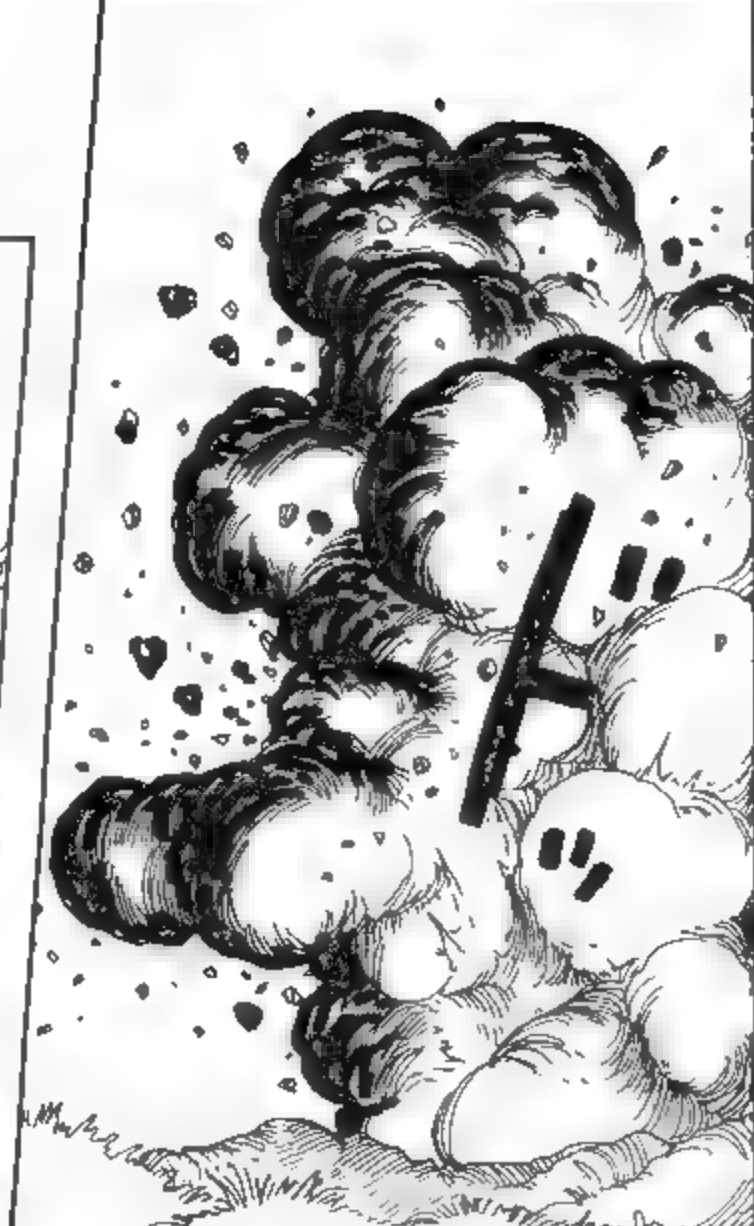
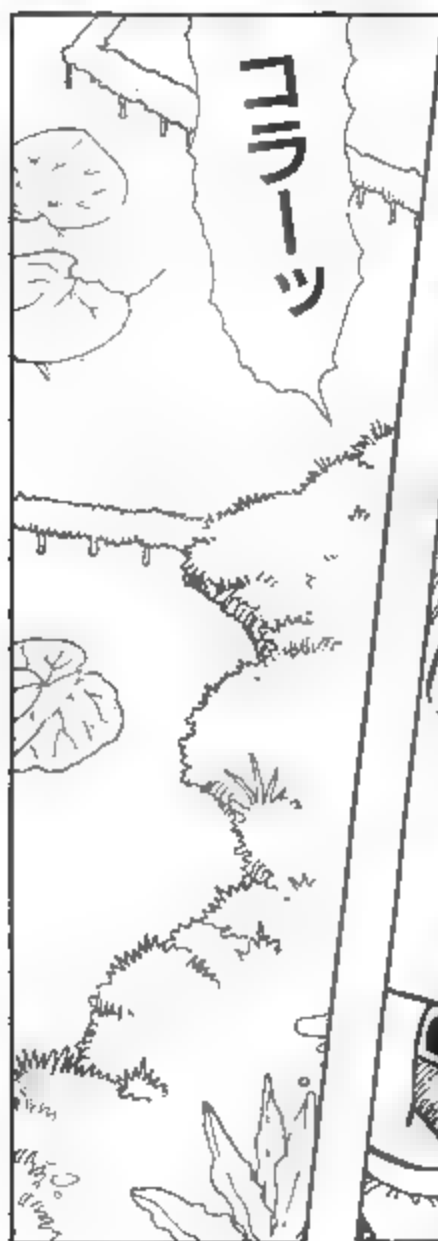
お前 研究は売ったり買ったりするもんじゃないんだよ
2匹だ タコ2匹でどうだ!!

なあ 発掘のじゃまだから、ヒデヨシ、あっちへ行けよ 神経使うんだから・

バカモノ
そんなハケや小さなシャベルを使う発掘では学問の真髄は掘れぬ

ホレホレ、このスミレ式発掘で楽 うにしてあげようぞ
カサ

あっ 何んだ それ

きのうの夜に仕かけた鼠火薬石ホレ早くにげぬと発掘の露と消えるぞう
バカ やめろっ

簡単
すばやい
スミレ式発掘

何んて
ことを

あの石で作った
器械のような
ものが!!
何なの
だろう

ていねいに発掘すれば
こわれずにすんだのに

一つの発掘は
新たな謎を生む!!
研究とは
奥深いものよのォ

何言ってんだ
お前がよけいな事
しなければ、
中身が解ったかも
しれないんだぞ
テンプラ君、研究に
怒りは不用の物じゃ
動いてる・
何か
動いてるぞ
ジジジジジ
動いてる!?
あれ……
止まった
この石で作った
器械は、
今まで動いて
いたようだぞ
今まで
動いていた!!
いったい何のために
動いていたんだろう?
みやおろ

おっと
ろろろ
こんな時間か

それじゃあしっかり研究するんじゃぞーっ

何んだあいつ

ヒデヨシ君の家の近くに最近ソバ屋が開店したんですよ

あいつの家の近くに食い物屋を開くなんて…
店主はこの森の者じゃあないな

ああきっとつぶれる
コラーッ

ウドン
どろぼう

ドス
ドス

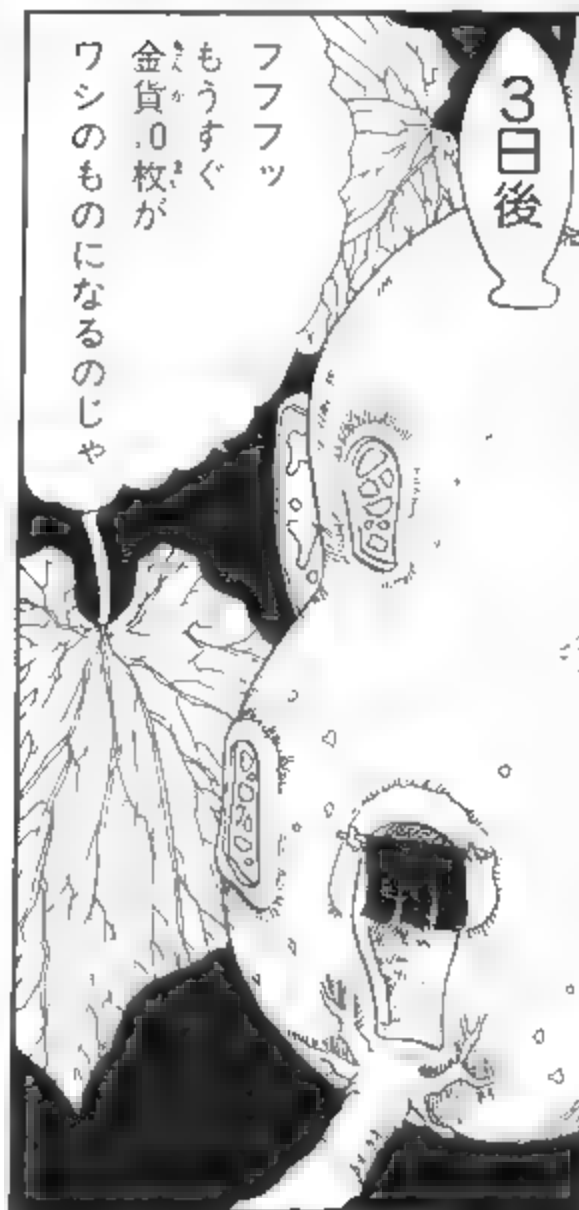
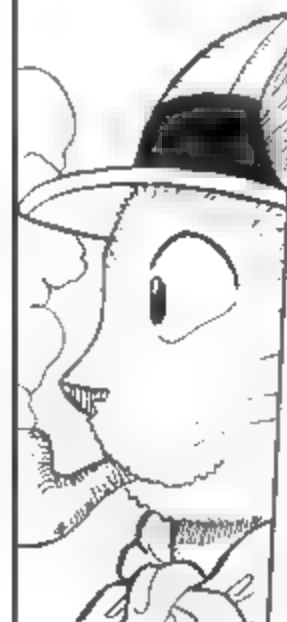
毎日昼も夜も
生ウドンかっぱらって
何考えてんだあ

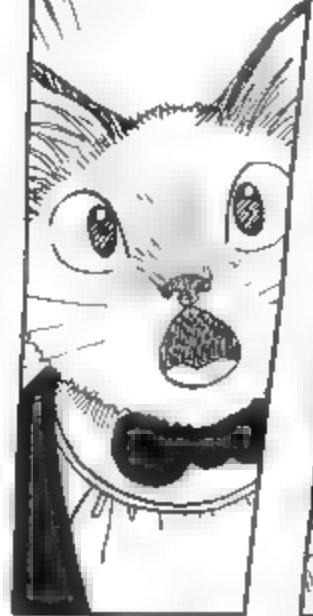
ねえパンツ君
どうして蠍歯王は
顔無し王と呼ばれる
ようになったんですか
いくつかの
古文書を調べると

どうも蠍歯王は
意図的に自分の顔を
記録させなかったようなんだ
この古文書に　ホラ

ああっ
これは、王が蝦皮河の戦い
で勝利した時の姿らしいんだが……

顔が描かれていないんだ
よっぽど
みっともない顔を
してたんじゃ
ないでしょうか

…そうした
理由ではなく、
王は、何か
もっと別な理由で
顔を記録させなかったと思うんだ

不思議な謎だねえ…
でも本当にどんな顔をしていたんだろう
コレじゃ、ワシが応募したこの顔こそ王の顔
ねえ見せて
う〜〜っ
ひどすぎて言葉もない
コフ、パンツ君お主も描いた絵持って来たんだろ
まあ描きそんじた奴だけどね
ああ…

スゴイッ
確かに王のフンイキが・
パンツ君いったいとうやってこの顔を？

色んな古文書をつなぎ合わせていくと、オレにはボンヤリとそんな顔が浮かんでくるんだよ

資料にふりまわされてはイカーン
直感!! 研究は直感につきるっ

そろそろ伝言林に結果の知らせが着くころだな
行こう、ワシの勝利を見にっ

ガャ
ガャ

優勝だ ソレ金貨10枚オレのもの
ありゃドラネコ団だっ

おお、字が浮き出したぞっ

読んでくれーっ何んて書いてあるんだあーっ

お前いい加減に文字憶えろよ

ぬあんだとォ
おめでとうパンツくん
どうも

何んでパンツが!!
納得できない

そうだぞっ納豆食えない
ワシは断固納豆食えないぞ

くっすおう抗議してやる
行くぞっワシは行くぞ

10日後
う〜〜っ

行けども行けども砂ばかり
もーっ帰ろうよーっ

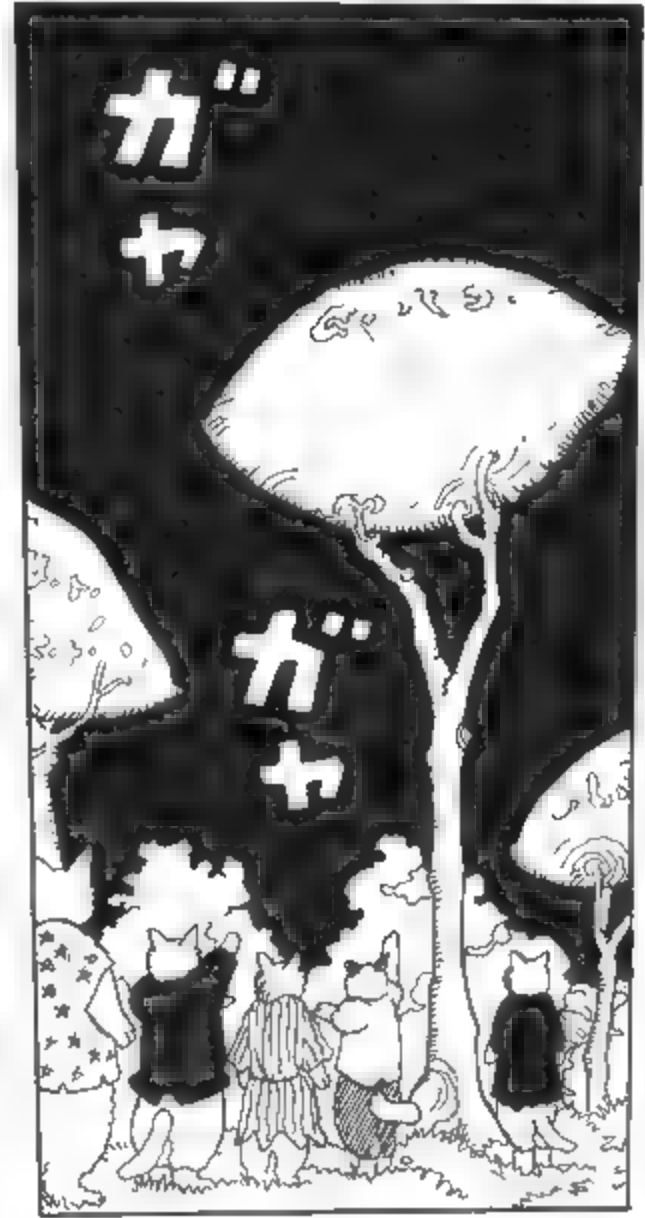
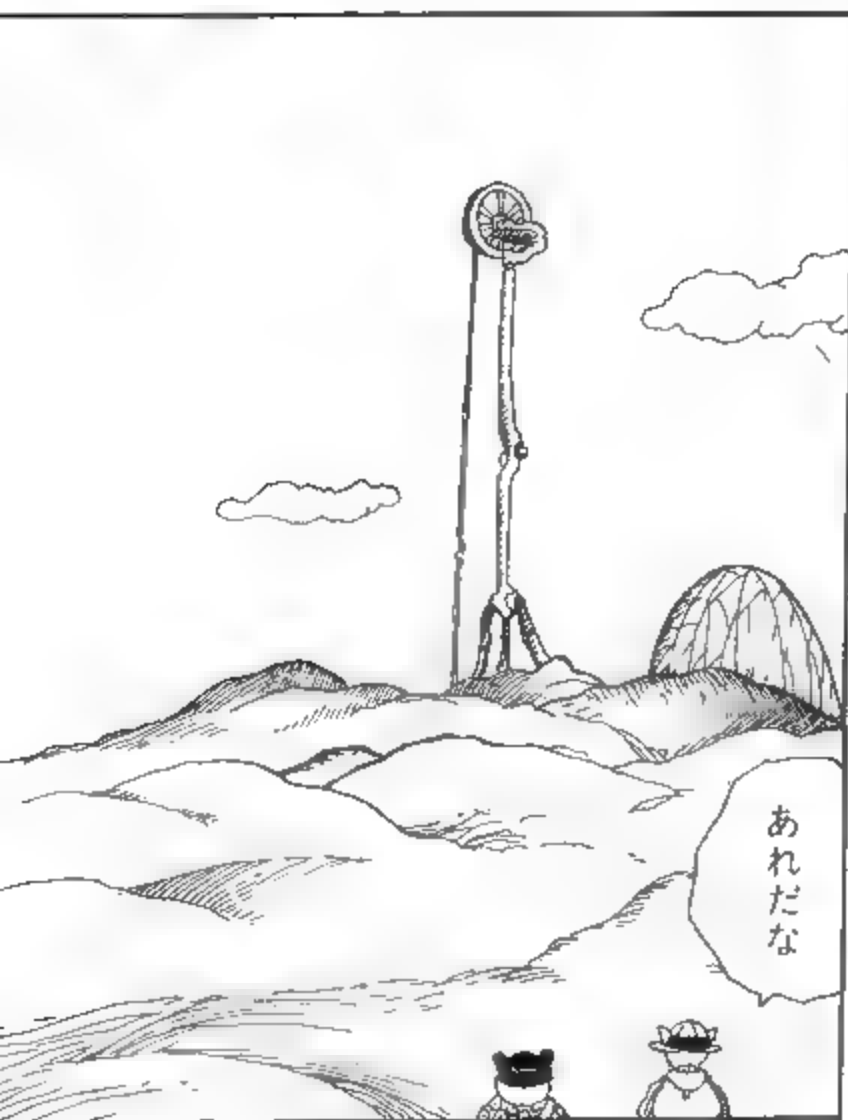
地図によると、そろそろ森鳥博士の住んでるあたりなんだが
よし、あそこに上陸してみよう

う〜〜〜っ なんで博士はこんな砂漠に住んでるのじゃ
都を探してるんだよ

都？

ああ蠍歯王の最後の王朝がどこにあったのか不明でね
博士はこの砂漠のどこかに都があったと推定しているんだ

らっ

あれだな

森島くんは
居るかね
どなた
じゃね？
アタゴオルの森の
天才博物学者
ホシノミヤ・スミレで
あるっ
そして
ワシの弟子の
テンプフと
パンツだよ
初めまして
パンツというと
お主が
ヤニ・パンツ君かっ
君が考古学会に
載せる研究文は
いつも斬新じゃ
そんなこと
ありません
博士の
研究書から
見れば……

そうじゃ大した事ない師匠の私スミレ博士の論文から見れば!!
お主の事も知っておるぞ

えっ
才能ある者は才能を見ぬくのう

一昨年の考古学大会で勝手に舞台に上って踊り出し
昨年も、タコを持って乱入しようとしてつかまった男だっ

いかにもワシじゃホシノミヤ・スミレじゃよ
いやあ、うれしいのう知られていたとは
すあーっぱり解ってない

ところで森鳥くん顔無し王似顔絵大会の一等賞がどーしてパンツなんじゃ

あまりにみことな出来だったからのう…ところでパンツ君

あの似顔絵はどうやって描いたのかね
古文書の資料をつなぎ合わせて想像したんですが…
美事じゃ実にすばらしい
ところで諸君、ついて来たまえ

この砂漠はゲレメレゲ砂漠と呼ばれているが
ナスカ前期の古代語にこれと似た言葉で「ゲレムレグ」という言葉がある

確か…意味は「勝利」

いかにもその通り!!

ワシは、古代語がなまって今日、ゲレメレゲと呼ばれるようになったと考えている
するとここは勝利の砂漠!?

不思議な名前ですねえ

ああ…ワシもこの意味を考えながら
この砂漠のどこかにある王の都を探しつづけた

見たまえ
ああ

これは

これが王の都じゃなあ

いや都はまだ見つからない
しかしこの石の器械には蠍歯王の紋章がきざまれている

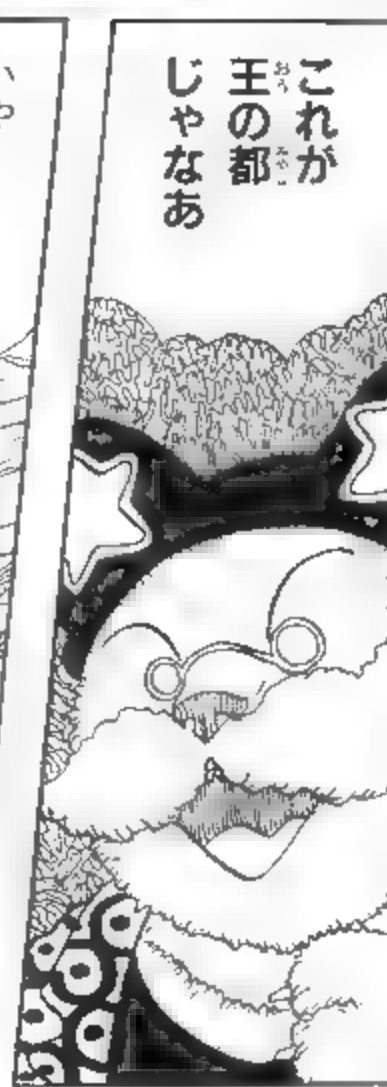
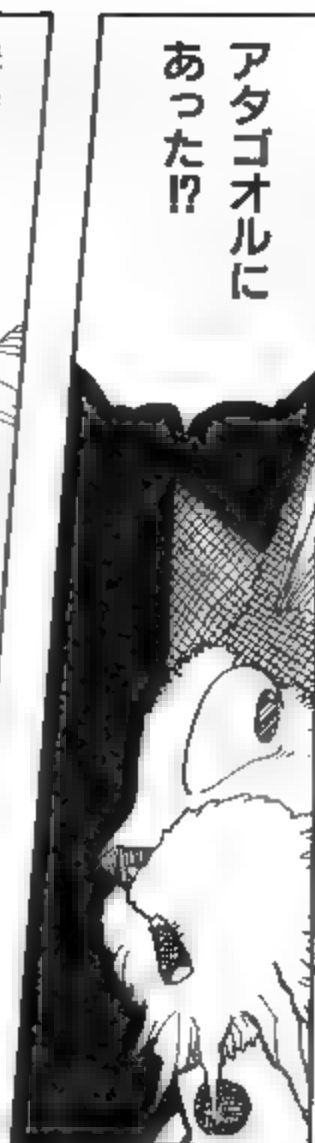
ワシはこの石こそが王が発明した青尾眼石だと考えておるのじゃ

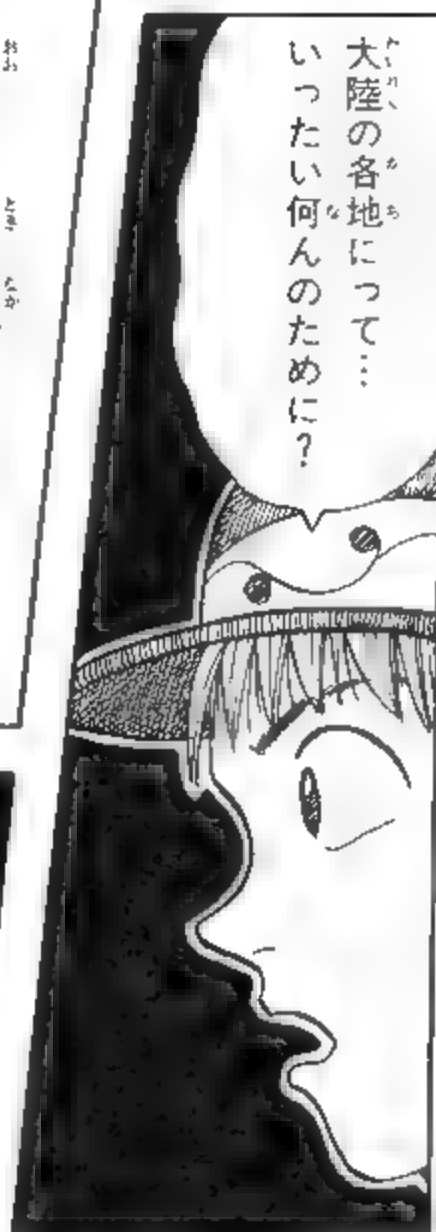
アタゴオルの地中にあったのよりはるかにでかい!!
ああ
アタゴオルにあった!?

博士実はこれをお見せしようと思って来たんです

オオッこれはまぎれもなく青尾眼石!!
じゃが…どうしてヒビ割れておるのじゃ

こいつが爆破したのです
ホホホホッ

そうか…やっぱりあったのか…!
やっぱりといいますと?

王は、大陸を統一したあと、大陸の各地に、この石で作った器械を埋めたのではないかと……そうか!! やっぱりあったか

大陸の各地にって…いったい何んのために?

大いなる時の中で各地から発信されたものをこの器械がうけとめていたのだ

う〜っ何言ってんのかすあ〜っぱり解らん

…まあ条件はこの近くで砂嵐が起っていればいいのですが

んっ
おおっ

ズズズ

ああっ

ズズズ
竜巻が…!!
あの顔は!

顔がだんだんくっきりと！
あれっ あの顔!!

斬歯王の姿じゃよ

そうか これは大陸統一の蝦皮河の戦いの勝利の姿だ

戦いの勝利の姿!!

そっくり!! ワシの描いた顔にそっくりじゃーっ

ああ　パンツの描いた絵にそっくりだ

像がくっきりと・・

ズズ・ズッ

ヨネザアド統一の最後の戦いは実に苦しいものだったと記録されている

王はその苦しみぬいた果てに手に入れた勝利の喜びを永遠に残すために器械を作り

そこにたった一つだけ自分の顔を残したのだと思う
フーム　味なことを

あれ？　あそこに竜巻がっ
うしろにも!!

あれは・・・

カタロ王の闇龍の巣退治

むこうのは瞳の森を征伐するヒビキ丸だぞ

ズズズズ

そうかっ
勝利の砂漠の
勝利って
このことか!!
そうじゃ
歴史に残る
戦い……

蠍歯王が味わったような
苦しみの果ての勝利を
得た者の姿が
ここに記録されるのじゃ

この砂漠は、
歴史的な
勝利像たちを
抱えているのか
だが 一つの
謎があるのじゃ

謎!?
あっ
また始まったぞっ
ズズズズ
あれじゃよ
あっ

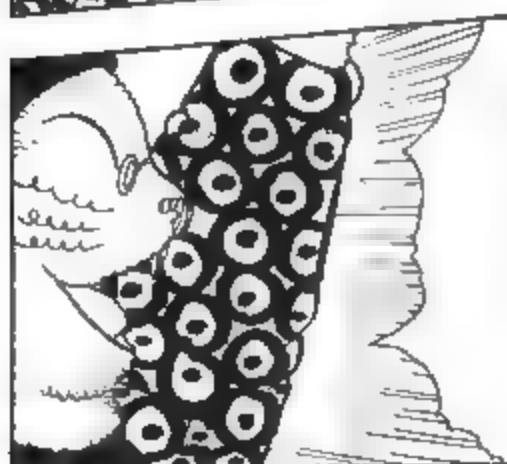
ヒデヨシだっ
ズズズ

ここにいますよ
猫違いじゃワシはスミレじゃよ
ヒゲが落ちてるぞ

何ぜだっ何ぜ君が勝利の砂漠に!?

…あのドンブリの形からすると5年前一カ月でつぶれた餅つきウドン屋のウドンを盗んだ姿だなあ…

イエ〜ッ餅つきウドン屋イエ〜ッ
盗んだんじゃないのよオレ知ってんのよーっ
盗んだんじゃない!?

オウッオレは開店の日、ウドンを32杯食ってから
あと4杯たのんだが食いきれなくて
残りを持って逃げたのサーッ

情ない…
いやあっ
あんときは
本当に苦しい
勝利だったわ
何が苦しい勝利だ
何ぜこんな男が
歴史的な勝利の砂漠に
記録されてしまったんだ!?
ワシには理解できん!!

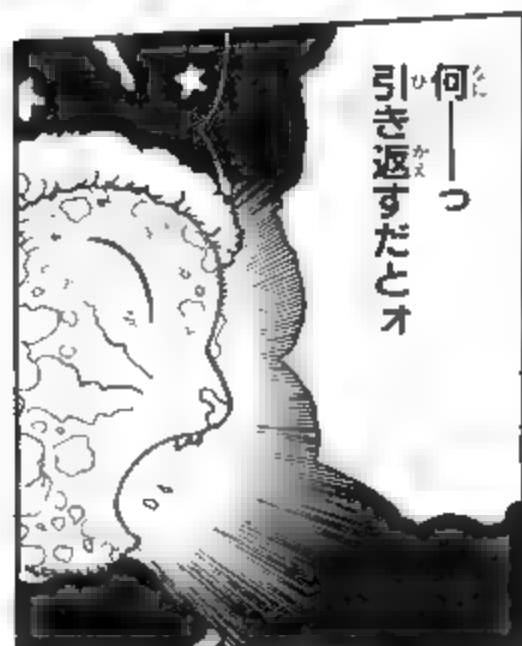
考えられるのは
ただ一つ

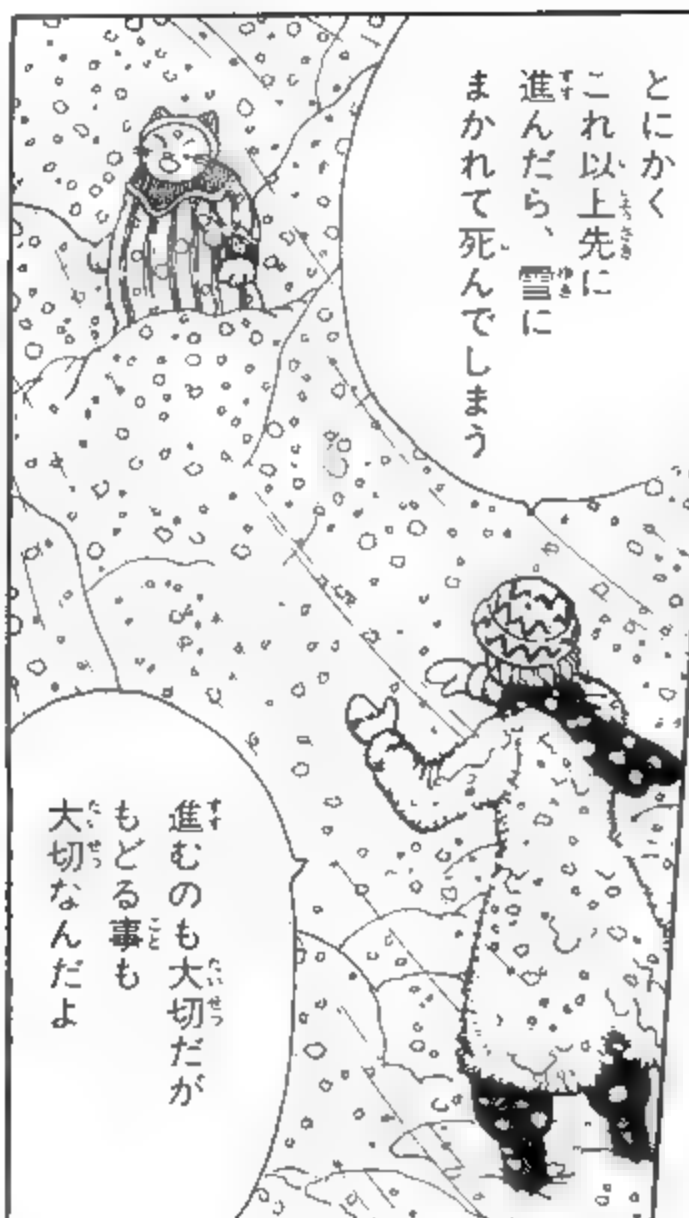
んっ
カタロ王が
片耳を失ないながら
やっと龍を倒した時の喜びや

蠍歯王が
たくさんの苦しい戦いの
果てに手に入れた喜び
そうした勝利の喜びと
同じ位の喜びを
ヒデヨシは

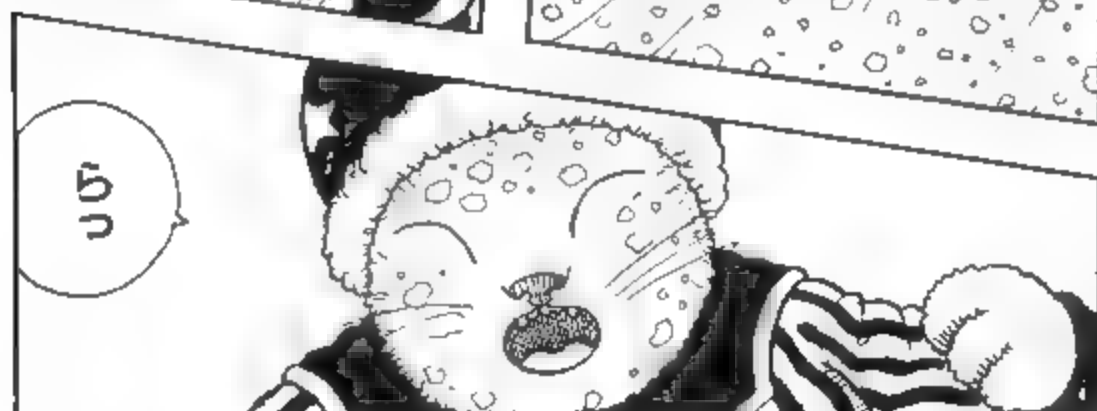
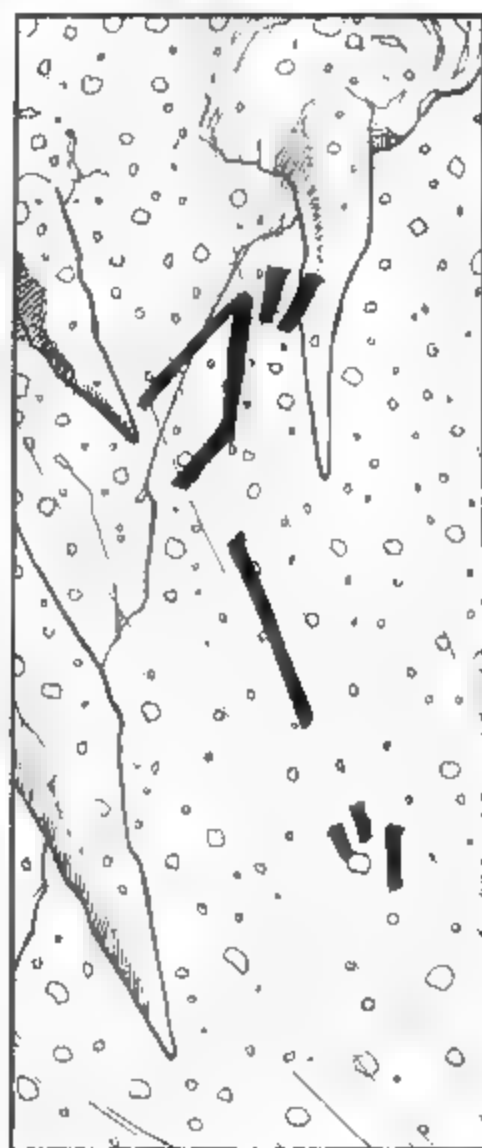
ウドンの食い逃げで
感じられるのです

トト&ドス

ヒュ————ッ
進めーっ
テンプラーッ

お前は時々
雪が餅に見えたり
沼の水が酒に見えたり
するからなあ

とにかく
これ以上先に
進んだら、雪に
まかれて死んでしまう
進むのも大切だが
もどる事も
大切なんだよ

ぺっ
臆病者は
炬燵にお入り
オレはいつでも
進む猫なのサッ

たった
ひとり
でもーっ
ずえーーったい
探してやっからな
見つかるまで
進みぬくわよーっ
らっ

ニャーン

いろんな卵を見たことあるが
こんな奴は見たことがない

ニィーッノッフッ

生でズズッとすすっても良し
タラララ
目玉焼きも良し
テンプラたちにはあげないよ
あいつらは食い意地がきったないからなーっ

カン
くっそーっ
何んてしぶとい
やつなんだーっ
カン

カン
かたくて
割れないぞ

おのれっ
こうなったら

翌日
まさか
凍え死んだり
するわけ
ないよなあ

おーい
ヒデコシ
いるかーっ
んっ!!
何やってんだ
お前?

卵温めてんのよ

卵!!
あの洞窟で見つけたのか?
そうだよーーっ

ホラーッ

見たことのない卵だなあ

ああ…鳥の卵にこんな模様のはないぞ

家に持って帰って
食おうと思ってサ
棒でガゴガゴ
ぶったたいたんだけど
割れないのよォ
ぶったたいた!!

ああ
だから
オレの猫肌で
温ったためて
割れた所を
食ってやろうと
考えたわけだ

何言ってんだよ
あの吹雪の氷穴の
中にあった卵だろ
そういう卵は
とても貴重なんだぞ

そーなのよ〜っ
貴重な味
なのよ〜っ

すぁ　っぱり
分かってないな!!
君たちには
食べさせ
ないわよー

パリン
あっ

パリッ
パリン

何やってんだ
コイツら
すり
すり

そうか
ヒデヨシを
親だと
思ってるんだ

尾矢
何んだ　それ?

お前、親を
知らない
捨て子だった
もんなあ
きっと、手に
おえなくて
捨てたんだろうな
ホホホホ
コロロ

す…
て…ご…

ありゃ
しゃべったぞ

捨て子じゃないの
オレの名前はヒデヨシくん
ヒデヨシくん
すてご
すてご

ヒ…デ…ヨシくん

すごい
生まれてすぐに言葉を覚えるなんて
ヒデヨシから一番遠く離れた生物だな

5日後
もろ
もろ

へーっ
これがそうなの
名前は？

ぷっくりしてるのがドスくん
細いのがトトくん
オレがつけたんだ

こうやってると
ジャレるのよ
キャハハ
キャーッ
サササッ

しかし
ドスくんたちは
いったい何を
食べてるの?
持って来た粉ミルクも
君ばっかり
なめてるし

それが
スゴイのよーっ

スゴイ?
そーなのよ
ドス、トト
飯だ
飯の時間
なのよ——っ

あれ

ニューッ
爪みたいなのが
……!

トコトコ
バチッ
モコ
あっ
ブーッ
コリコリ
んめ〜っ

ホラ
ツキミ姫も
食ってみろ

うん…
うまい
氷砂糖みたいだけど
もっと不思議な…

何んだろう
この不思議な甘さ…？

5日後
せっ

森中で
雪降したな
こんなに降り続くのは
気象台始まって
以来らしいぞ

ところで
トト君たちの
こと、何か
分かったかい？

いや
図書館の
古文書室で
調べているけど
手がかりなしさ

ドロボーッ
あっ
ヒデヨシ

コノヤロッ
積木や
粘土盗んで
どーする気だ
そんなもの
食えないんだぞっ

トトと
ドスのためにか
気持ちはエライが
やる事がなさけない

確か今
チラッとテンプラたちが
見えたな

たぶん間もなく
「盗んだ物で遊んで
何が楽しいんだ」などと
説教こきに来るだろう

よろしい

もろ
もろ
迎えうってやろーっ
やろー
こうやって枝を組んで…そこに
パッ
うすべったらにした雪をスオーッと乗せていく
そうだうまいぞトト
最後に上から粉雪をまぶして

完成よーっ
落し穴の完成なのよーっ
ナノコー
キャー
こうやってソーッと足あとをつけておく
これがミソね

おーいヒデヨシ
来たなカモのテンプラ
ドキドキ

んっ

しっかしよく降る雪だよなーっ

あれっ
こんな所にダンゴの包みが落ちてる

何っ
ダンゴの包みーっ

ズ
ぐわっ
ボ

自爆です
ヒデヨシ
自爆しました
くっそーっ
どうして
バレたんだ!?
パ

雪ベラ(スコップ)
だよ
雪ベラ

雪降しも
しないお前が
雪ベラなんか
使ってる時は
落し穴しかないだろう

痛てて
失敗じゃ
失敗
なのじゃ
ポコ
のっ
スコ

んめーっ

ああ
ホントに…
砂糖なんかじゃない

何んなんだろう……この胸にしみる甘さは？

こいデブ
決闘だ決闘だぞ

やっつけ丸で成敗してくれる

トォ

らっ

じゅしっ
じゅしっ
ガッ
スコッ
痛でで
へーっ
トトたちは風に乗って飛べるのか

おのれっ
あっ
ヒデヨシ

氷だよ
あの氷を食べると
しばらく風に乗れるのよ

お

すごい・
トトたち
痛で
コッ
スコ

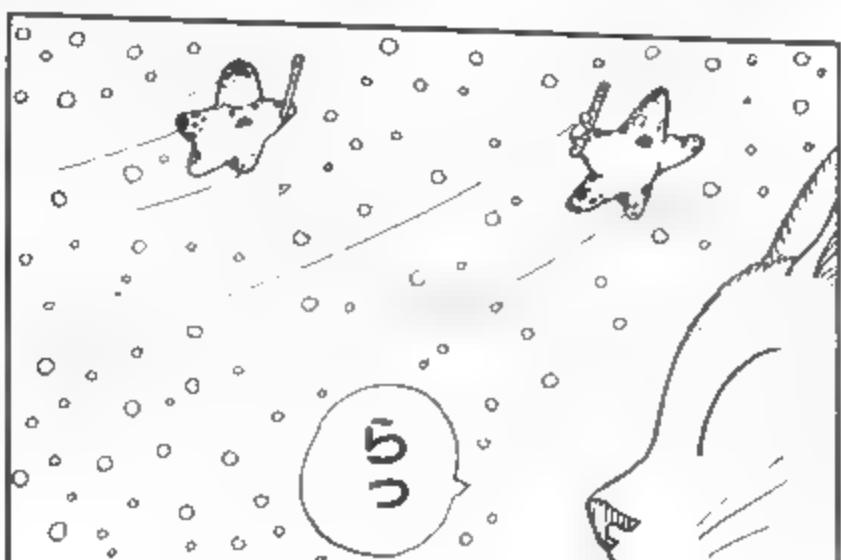
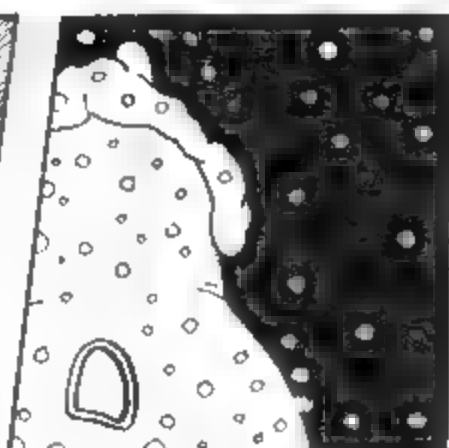
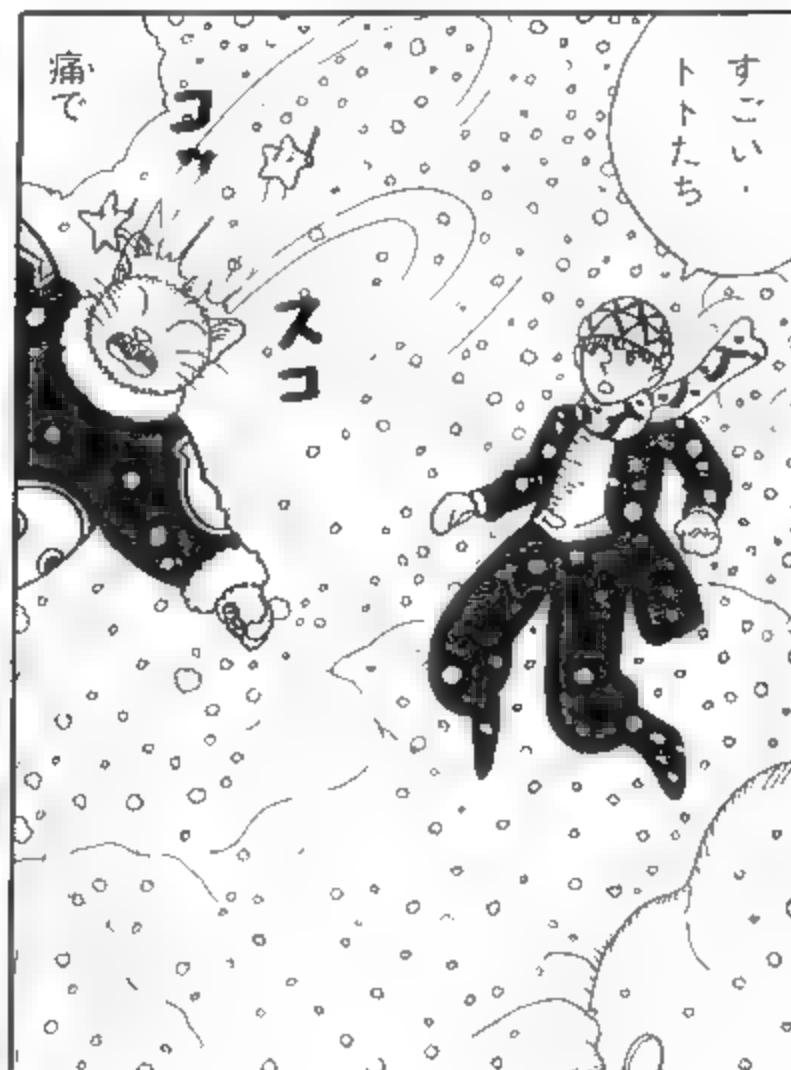
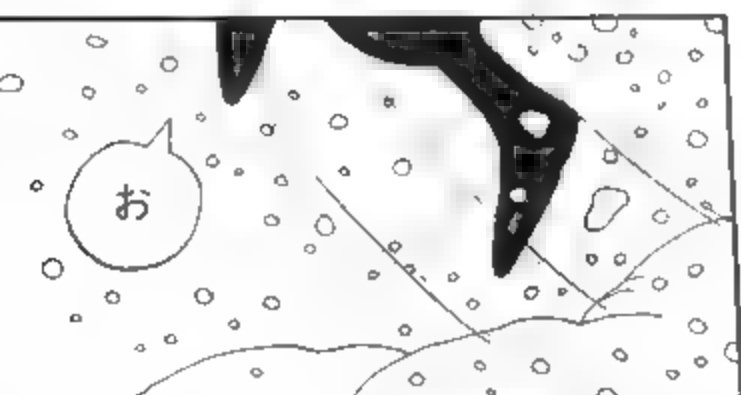
まるで
風をあやつって
いるみたいだな

このやろ
大ダコ大王

ぶちのめしてやるう〜

生イカ王子はそう叫ぶと

わくわく

スヤスヤ

ヒデヨシが
遊んでいるというか
遊んでもらっているというか
3日後
こりゃあ
いったいどう
なっているんだ
ああ…
家がみんな
埋まっちまう
雪がこんなに
降り続くなんて…

北極あたりの寒気団が
アタゴオルの上空に
停滞している
らしいんだ

北極あたりの
寒気団!?

ああっ
気象台の
調査によると
北極の方がアタゴオルより
暖かいらしいぞ

樹令一万年の
ガボンの大木が
雪で折れてしまうし
アタゴオル図書館の
本はくさり始めるし

うんしょ
うんしょ

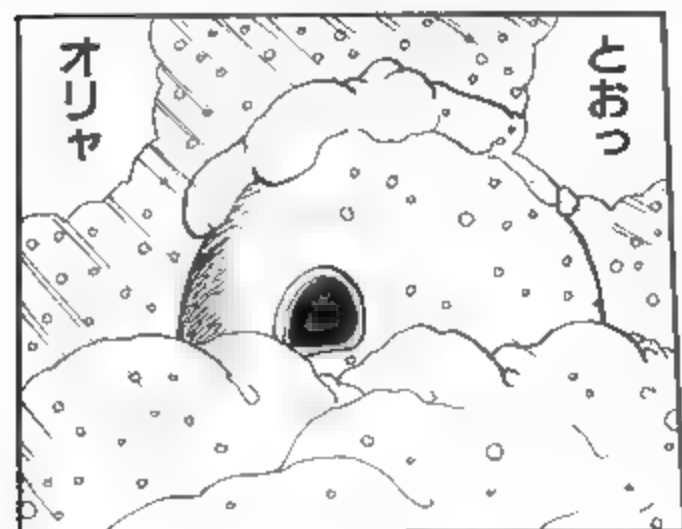
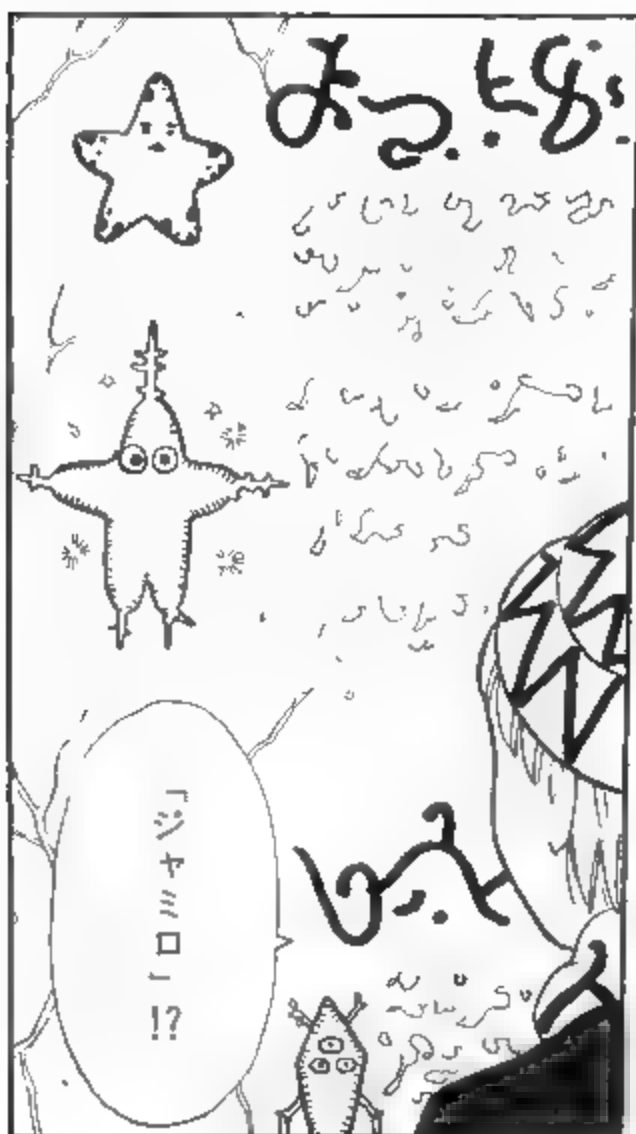
出来たーっ
トトくんだっ
オレも
ドスくんが
出来たぞ
オッうまい
オレも
出来たぞ
何これ?
酒ビンだよ
オレがいつも
飲んでるやつ
似ってねえっ
大ヘタくそ
おのれーっ
決闘だ　決闘
オーッ
ぶちのめして
やるう~
とおっ
オリャ

痛てで
スコ
よーし
次はかくれんぼだ
コッ

よーし

こんなに
降ったんじゃ
木も根腐れ
するよなあ

テンプフ
見つけたぞ
気象の古文書部屋
の中にあった
えっ

ホラ
あそこ

「ジャミロ」!?

「ジャミロ」北極の大気の中を漂う生物で
雪の結晶構造を自在にあやつるといわれているがすでに絶滅したと思われる

雪の降る時期気流に乗って南下することがあり
古代の都ゼエゼロの王はジャミロをかわいがったため雪に埋ずもれ植物が腐り都市は廃墟と化した

ああ……ドスとトトはジャミロだったのかあ………

吹雪が始まったのはドス君たちが生まれた晩からだったもんなあ
しかしこのままじゃアタゴオルが…

でも ヒデヨシ君と
あんなに仲良しだし
トトとドスに
出て行けと
言うのは
あんまりですよ

あーっ かくれんぼ
盛り上がったなあ
ヒッ
ヒデヨシくん

それに
ヒデヨシが
うんと言う訳
ないもんなあ

弱ったなあ

何んだい
トト
お月様が
追いかけて
くるよ

お月様が
追いかけてくる!?

ホラ さっきから 見ていると ずーっと 追いかけて くるよ
ホントだ こわいよォ

安心しろ お月様なんか オレが ぶちのめして やるぜい
ワーイ

ああ… オレも ずーっと小さい頃 そんな気持ちに なったことがあるぜ

今もだけど

2日後
ああ 気が重い なあ

あれっ

どうした トト、ドス
どうして やめるんだ
決闘ゴッコ もういいよ

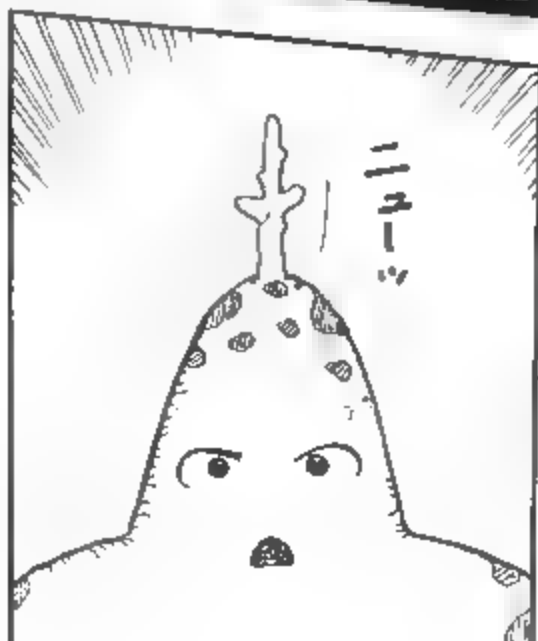
よーし そんなら 粘土遊びに 突入じゃあ

粘土遊びも 積木も お馬ゴッコも 何んだか 楽しくない…

どうした んだよォ
お前たち どっか具合でも 悪いのか

あっ

ニューッ

どっ

どうしたんだ
トト、ドス

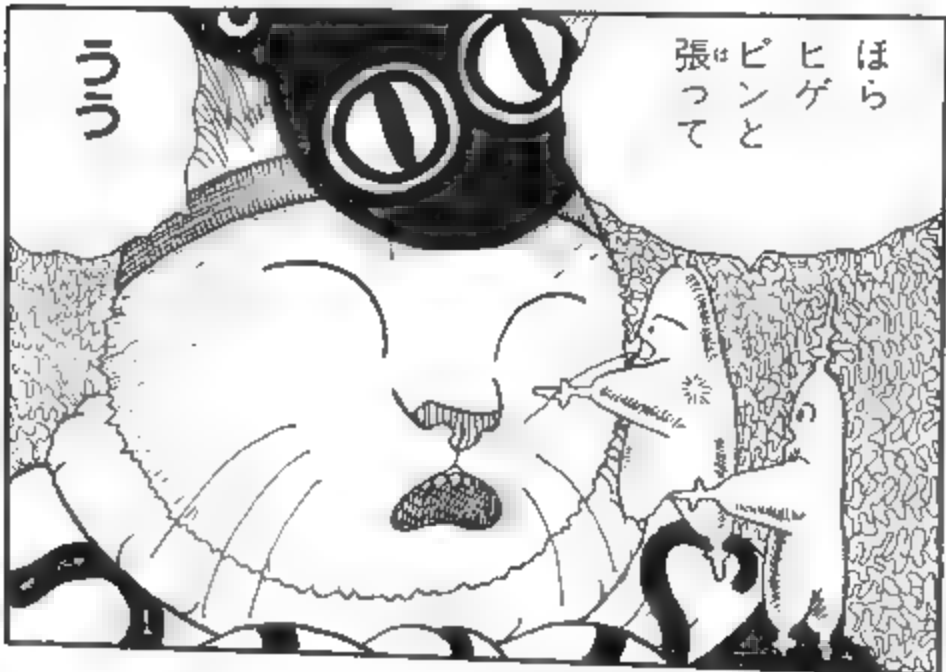
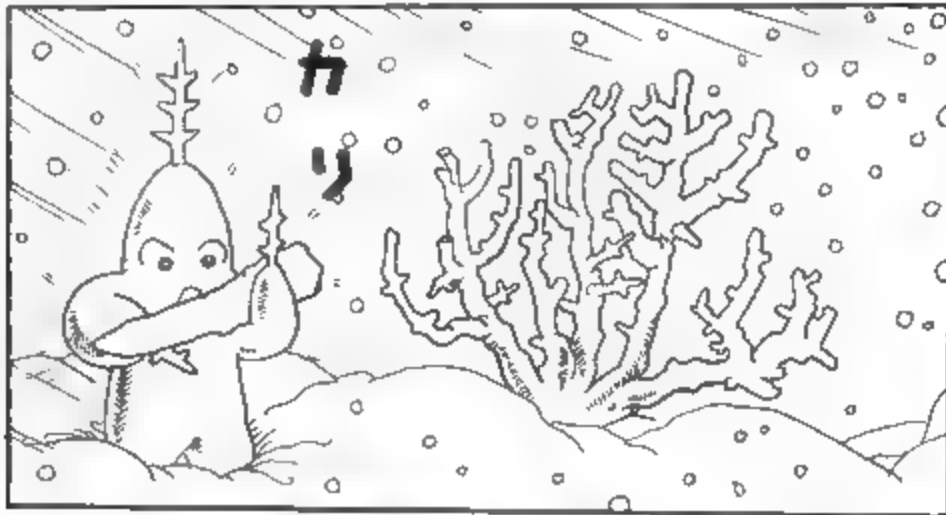
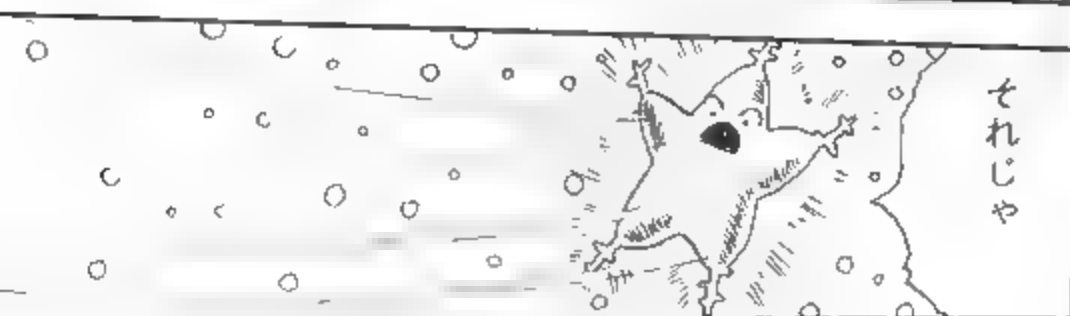
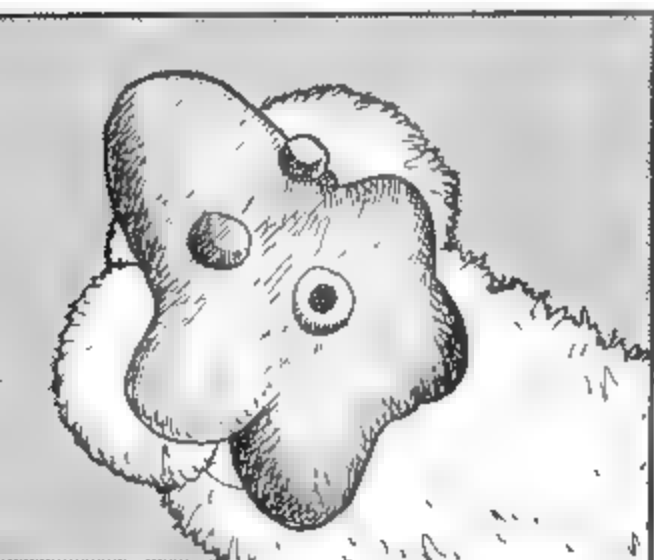
風が呼んでる……
僕たち行かなくちゃ

いやだっ行かないでくれえ

食い逃げのコツも教えてやるぞ
ほしい物はみーんなかっぱらってきてやるぞ
だから一緒にいよう

ヒデコシ…
トトたちは成長したんだ
オトナになったんだよ

なるなっ
粘土が楽しくない
オトナなんかに
なることはない

ホントウに……
毎日楽しかったよ
ヒデヨシくん

うう
でも…もう
北へ行かなくちゃ

カリ

ほら
ヒゲ
ピンと
張って
うう

それじゃ

さよ――なら――
ゴ――ッ
トトドス

大好きだぞ――っ

ああ
飛んで行ってしまった…

よーし この氷を食って見送るのじゃ
ガリ
ガリ

あれっ

甘みが消えてる
ああ… 味がしない

どう
したんだ
水食っても
風に乗らないぞ

幼ないトトたちにしか…
あの不思議な甘さは
作れないのか…

……
……
……

雪もやみ
とても静かな
夜の野はらに

いつまでも
いつまでも

ヒデヨシの声が
流れていきました

時の小箱

時の小箱かぁ

ゴーーッ

水墨河伝説に出てくる幻の王国ジルドルド

あの王国探しは今くらいの季節に3回やったよな

ああ　この花吹雪見ると探したくなる春の風物誌みたいなもんだけど

ホホホ
ドロボーッ
ゴーッ
あいつの魚ドロボウは一年中だもんなあ

タコくらいいいじゃないのケチ
何んだとォ
魚屋のおやじがヒデヨシを追っているスキに

ぐーっぐーっオレたちゃ欠食ドラネコ団
やったぞやったぞ紅マグロォ
ムッシャラムッシャラ食ってやる

あっ

君たち
お金をはらって
魚は買いましょう

さっ
その紅マグロは
私に返しましょーっ
ゴーッ
何言ってんだ
これは
オレたちの
もんだっ
早くよこさないと
眠り花粉
ぶっかけるぜ

げっ
ここで
眠ったら
そのうち河に
落っこちて、流れが
速いから死んじゃうわよ

きったねえ
マネを!!
魚屋の魚は
みーんな
オレの物なのだ
さあ よこせ

食いたきゃ食ってみろっ
あっ
ジャボ
紅マグロちゃーん
ゴーッ
飛び込んだ
キャーッ助けでーっ
あっヒゲヨシ
すごいのよーっ
すごい流れなのよーっ
マグロを離せっ
20日後

紅マグロ一匹のために
川に飛びこみーっ
流され溺れて消えた
あーその名は
ヒーデーヨーシー

しょうがないなあ
ドラネコ団が
住みついてるぜ

もう20日も
たつのに　あいつ
どうしたのかなあ

水墨河の
急流に流されて
助かった奴なんか
いないけど・
どう考えても
あいつが死ぬとは
思えないもんな

うう
腹へったあ

腹へったーっ何か食わしてくれーっ

何んだお前?

何か食わせてくれえ

わっ分かった!!

へーっアタゴオル?聞いたことないなあ

あらん

何んだい
これは？

重力台座さ
あのてっぺんの
ニンジン型の岩を
ぬいたら、タコでも
イカでも食い放だいさ

やるぞ
食い放だい

やめとけよ
100年間
だれも
ぬいた奴は
いないんだ

ほんとくあっ

うりゃあ

食い放だいだーーっ
ぐっ

重力台座にかかっている重力を引きぬくなんて、無理だぞ

ぬおおっ

おーっ
ズボッ
うわっ ぬいたっ
おおっ ついに!!

よう オッちゃん これで本当に食い放だいできんのか?
はい!! 貴方様のお名前は?

貴方様のお名前は
ナゾノ・ヒデヨシだよ

ウ～～～ッ
ウ～～ッ

王様が誕生したぞ
ヒデヨシ王万歳

オレが王様!?

それから20日後

大変だ ヒデヨシから手紙が来た
えっ

あいつ 字なんか書けないだろう

ホフ パンツ 消し印を見て!!

ジルドルド!?
幻の王国
ジルドルドか!!

「よう テンプラ
オレよ 王様になったのよ」
「毎日 マグロやタコの
食い放だいで幸せよ
地図描いてやるから遊びに来い
じゃあな ジルドルド国王
ナゾノヒデヨシー」

ヒデヨシ君が
国王!?
すごい国が
あるもんですね!!

ジルドルド王国って
水墨河に古くから
伝わっている伝説の
中にある国でしょう

ああ
これが地図か
行ってみよう

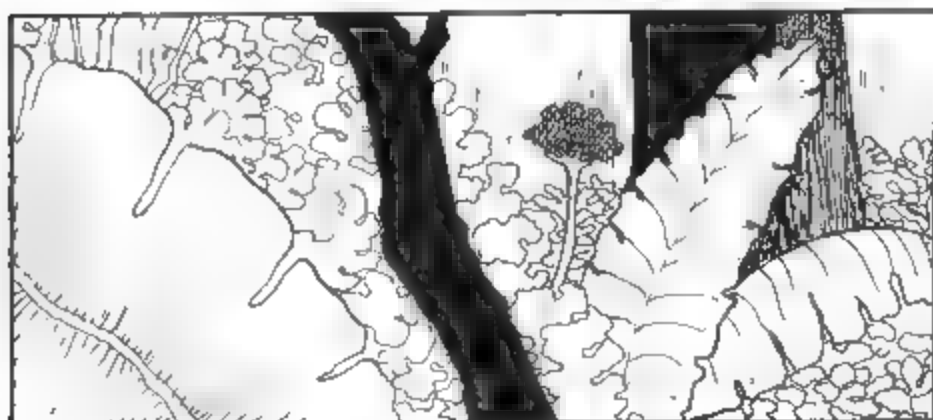
ザザーッ

「時の小箱」？

ああ
水墨河伝説の
中にあるんだ…

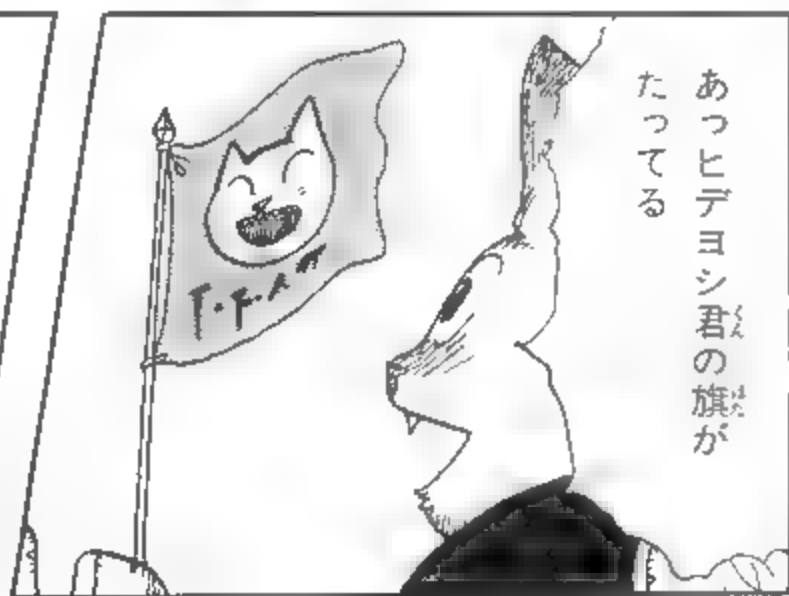
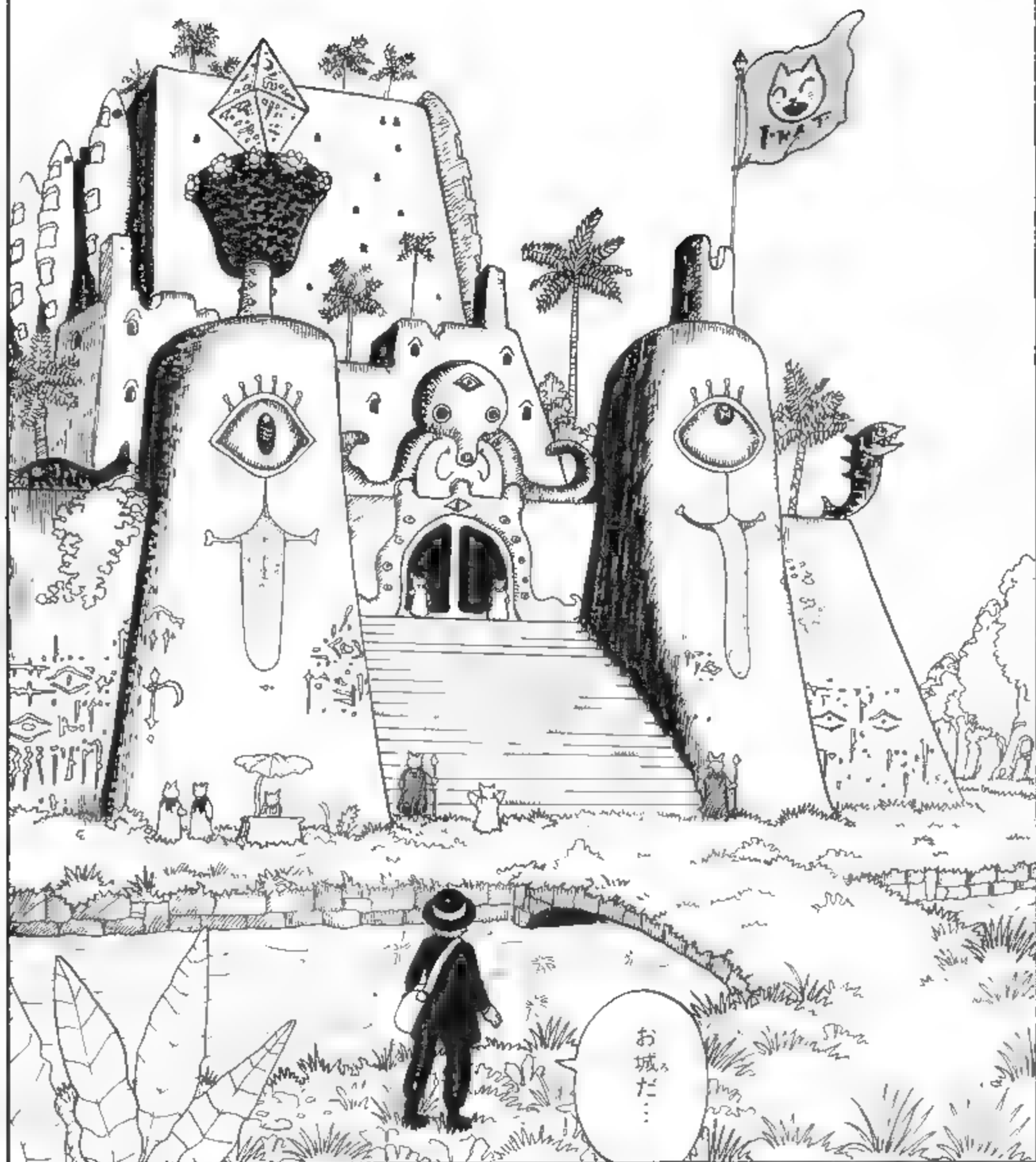
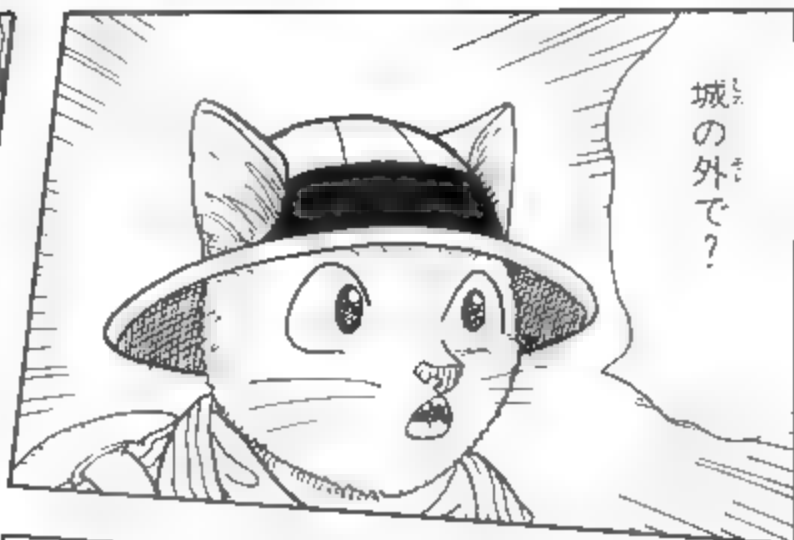
でも不思議なのは「祭りの瞳を見た者は時の小箱を授かる」という所ですよね
ああ

時の小箱かあ!! いったい何んなんでしょう!?

王国に行けばきっと分かるよ
「祭りの瞳を見た者」もね・

しかし この地図本当に正しいのかなあ
森に入ってから 相当歩いてるぞ

!

ああ

お城だ…

あの僕たち ヒデヨシの友だち なんです 手紙をもらって アタゴオルから 来たんですが‥
おおっ貴方様が テンプラさんですか?
ええ
ヒデヨシは本当に 王様になったんですか!?
ハイ
でも近ごろは 城の外で くらしているのです
城の外で?
ハア アタゴオルでは ずいぶん荒んだ生活を なさっていたのでしょうね
すさんだというか デタラメというか
ポン
ポン
あいつ この通りに きっといるって 言ってたけど‥
ガヤ
ガヤ

食い逃げだ

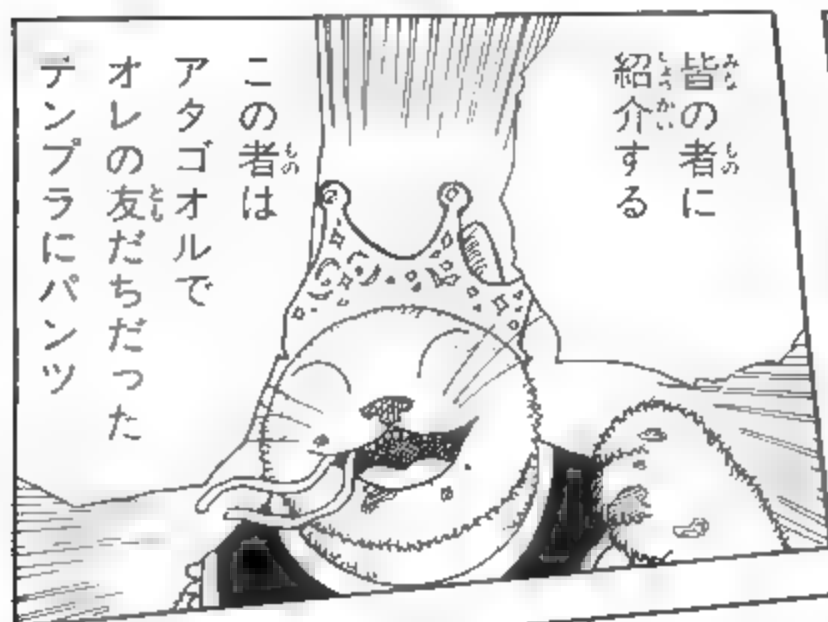
王様が食い逃げをなさったぞーっ

ドスドス

あいつーっ

オーッテンプラッ来たのくあーっ

うっ

来なきゃよかった

皆の者に紹介する

この者はアタゴオルでオレの友だちだったテンプラにパンツ

あの連中も食い逃げや万引きをしに来たのかしら

ガヤガヤ

類は友を呼ぶからなあ

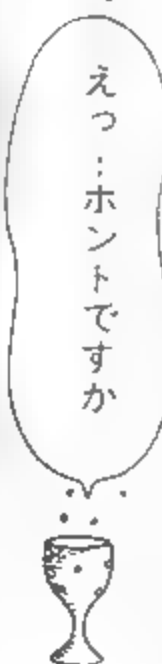
ヒデヨシ
何んで食い逃げなんか
やるんだよ
お城の中じゃ
タコやマグロの
食い放だいなんだろう

ああ
タコいっぱいの
お風呂にも
入ったし
ウニ風呂に入りウニもすすり
そーしてオレは気づいたのよ

食い逃げほどうまいもの無し

そうだ、みんなで
マタタビビールの
飲み逃げに行こうぜ
うまいんだ この国の
ビールはよォ
ちゃんと金払って
飲むよ!!

えっ…ホントですか
ああ、ワシは
200才は
越えているよ
オレは
330年
生きとるぞ

どうしてそんなに
健康なんで
すか?

たぶん
瞳祭りの
せいじゃ
瞳祭り?

王様がその怪力を
使って重力箱を
開ける祭りさ
あの箱が開いて
しばらくすると急に
若々しい気分になるんじゃ

その箱か
「時の小箱」ですか?

いや…そんな名は
聞いたことがない…
それに あの重力箱は
小箱ではなく大箱だぞ

大箱!?

おいーっ
オヤジ
ビールはあきた
麦焼酎の
十升ビンくれい

王様そんなにお飲みになってだいじょうぶでありますか
オレは飲むほど力が出るのよー

祭りには酒と酢ダコがつきものさっ

祭りって!?
ああっ今夜瞳祭りがあるんだ

今夜!!

そう!! 本当は秋にやるんだが
なにしろヒデヨシ王は実にいいかげんであらせられるのでいつこの国から出て行ってしまうか分かりませんからな

ところで…瞳祭りの「瞳」とは…どういう意味なんですか

昔から王国の者は
いろいろ調べたんだが
誰も分からないいん
じゃよ

それじゃ…
「瞳を見た者」や
「時の小箱を授かった者」は
この国にはいない…!?
ええ!!
いったい
何んのこと
やら…
どういう
ことなんだ…

しっかし
この国の家じゃ
こわれた猫の目時計が
何台も置いてあって
カッコいーよなあ

遠い昔この国を作った
ジルドルド王は偉大なる
時計製作者であったため
古時計を大切に
するようになったと
言われております

ジルドルド
なんぞより
オレの腹の方が
偉大だぞ

お前の腹は
確かに胃大
たよ

さーお待ちかね
ヒデヨシ王の
登場です
ホホホホ
あれが
重力箱か
確かに
大きいな

皆の者
オレの力を
見よ
ヨロヨロ

何んだ
王様
酔っぱらって
いるぞ
あいつ
酔っぱらった方が
馬鹿力を出すん
だよな

うりゃ

ああっ
開けた

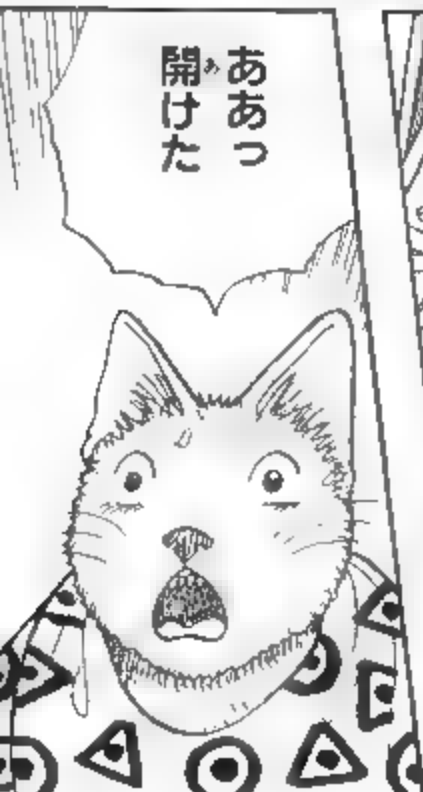
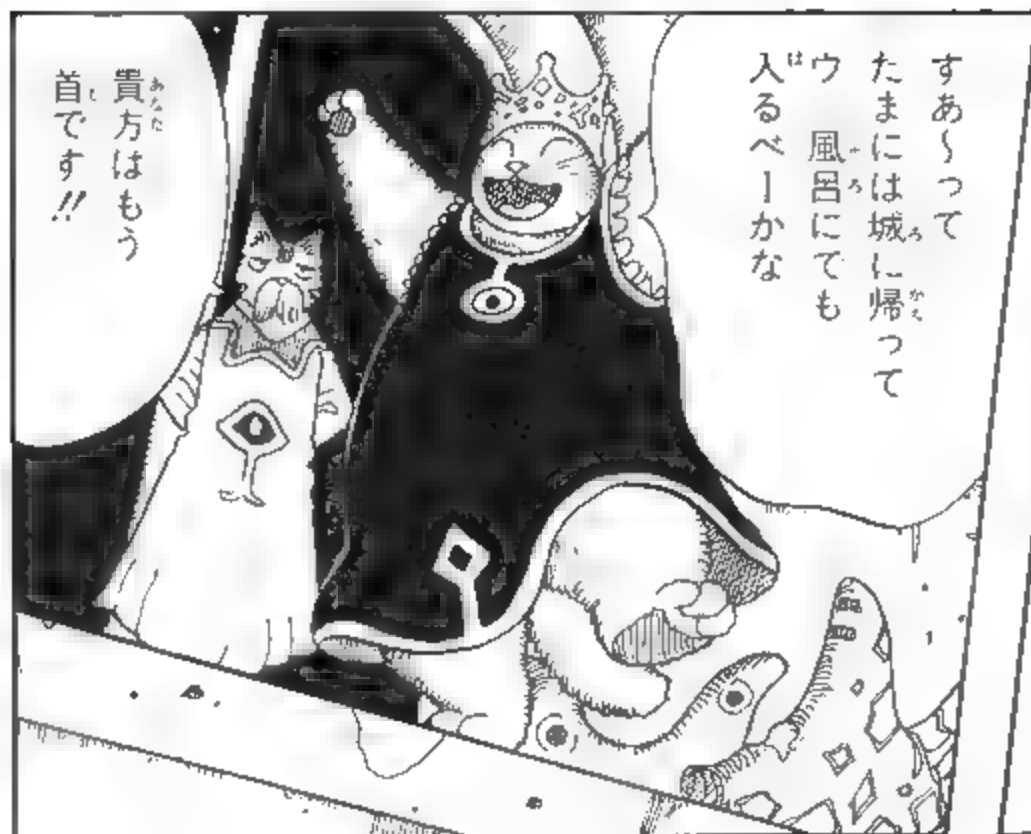
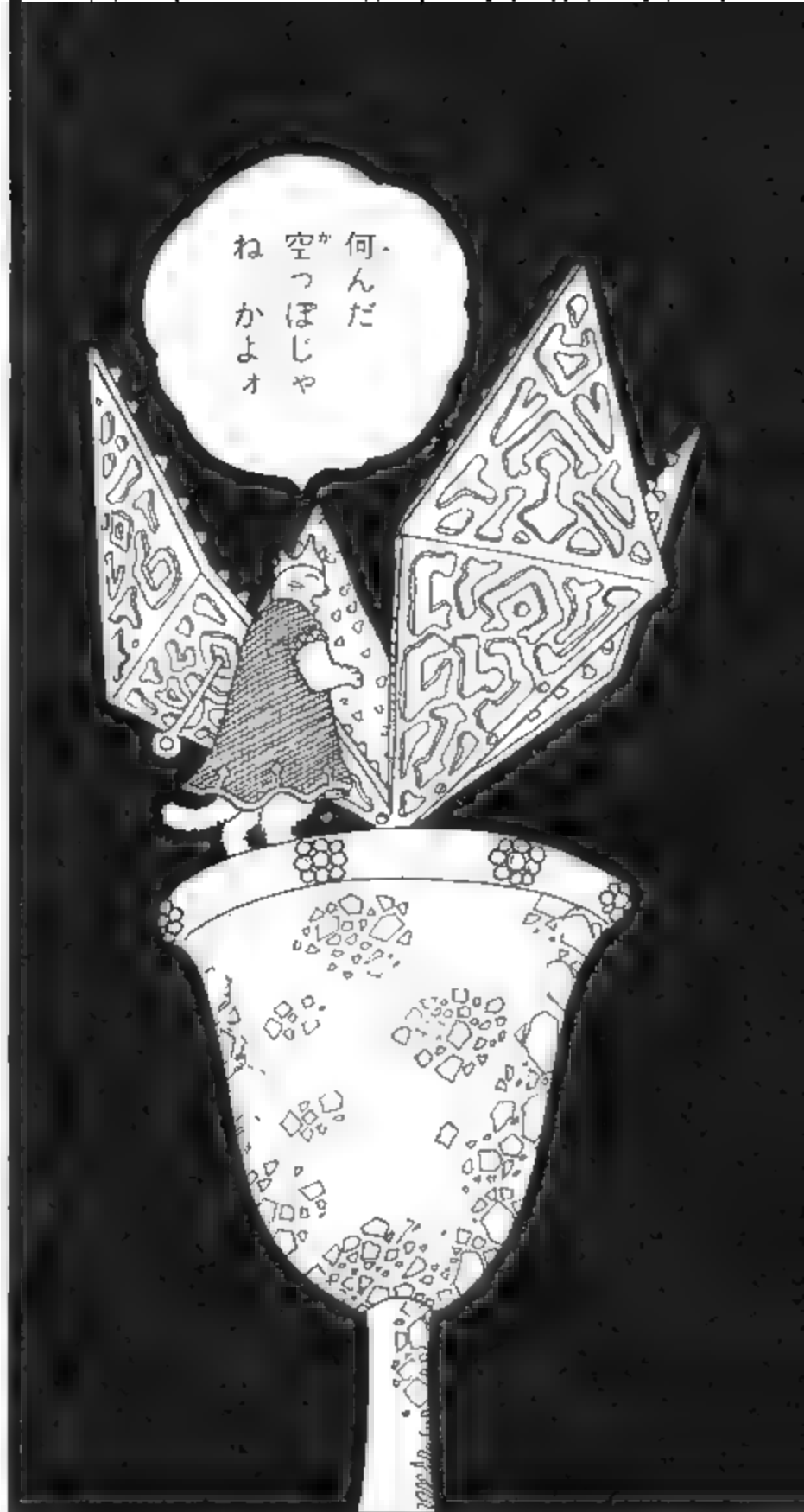
何んだ
空っぽじゃ
ねかよォ

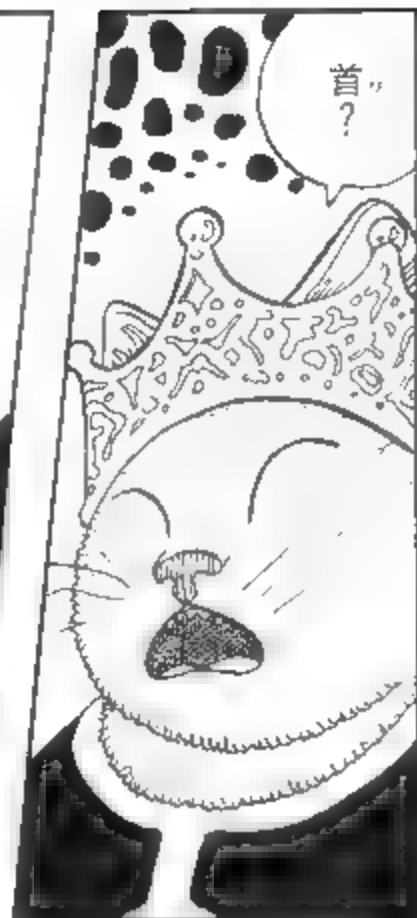
空っぽ？
そーじゃ
これでいいんだ

空っぽでは
ない…

何かが
吹き出した…
地味な
祭りですねー

すあ〜って
たまには城に帰って
ウ 風呂にでも
入るベーかな
貴方はもう
首です!!

首？

王国の民は
耐えかたきを耐え
貴方の食い逃げや
万引をジーッと
忍んでおりました
普通の王様なら
いつまでも王位に
即いていてほしいの
ですが

食い逃げ王は
王位剥奪です

王位なんかっ
どーでも
いいから
たのむっ
もう一ぺん
ウニ風呂と
生ダコ風呂に
入れてくれ
パタ
パタ
あいつーっまた
見苦しいマネを
でっ
!
どうしたん
ですか
おねがっ

何んだ
これは

あれ・

シーーン

ヒデヨシ君のは
ずいぶん大きい
ですね

ヒデ丸 私の
手を離しちゃ
だめよ
離すと君も
止まってしまう
から

ハイッ

！

うわっ

バチッ

ああ
背中の・・

すさまじい
熱量だ

ほう
お前たちは
時間のすき間に
入りこんだのか

あわわ
貴方は……
もしかしたら

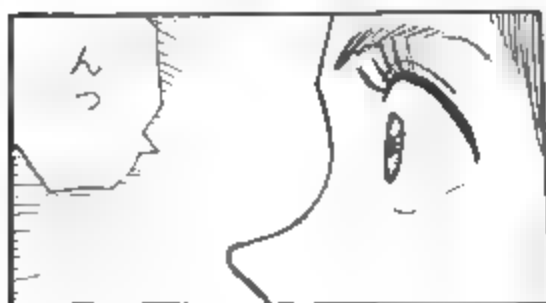
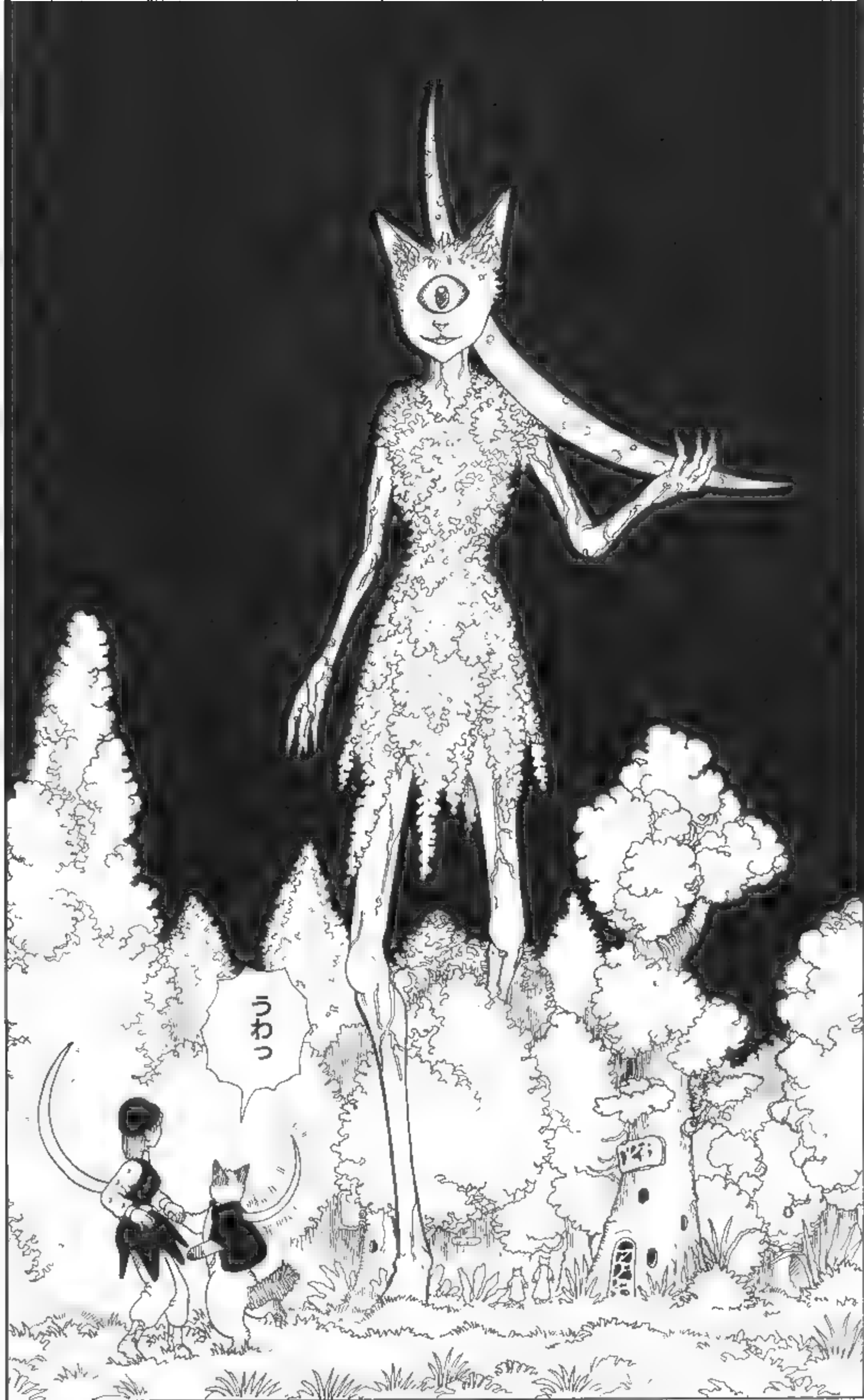
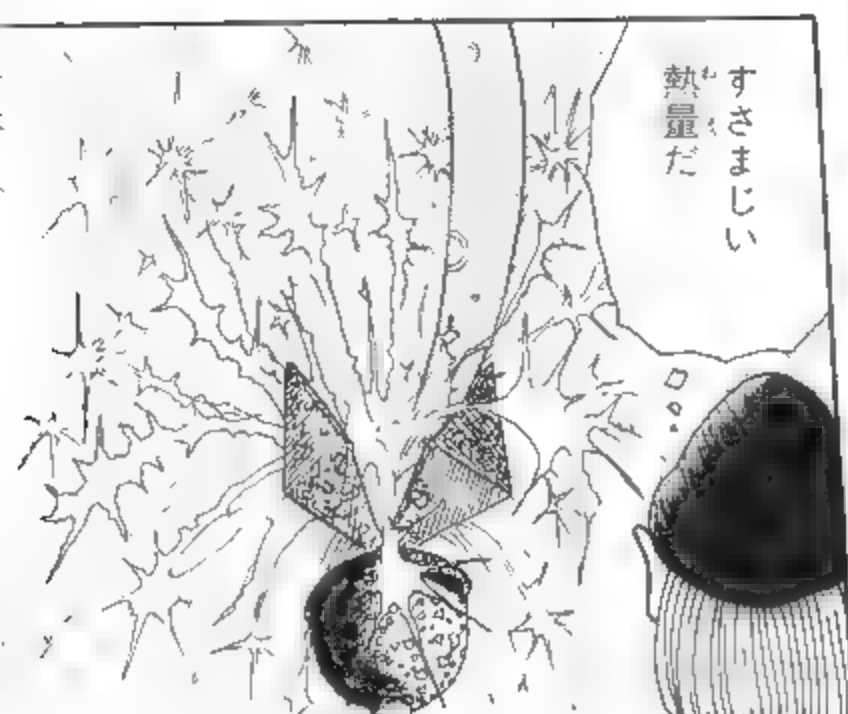
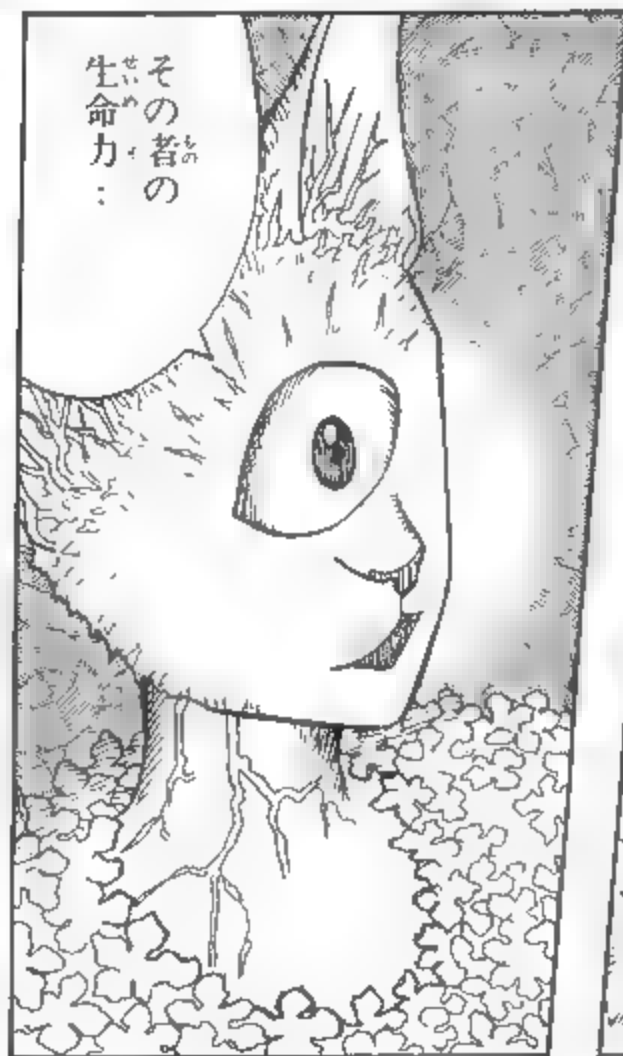
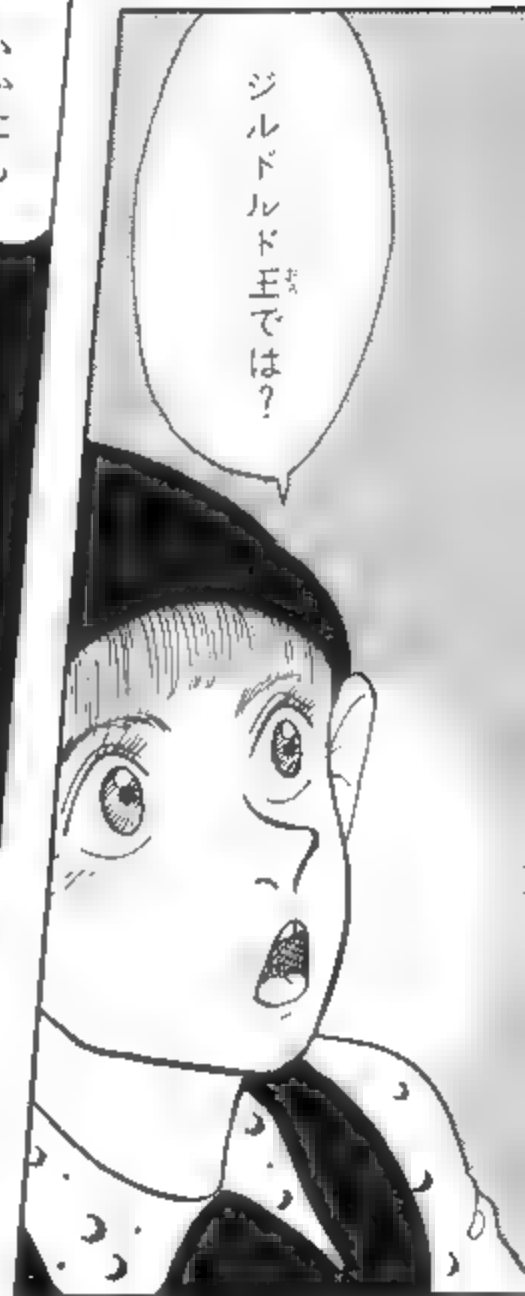
ジルドルド王では？

いかにも
遠い昔
猫の姿をしていた頃は
そう呼ばれていた…

あれっだんだん
ふくらんで
いくっ
なんだ
この気持ちは

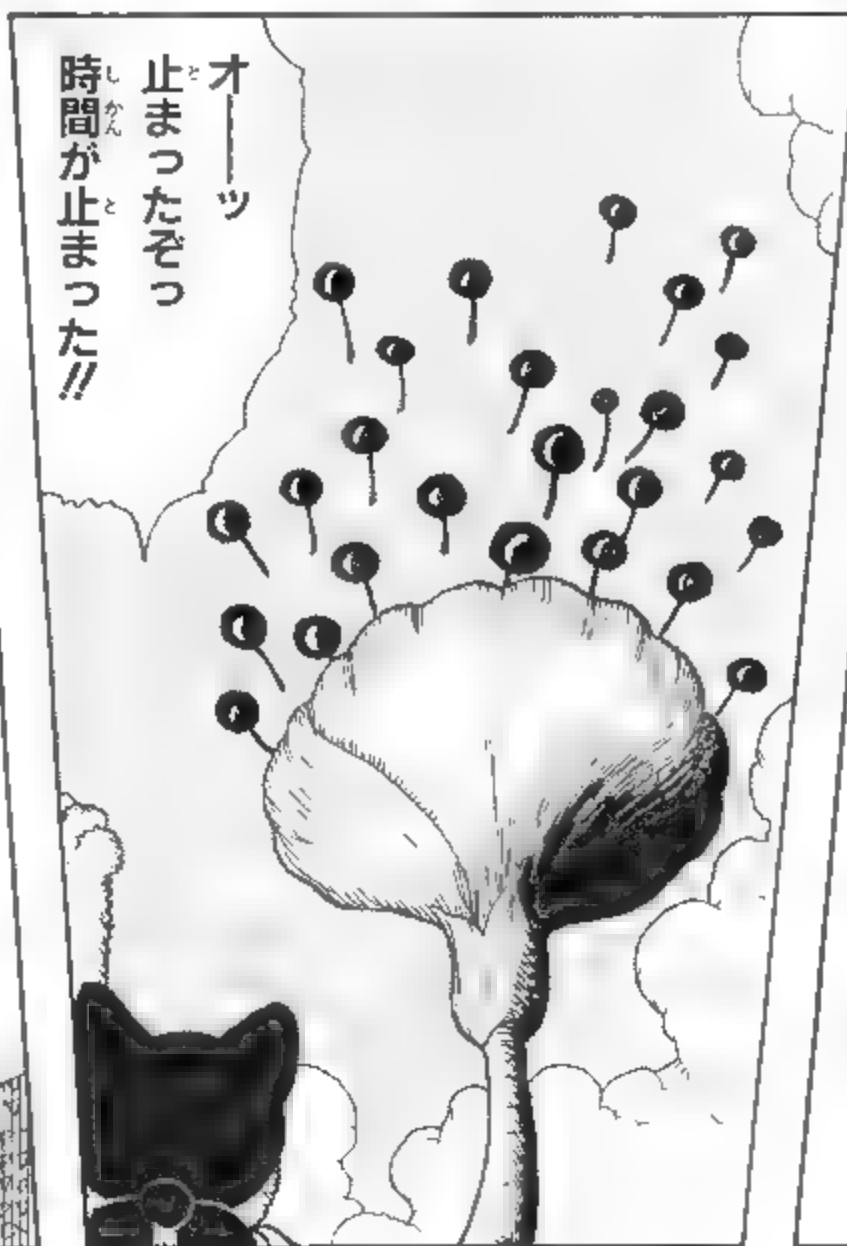
ジルドルト王
みんなの背中で
輝いているのは
何んですか

その者の
生命力…

おや

こんなに
巨大な生命力を
持っているとは・
生物というより
バケモノのような奴が
おるのう：

かつて
時間のすき間に
入って来た者が
いたが…
貴方たちは
それ以来だ
私からの
贈り物だよ

うっ
バチ
バチッ

王について
行けば
時間の都へ
行けるかも
知れない：

たくしょうが
ふう
!
あれっ・・・
何んだ このすがすがしい気持ちは

ううっオレもだっ
動いてるみんな動き出しましたよ

動き出したって
・・・・・・何言ってんだヒデ丸?

今、ヒデ丸と私時間のすき間に入ってジルドルド王に会って来たのよ

えっ
時間のすき間でジルドルド王に会った?

そうです
王の瞳を
見た僕は
ホラ
時の小箱を!!

20日後
オッ

赤色花火草が
はじけるぞ
パキッ
時の小箱を
開けろっ

今だっ
パカッ

オーーッ
止まったぞっ
時間が止まった!!

確かに止まったように
見えるけど
止まっていないよ

えーっ
止まってない?
ああ
ほんの一瞬の中にもね

宇宙くらい巨大な時間が
流れているのよ

雨雨 降れ降れ

ああ…
ここも枯れてる

まいったなあ

泳ぎてーっ
ドンドーン
泳ぎたいのよー

こんなに毎日暑いのにーっ

蛇腹沼の水は どこへ行ったんだあ

ジリ ジリ

ああ

金はらってる？

コラーッ
どこへ行くんだーっ
雨が降らない
原因を
調べてるんだよ

雨が降らない
原因？

よーっ こんな
ひからびた沼
調べたって
何にもないぜ
魚ならオレが
みーんな食っちまったしよ

意外と少ないのな
この沼の魚
50匹くらいしか
食えなかったぜ

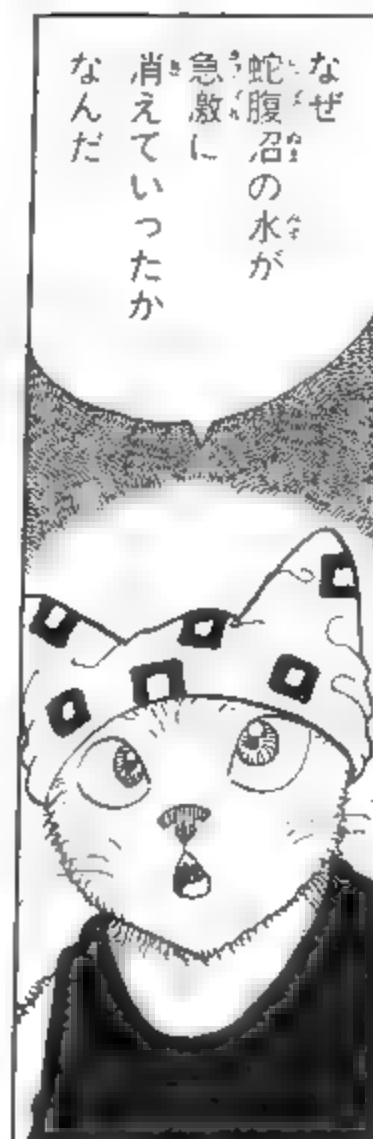
にげた
らしいぞ
この沼の水位が
下がる前に
川下の方へ
にげた
だとォ

沼の漁師たちが
5月頃
見たらしいんだ

オレに食われると
知って
にげたのくあ～っ

この沼の何かが
水位が下がるのを
予知したんだろうか・・・

不思議なのは
いくら水不足だから
といって

なぜ
蛇腹沼の水が
急激に
消えていったか
なんだ

ソーヨ
そーなの
よ～っ
泳ぎたいのよーっ

よーし
次は
ウサギ泳ぎだ
うへーっ
気持ち
いい
ザザッ
バシャ

何んだ
水が
あるのかっ
ジャブ

飛び込むぞっ
冷たそーだなーっ
よっドフネコ団
何やってんだ
バシャーンザブーザブ
バタッ
ザッ

何んだ
あいつ
フッフッ

おーい
パンツ
どうした
テンプラ

何んだろう
この根っこ

水草の根とは
違うみたいだけど
分からないなあ

おのれっ
悪党
ウナギめっ
こんな所にも
いたのか
んっ

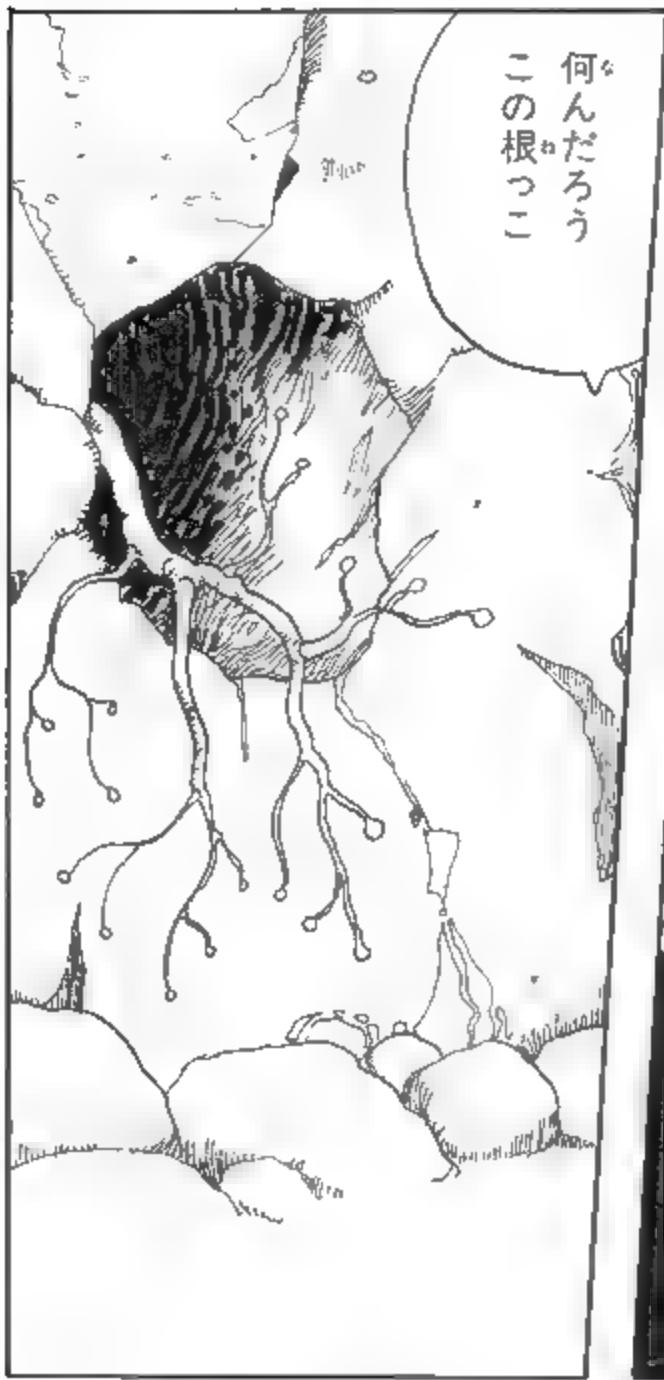
ぶちのめ
せーっ
ゴウ
ゴウ
ブチッ

どうしたんだ
ドラネコ団
あんまり
暑いんで
幻覚を
見ている
みたいだな

オレたちをおそう
悪党ウナギを
ぶちのめしたぜ
ひけーっ
ひくのじゃーっ

何がウナギだよなあ
あ～っ
すいませんだす

この辺に
雨降らし岩ってのが
あるべーか？

雨降らし岩？
ああ
メソメソ岩の
ことだよ

古代 あの岩の上では雨ごいの儀式が行なわれたらしい
「メソーラ・メソーレ」と叫ぶと 煙とともに雨の神様が現れたという伝説があるんだよ

岩は ここから西に向かって行けば赤茶色の大きな奴ですから
どーもあんかとす

岩にお願いして雨が降るならとっくに降っているのに…
農民は必死なんだよ

これだな
心をこめてやるべーや

お願いしますうだ
どーか雨ば降らしてくろーっ

メソーラ・メソーレ
メソーラ・メソーレ

ボッ
おっ

決まったな

おおっ
これは!!

私を呼ぶ者に
答えませう
願いは何んで
あるかえーっ

イワヤラ森の
者でごす
雨を!!
雨を降らして
おくれやス

願う心は
形にしませう

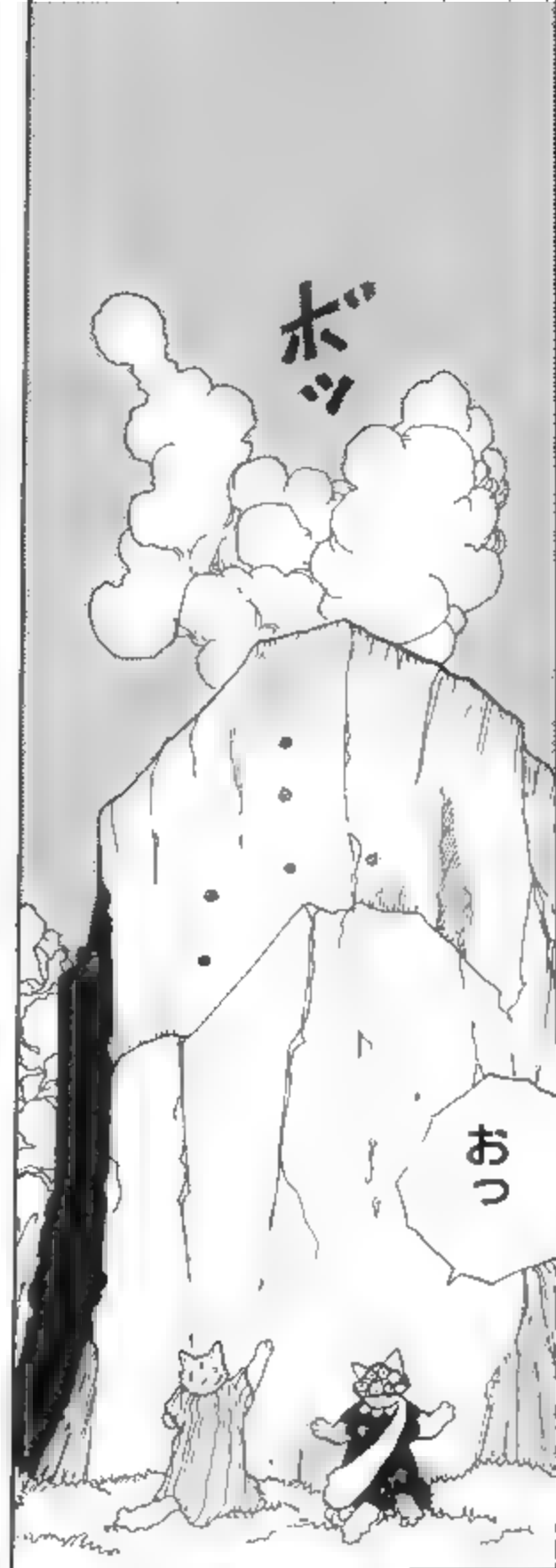
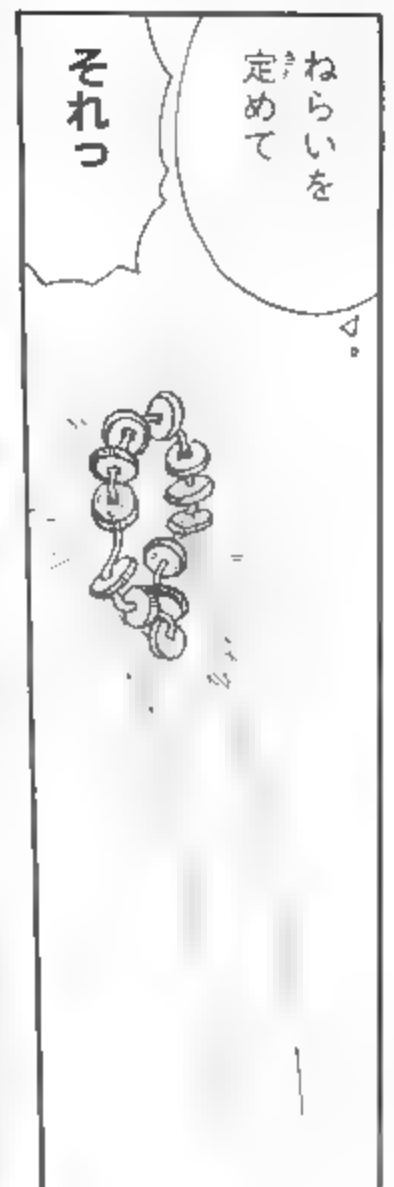
銭を私の腹に当てなさい
1枚銭が当るごとに一粒空から雨が降る

爺ちゃ何んだかインチキくさくねえが?
恐しいこと言うもんでねえ

早いとこ村で集めてきたお金を!!
はいっ

ねらいを定めて
それっ

オオッみごとじゃ
雨の神もおよろこびヨ
ボコッ

さあ
これが雨の種草じゃ
村の中心に植えよっ

植えれば
2日の間に
雨雲が来るぞえ

ありがと
ごぜえ
やす
いそげっ
いそいで村にっ

たっしゃで
なーっ

アタゴオルにしか
はえてない
生イカ草を
植えたって
雨が降るわけ
ねーべよな

ホホッ
村のみんなの
気持ちは
生ウニに変わり
オレの腹の中に入る

コラッ
何んてこと
するんだ
アタゴオルの
恥さらし

君たち
雨乞をたのむなら
岩に登っちゃだめよ

お前
そんな事して
お金取って
いると
あとで村の連中に
追いかけ回されるぞ

オレは無実よ
一か月前
ヒデ丸にここが
雨降り岩だって
教えられてさ

それで岩の上で
「雨降れ雨降れっ」て
踊っていたら
知らない爺いが来て
勝手にお金を
投げて行ったのよ
それで味を
しめたのか

あれ 変だな
岩の中から
音が?
ヒデ丸
だよ
ゴソ
ゴソ

へーっ…
岩の下に穴が!!
あら

パンツ君へ
スゴイんですよ
来て下さい

ああ

これは…相当古い時代の絵文字だな

やったっ

ヒデ丸 どうしてこれを？

雨降り岩を調べているうちあきてしまってヒデヨシくんと「モグラごっこ」をして掘ってたら見つけたんです

うん・・・
蛇腹沼で見つけたこの根っこに・

根っこかぁ
へーッ

パンツ君こんな絵文字が読めるんですか?
たぶん・・

…確かに似てるね
この根と雨降り岩の中に彫ってあったという模様

そーか分かったぞ
その根を植えれば雨が降るのだっ
ポン

いーねーっ考え方がまっすぐで…

あれ
この根の中から
聞こえる!

聞こえるって
何が?

いい?
ホフ
んっ

リッ
リリ
リン
リ

ろっ
この音
どっかで

風鈴草!!
風鈴森の
風鈴草だよ

リン
リリ

リリリン
リンリン
リンリン
リン
リリリン
リンリン
リンリン
リンリン
あー
やかましい

こんな風情のある音をやかましいとは風鈴草がかわいそう

…しかし蛇腹沼の地下にはえてた根の中から
どうして風鈴森にしかはえていない風鈴草の音が……

あ～っダメよテンプラ考えこんじゃ
考えたりしない適当に歩くこれがいいのよっ

ハイハイそこのパンツ君本読みながら歩かない
うるさいなーっ静かにしろよ調べてるんだから

よー爺い
まだ生きてたかーっ

あいつ
聖なる木
ドアドアに
向かって…

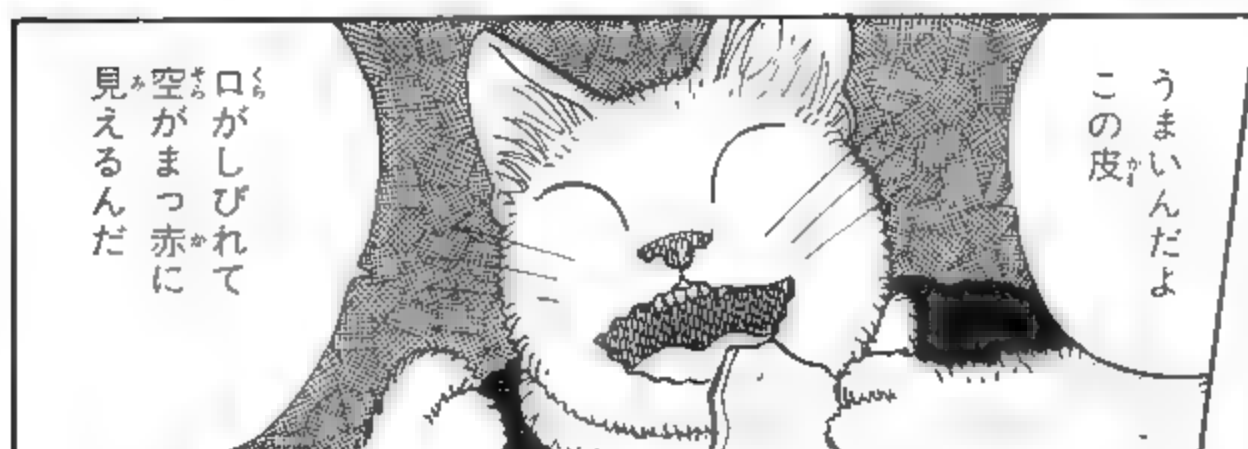
あれっ

ドアドアの木の皮がはがされているっ

皮がボロボロ

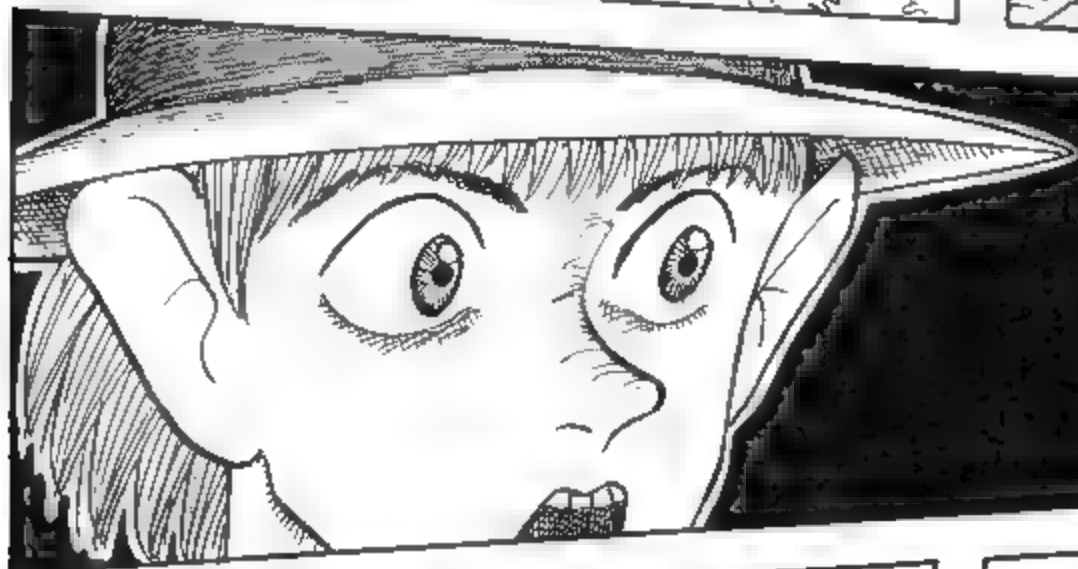
ああ…何んてことを

うまいんだよこの皮

口がしびれて空がまっ赤に見えるんだ

お前 この木はな
アタゴオルの森の骨格の一つ
この森の背骨と言われている大切な木なんだよ

みーっっ 見つけましたよ

ああ

根っこはドアドアの木の根だったのか

読めた…
絵文字が解けたぞ
えっ

「…ひとりの男…鈴の鳴ル森の巨木を切ろうとした」
「木は怒り…蛇ノ腹ノ沼の水を枯らし 空の雨雲を近づけないようにした……」

「木を切ろうとした男は
…木にお詫をし、
涙を流した…すると…」
!

ヒデヨシ
雨を降らせる
ためには
詫るしかない
涙を流して
この木に
あやまるんだ
皮かじられた
くらいで
沼の水を枯らす奴は
オレがせーばい
してくれるぜっ

コラッドアドア爺いっ
オレは泳ぎたいんだ
蛇腹沼の水
返さないとっ
ぶっ倒すぞー
ドドッ
ドドッ
ダメだ
逆効果だ

ヒデヨシ
あのな
んっ
ヒソヒソ

ドアドアさん
クル

ゆるしてくれえ
オレが悪かったあ
ビダビダ

二度と皮をはがさねーから
ゆるしてケローッ

テンプラ あいつに何んて言ったんだ
泣いてあやまったら紅マグロ一００匹食わせてやる
ゆるしてケロー

ヨダレたらしながら空涙流して…
こんな態度でもゆるしてくれるのだろうか…？
メキメキ
らっ

シューーッ
うわ

ああっ やっぱり バチが 当たった
いや… 絵文字に 書かれている 通りだ!!

何んだコリャ

らっ
あっ 浮かんじゃう
フッ

ヒデヨシ くーん

モコ モコ
あれれ
何んだコリャ

んっ？
そーだ
ヒデヨシ
それを
叩くんだ

ポン
オッいい音
いけるぜコレ
ポン
ト

ポンポ
ポコ
ポン

あいつ
打楽器
持たせると
あきずに
叩くよなあ
ああ
んっ

イエーッ

ザーッ
わおっ
やった!!
雨だぞ

雨だっ

雨だ
ザー
雨が降って来たぞ

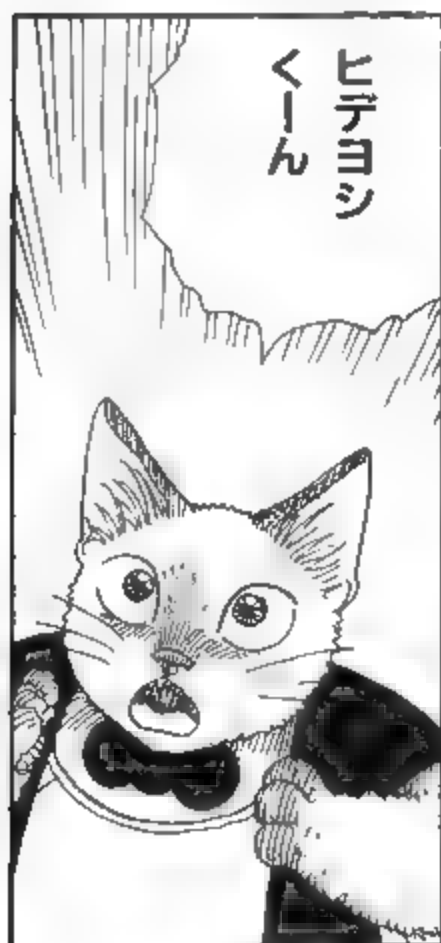
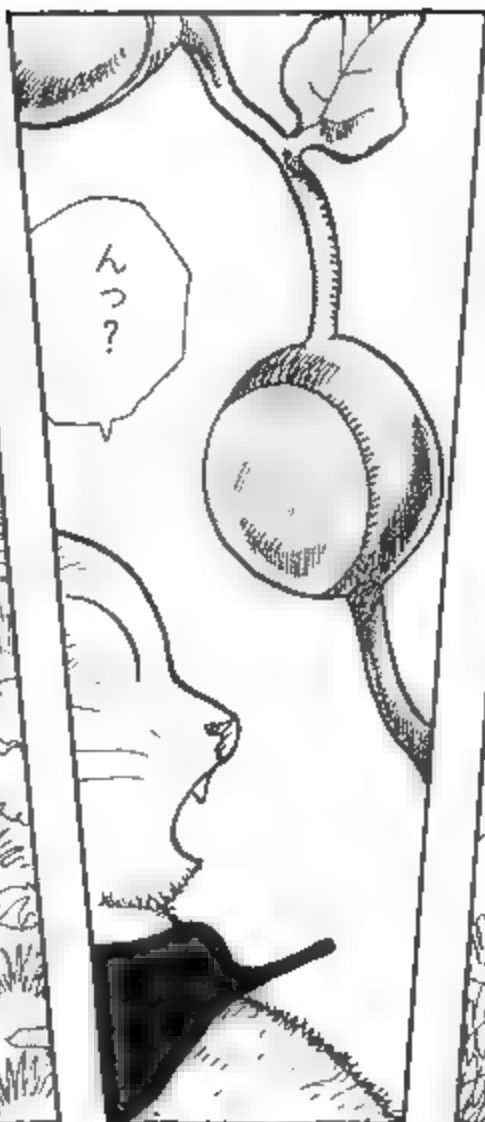
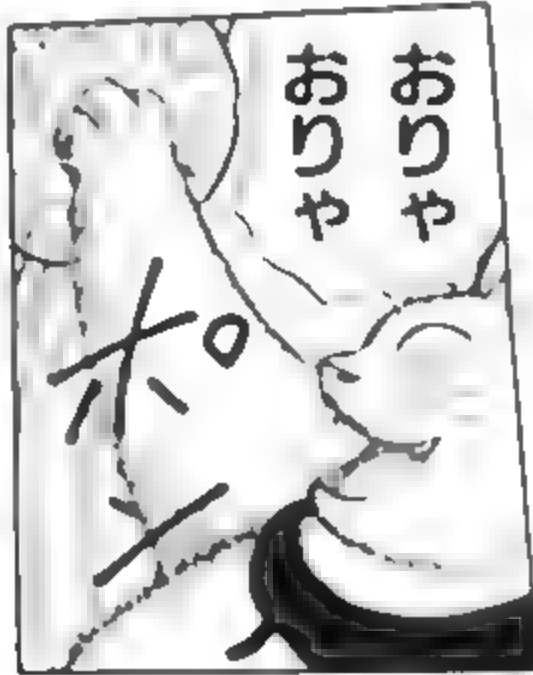
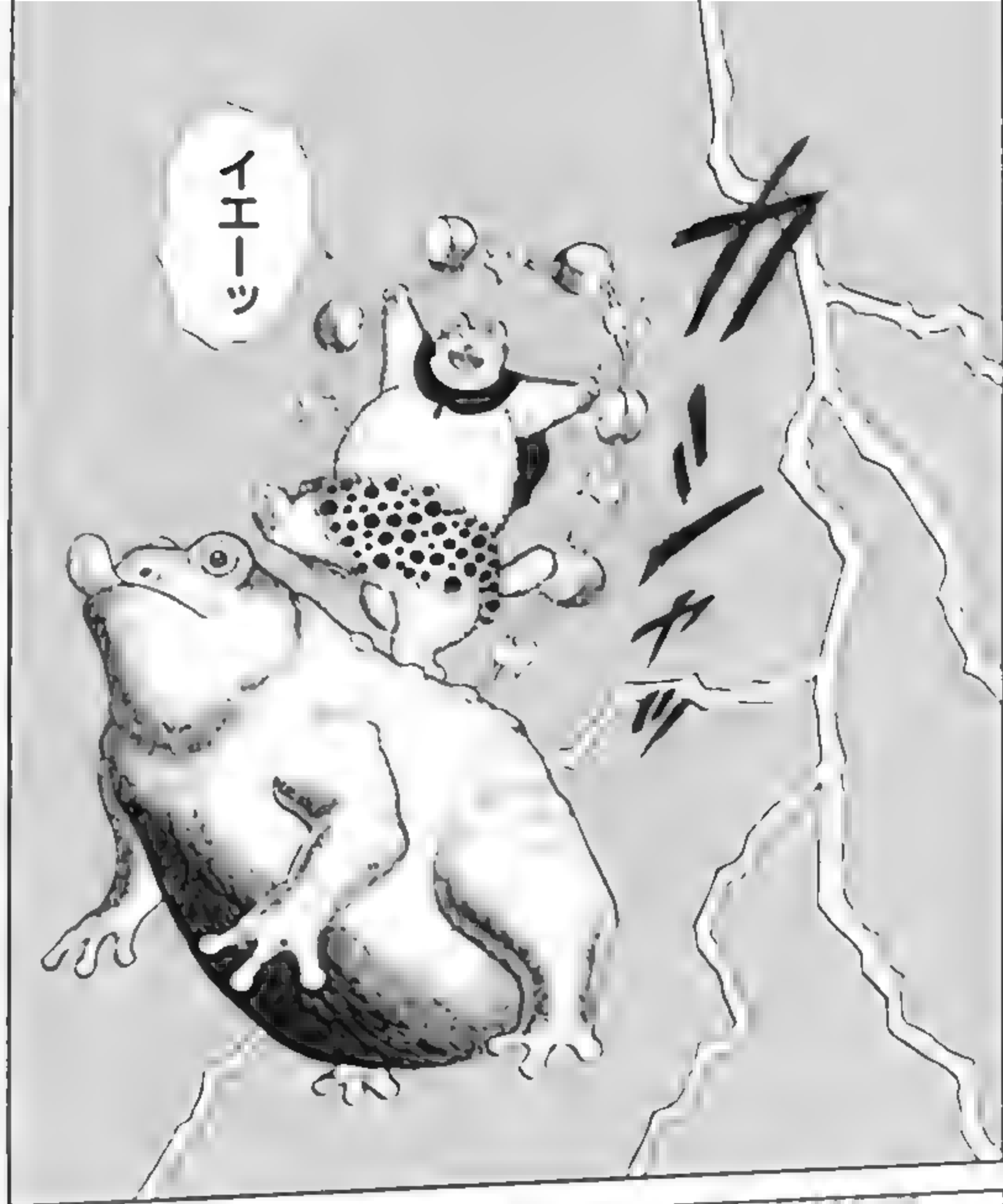
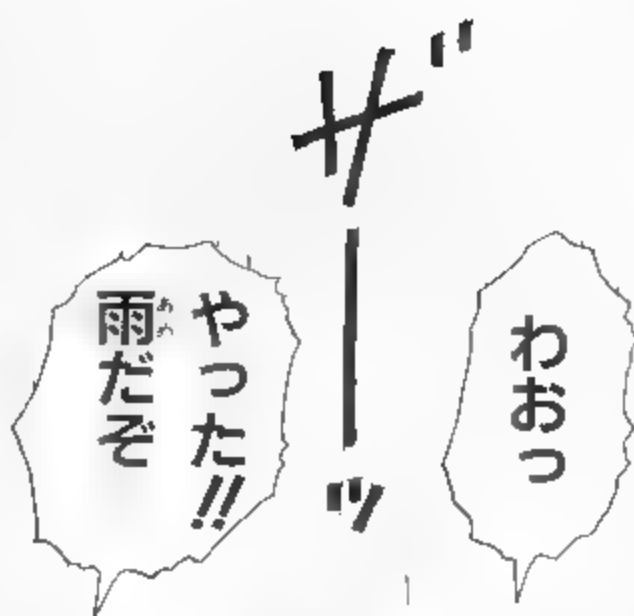
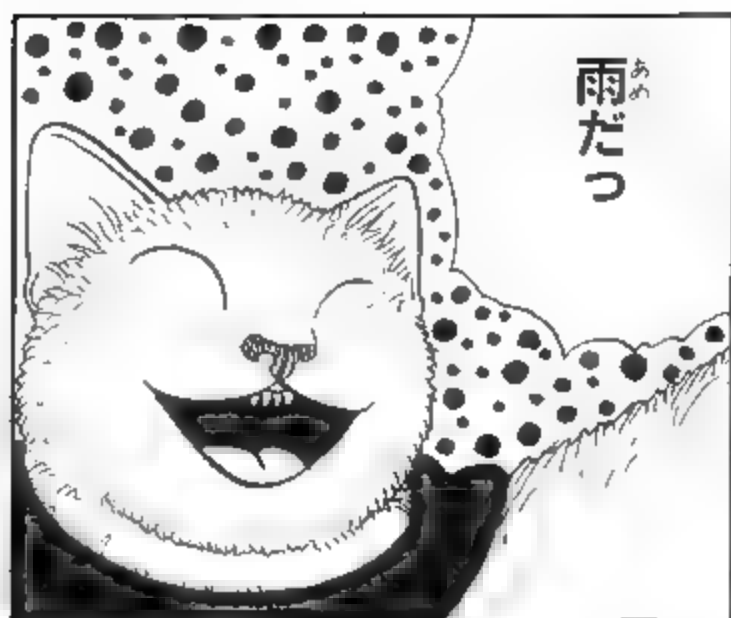
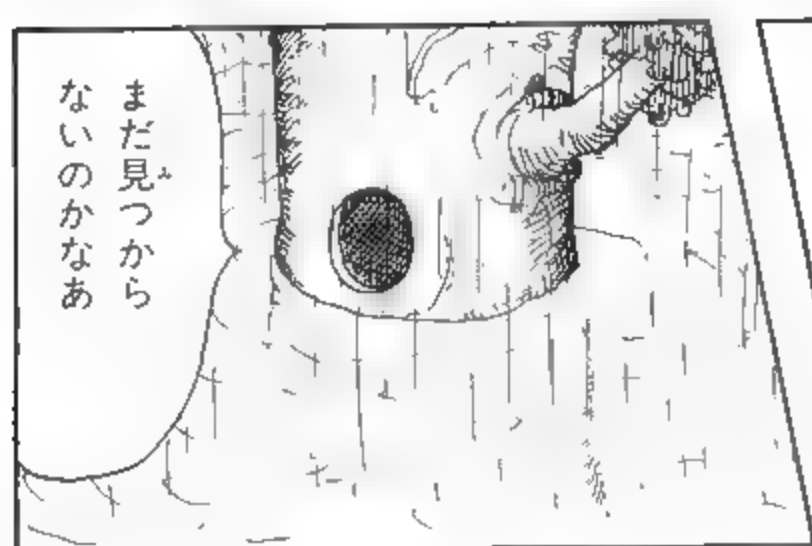
助かった…
植物たちも枯れずにすむぞ

らんららん
ザーッ
よくやったなヒデヨシ
酒おごるぞ
どーもーっ

1カ月後

ザーッ

いるかっ

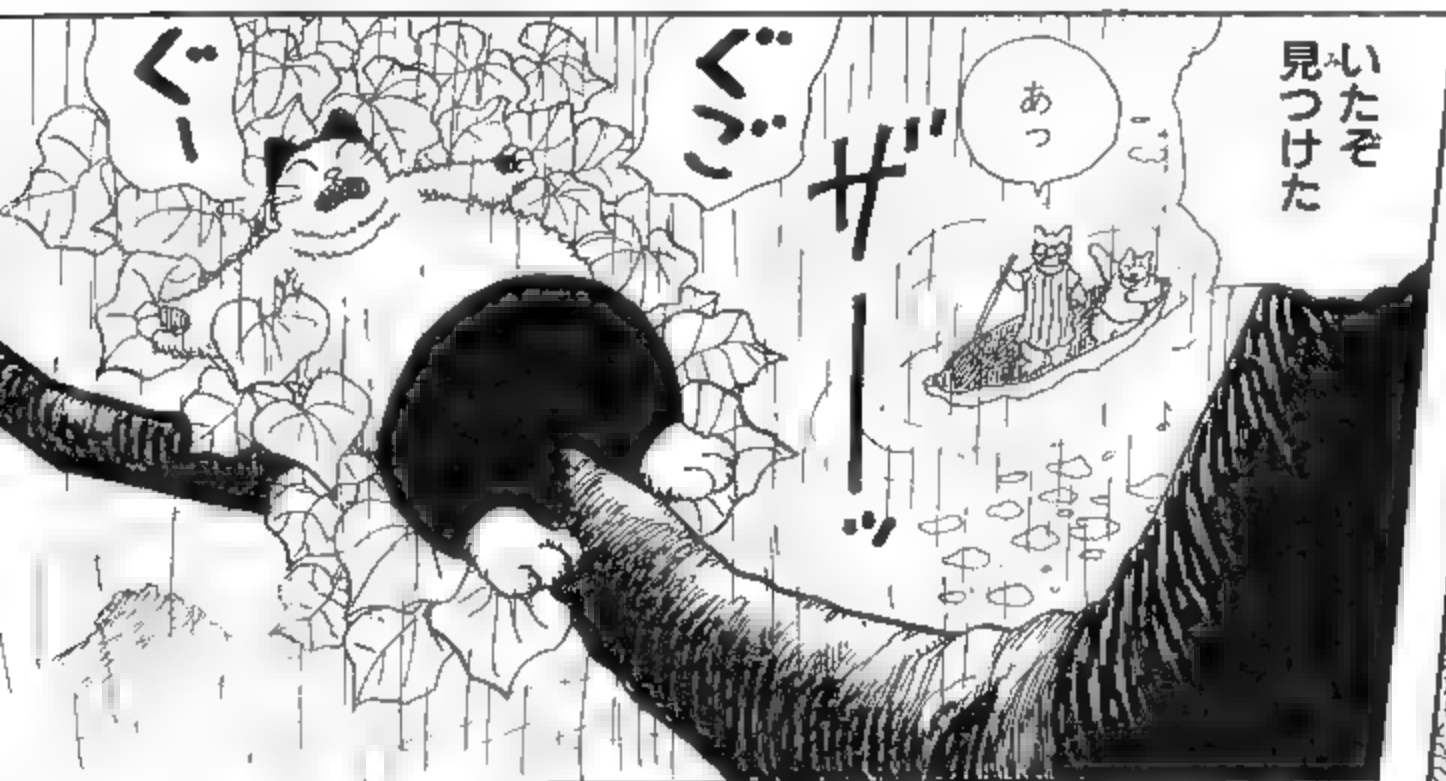
いねえ

降らなくて
困っていて
降り始めたら
今度は毎日毎日
何時間も降り
続くんだもんなあ

やっぱり
ウソの涙を
流したのが
いけなかった
のかなあ

ああ
ドアドアは
反省しない
ヒデヨシの涙を
見ぬいて
いたんだろう

そして今や
ヒデヨシは
森のおたずね者

いたぞ
見つけた
あっ
ザーーッ
ぐごー
ぐー

コラ
起きろヒデヨシ
バリ
シッ
ぐっ

う…っ
眠いのよーっ
寝かせてくれえ
ダメだっ
起きろっ
ザー!!

お前が
眠ってしまうと
雨が
降るんだからなっ
眠いのよォ
つらいのよォ

何が眠いのよォだ!!
昨日も監視員に
眠り粉ぶっかけて
どこかで18時間も
眠っていただろう
起きろよ
ヒデヨシ
うまい物
食わせるからさ

うまいもの

あれっ
雨が上がった
ヒデヨシ
起きたな
しかし
ヒデヨシが
起きてても

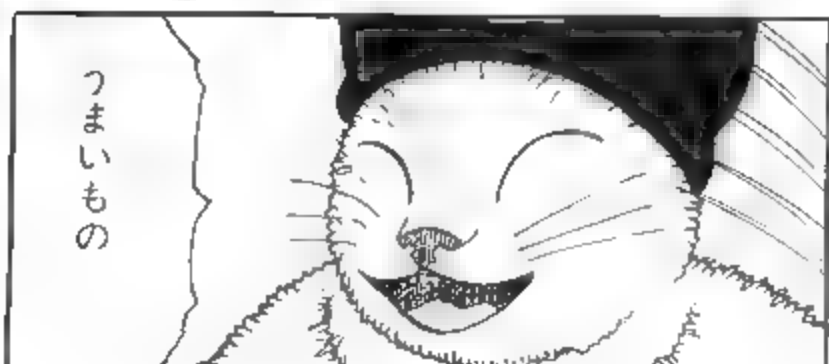
時々急にどしゃぶりになることあるよなあ・

ああっ まるで空が怒ったようにだろう

えーっ東に向かって
ホホホ
ホホホ
何やってるんですかあいつ?
ふふ
ホホホ

アタゴオルの古いしきたりでな
季節の初物を食う時は
『東に向かって三度笑う』んだよ

くーっ
西瓜じゃ
1年
ぶりよー

うんめーっ
ポロ
ポロ
やっぱし涙は
ポッ
ポッ
ポロ
ポロ

ザーーッ
食い物で流すにかぎる

アタゴオル玉手箱⑨

発行　一九九六年三月　一刷
　　　二〇〇〇年八月　五刷
作者　ますむらひろし
発行者　今村　正樹
発行所　偕成社
〒162 東京都新宿区市谷砂土原町3―5
電話　(〇三)三二六〇―三二二一(代表)
FAX (〇三)三二六〇―三二二二
印刷　大日本印刷(株)
製本　大日本製本(株)

196P. ISBN4-03-014520-5 C0079, NDC726
© *1996 Hiroshi Masumura*
Published by KAISEI-SHA, Printed in Japan

定価はカバーに表示してあります。
落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

小社は平日も休日も24時間、本のご注文をお受けしています。
Tel: 03-3260-3221　Fax: 03-3260-3222　e-mail: sales@kaiseisha.co.jp

初　出

白のささやき　　コミックFantasy No.3
KAORI　　コミックFantasy No.5
勝利の砂漠　　コミックFantasy No.6
トト&ドス　　コミックFantasy No.7
時の小箱　　コミックFantasy No.8
雨 雨 降れ降れ　コミックFantasy No.9

ますむらひろし作品

アタゴオル玉手箱1

アタゴオル玉手箱2

アタゴオル玉手箱3

アタゴオル玉手箱4

アタゴオル玉手箱5

アタゴオル玉手箱6

アタゴオル玉手箱7

アタゴオル玉手箱8

アタゴオル玉手箱9

本体価格各九〇〇円(税別)　★のみ本体価格四、三六九円

ますむらひろし詩画集「アタゴオル」★